

総務委員会議案説明資料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名		頁
1 第 1 1 4 号議案	足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・	2
2 第 1 1 5 号議案	足立区職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例・・	4
3 第 1 3 5 号議案	足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に 関する条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・	3 1
4 第 1 3 6 号議案	足立区職員の給与に関する条例の一部を 改正する条例・・・・・・・・・・	3 7
5 第 1 3 7 号議案	足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例・・・・・・・・・・	7 8
6 第 1 3 8 号議案	富士見歩道橋架け替え及び周辺護岸整備工事請負契約・・	8 4
7 第 1 3 9 号議案	江北コミュニティセンター大規模改修工事請負契約・・	8 6
8 第 1 4 0 号議案	児童・生徒用 Chromebook 等の購入について・・	8 8
9 第 1 4 1 号議案	避難所用折り畳み式リクライニングベッド等の 購入について・・・・・・・・・・	8 9

(総 務 部)

第 1 1 4 号議案説明資料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件名	足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
所管部課名	総務部 人事課	
内容	1 概要 国内外の経済社会情勢の変化に対応すること等を目的とした国家公務員等の旅費に関する法律の改正等に伴い、足立区職員の旅費に関する条例の一部が改正される。 このため、足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正し、文言整理を行う。	
	2 改正内容	
	改正前	改正後
	(費用弁償) 第4条 職員が公務のため出張するときは、その費用を弁償する。 2 費用弁償は、鉄道費、船賃、航空賃、 <u>車賃、旅行雑費、宿泊料および食卓料の7種</u> とし、その額および支給方法は、規則で定める。	(費用弁償) 第4条 職員が公務のため出張するときは、その費用を弁償する。 2 費用弁償は、鉄道費、船賃、航空賃、 <u>その他の交通費、宿泊費、包括宿泊費、宿泊手当及び旅行雑費の8種</u> とし、その額 <u>及び支給方法は</u> 、規則で定める。
	(削除) 車賃、宿泊料、食卓料 (追加) その他の交通費、宿泊費、包括宿泊費、宿泊手当	
		説 明
	その他交通費	鉄道、船舶及び航空機以外での移動（バス、タクシー等）
	宿 泊 費	宿泊先の都道府県に応じて上限付き実費支給
	包 括 宿 泊 費	交通費と宿泊費が一体となったパック旅行
	宿 泊 手 当	宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費（食事代等） ※食事付きの宿泊の場合減額する
3 新旧対照表 別紙のとおり		
4 施行年月日 令和8年4月1日		

足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 新旧対照表（案）

改正前	改正後
<p>○足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例 昭和39年3月31日条例第18号</p> <p>第1条から第3条まで 省略</p> <p>（費用弁償）</p> <p>第4条 職員が公務のため出張するときは、その費用を弁償する。</p> <p>2 費用弁償は、鉄道費、船賃、航空賃、車賃、旅行雑費、宿泊料および食卓料の7種とし、その額および支給方法は、規則で定める。</p> <p>第5条 省略</p> <p>付 則 省略 (追加)</p>	<p>○足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例 昭和39年3月31日条例第18号</p> <p>第1条から第3条まで 省略</p> <p>（費用弁償）</p> <p>第4条 職員が公務のため出張するときは、その費用を弁償する。</p> <p>2 費用弁償は、鉄道費、船賃、航空賃、その他の交通費、宿泊費、包括宿泊費、宿泊手当及び旅行雑費の8種とし、その額及び支給方法は、規則で定める。</p> <p>第5条 省略</p> <p>付 則 現行のとおり 付 則 (令和○年○月○日条例第○号) この条例は、令和8年4月1日から施行する。</p>

第 1 1 5 号議案説明資料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	足立区職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例																		
所管部課名	総務部人事課																		
内 容	<div>1 概要</div> <p>国内外の経済社会情勢の変化に対応すること等を目的として、国家公務員等の旅費に関する法律（令和 6 年法律第 2 2 号）等が改正されたことに伴い、国の改正趣旨を踏まえ、足立区職員の旅費に関する条例の一部を改正する。</p> <div>2 改正内容（詳細は、別紙 1 のとおり）</div> <p><主な改正点></p> <p>（１）宿泊料の見直し</p> <table><tr><th></th><th>現行</th><th>改正後（案）</th></tr><tr><td>名称</td><td>宿泊料</td><td>宿泊費（名称変更）</td></tr><tr><td>改正内容</td><td>上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の上限額〕 一般職員 11,800円</td><td>上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の最高上限額〕 一般職員 19,000円 ※ 都道府県ごとに上限額を設定</td></tr></table> <p>（２）特急利用の見直し</p> <table><tr><th></th><th>現行</th><th>改正後（案）</th></tr><tr><td>名称</td><td>鉄道賃</td><td>鉄道賃</td></tr><tr><td>改正内容</td><td>内国旅行において、急行料金は、特別急行列車を運行する線路による旅行で片道100キロメートル以上の場合に支給する。</td><td>内国旅行の急行料金支給の要件を廃止し、公務上必要な場合には実績に応じて支給する。</td></tr></table> <p>※ 条例改正後、旅費支給規程及び手引き等を改正し、職員へ運用についての周知を行う。</p> <div>3 新旧対照表</div> <p>別紙 2 のとおり</p> <div>4 施行年月日</div> <p>令和 8 年 4 月 1 日</p>		現行	改正後（案）	名称	宿泊料	宿泊費（名称変更）	改正内容	上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の上限額〕 一般職員 11,800円	上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の最高上限額〕 一般職員 19,000円 ※ 都道府県ごとに上限額を設定		現行	改正後（案）	名称	鉄道賃	鉄道賃	改正内容	内国旅行において、急行料金は、特別急行列車を運行する線路による旅行で片道100キロメートル以上の場合に支給する。	内国旅行の急行料金支給の要件を廃止し、公務上必要な場合には実績に応じて支給する。
	現行	改正後（案）																	
名称	宿泊料	宿泊費（名称変更）																	
改正内容	上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の上限額〕 一般職員 11,800円	上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の最高上限額〕 一般職員 19,000円 ※ 都道府県ごとに上限額を設定																	
	現行	改正後（案）																	
名称	鉄道賃	鉄道賃																	
改正内容	内国旅行において、急行料金は、特別急行列車を運行する線路による旅行で片道100キロメートル以上の場合に支給する。	内国旅行の急行料金支給の要件を廃止し、公務上必要な場合には実績に応じて支給する。																	

旅費条例の改正内容

【別紙 1】

		現行	改正後（案）
宿泊費等	名称	宿泊料	宿泊費（名称変更）
	改正内容	上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の上限額〕 一般職員 11,800円	上限付き実費支給とする。 〔内国旅行の最高上限額〕 一般職員 19,000円 ※都道府県ごとに上限額を設定
	名称	—	包括宿泊費（新規）
	改正内容	—	① 交通費と宿泊費が一体となったパック旅行商品代のための旅費種目を新設する。 ② 包括宿泊費の額は、交通費の額と宿泊費基準額の合計を上限とする。
	名称	食卓料	食卓料（廃止）
	改正内容	夕朝食の費用が必要な場合に限り、定額支給する（1泊2食付きの宿泊の場合支給しない）。 〔内国旅行〕 定額 一般職員 2,600円	宿泊を伴う内国旅行における食卓料にあたる費用は、宿泊手当に含まれるため、食卓料を廃止する。
	名称	—	宿泊手当（新規）
	改正内容	—	宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費（夕朝食代の掛かり増しを含む。）に充てる旅費として、定額支給する。 〔内国旅行〕 定額 2,400円 ※食事付きの宿泊の場合減額支給 1泊2食付き 1/3の額 1泊1食付き 2/3の額
	名称	旅行雑費	旅行雑費
	改正内容	① 内国旅行（近接地内）では、緊急その他やむを得ない事情により通信費を要した場合に定額で支給する。 ② 内国旅行（近接地外）では、定額で支給する。 〔内国旅行〕 定額 100円	① 宿泊を伴わない内国旅行における緊急かつ臨時の費用として、公務上必要な場合に定額で支給する。 ② 宿泊を伴う内国旅行における旅行雑費にあたる費用は、宿泊手当に含まれるため、支給しない。 〔内国旅行〕 定額 100円
交通費	名称	鉄道賃	鉄道賃
	改正内容	内国旅行の急行料金は、特別急行列車を運行する線路による旅行で片道100キロメートル以上の場合のみ支給する。	内国旅行の急行料金支給の要件を廃止し、公務上必要な場合には実績に応じて支給する。
	名称	車賃	その他の交通費（名称変更）
	改正内容	車での移動について実費支給とする。 ただし、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により実費額によることができない場合には、路程1キロメートルにつき37円を支給する。	【追加】 鉄道、船舶及び航空機以外での移動（路線バス、タクシー、レンタカー等）について旅費として支給する。

		現行	改正後（案）
交通費	名称	航空賃	航空賃
	改正内容	運賃の等級を2以上の階級に区分する航空路による旅行の場合には、下級の運賃を支給する。	【追加】 外国旅行であって、運賃の等級が2以上の階級に区分する航空路により著しく長時間にわたる移動とされる場合は、最下級の直近上位の級の運賃を支給可能とする。
	名称	船賃	船賃
	改正内容	① 内国旅行において、運賃の等級を3階級に区分する船舶による旅行の場合には、中級の運賃を支給する。 ② 内国旅行において、運賃の等級を2階級に区分する船舶による旅行の場合には、下級の運賃を支給する。	内国旅行において、運賃の等級が区分する船舶による旅行の場合には、最下級の運賃を支給する。
赴任に伴う転居費等	名称	移転料	転居費（名称変更）
	改正内容	国内において、旧在勤地から新在勤地までの路程に応じた上限額のうちで実費支給とする。	① 運送業者が家財の運搬を行う場合に実費支給とする（最も経済的なものを選択する）。 ② 宅配便、自家用自動車、レンタカーを利用して家財の運送を行う場合に実費支給とする。
	名称	着後手当	着後滞在費（名称変更）
	改正内容	赴任に伴う内国旅行において、雑費及び宿泊料定額の5夜分相当額を支給する。	赴任に伴う内国旅行において、5夜分を上限として、実際に宿泊した夜数に応じて宿泊費と宿泊手当を支給する。
	名称	扶養親族移転料	家族移転費（名称変更）
	改正内容	扶養親族1人ごとに、職員相当の鉄道賃、船賃、航空賃及び車賃の実費額並びに宿泊料、食卓料及び着後手当の合計から、移転時の年齢に従い減額した額を支給する。	家族1人ごとに、職員相当の交通費、宿泊費、包括宿泊費、宿泊手当及び着後滞在費の合計額を支給する。
その他	名称	—	手数料（新規）
	改正内容	—	鉄道、船舶及び航空機の利用に際して、手数料等が発生し、それが旅行の実情に照らして公務上必要である場合には、当該手数料等を支給可能とする。
	名称	—	旅費の返納（新規）
	改正内容	—	① 旅行者が条例等に違反して旅費の支給を受けた場合に、旅費を返納させなければならない。 ② 旅行者が条例等に違反して旅費の支給を受けた場合に、当該旅行者に対して支払う給与又は旅費の額から、返納が必要な金額に相当する額を差し引くことができる。
	名称	渡航手数料	渡航雑費（名称変更）
	改正内容	旅行者の予防注射料、旅券の交付手数料、査証手数料、外貨交換手数料、空港旅客サービス施設使用料、旅客保安サービス料及び入出国税の実費額を支給する。	渡航手数料として実費支給をしていたものに加え、 その他外国旅行に要する費用 （保険料や携行品等の購入等）の実費額を支給する。
	名称	死亡手当	死亡手当
	改正内容	職員が外国旅行において死亡した場合、定額を支給する。 定額 520,000円	職員が外国旅行において死亡した場合、定額を支給する。 定額 930,000円
	名称	近接地内・地外の区分	近接地内・地外の区分（廃止）
	改正内容	近接地の設定をする。	近接地の設定を廃止する（近接地内、近接地外の区分を廃止する）。

足立区職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正前	改正後
<p>○足立区職員の旅費に関する条例</p> <p style="text-align: right;">昭和50年 3 月31日 条例第14号</p> <p><u>第 1 章 総則</u></p> <p>(趣旨)</p> <p>第 1 条 省略</p> <p>(用語の意義)</p> <p>第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p><u>(1) 削除</u></p> <p><u>(2) 内国旅行</u> 本邦（本州、北海道、四国、九州及び<u>財務省令</u>で定めるその附属の島の存する領域をいう。以下同じ。）における旅行をいう。</p> <p><u>(3) 省略</u></p> <p><u>(4) 出張</u> 職員が公務のため一時その在勤庁（常時勤務する在勤庁のない職員については、その住所又は居所）を離れて旅行することをいう。</p> <p><u>(5) 赴任</u> 区の要請に基づいて国若しくは他の地方公共団体等を退職し、<u>引続いて採用された職員又は任命権者があらかじめ人事委員会と協議して指定した職にあて</u>るため採用された職員が、その採用に伴う移転のため、住所若しくは居所から在勤庁に旅行し、又は転任を命ぜられた職員が、その転任に伴う移転のため旧在勤庁から新在勤庁に旅行することをいう。</p> <p><u>(6) 帰宅</u> 職員が退職し、又は死亡した場合において、その職員<u>若しくはその扶養親族又はその遺族が生活の本拠地</u>となる地に旅行することをいう。</p>	<p>○足立区職員の旅費に関する条例</p> <p style="text-align: right;">昭和50年 3 月31日 条例第14号</p> <p><u>(削る)</u></p> <p>(趣旨)</p> <p>第 1 条 現行のとおり</p> <p>(用語の意義)</p> <p>第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(1) 内国旅行</u> 本邦（本州、北海道、四国、九州及び<u>国家公務員等の旅費支給規程（昭和25年大蔵省令第45号。以下「省令」という。）</u>で定めるその附属の島の存する領域をいう。以下同じ。）における旅行をいう。</p> <p><u>(2) 現行のとおり</u></p> <p><u>(3) 出張</u> 職員が公務のため一時その在勤庁（常時勤務する在勤庁のない場合又は任命権者若しくはその委任を受けた者（以下「旅行命令権者」という。）が認める場合には、その住所、居所その他旅行命令権者が認める場所）を離れて旅行することをいう。</p> <p><u>(4) 赴任</u> 区の要請に基づいて国若しくは他の地方公共団体等を退職し、<u>引き続いて採用された職員若しくは任命権者があらかじめ人事委員会と協議して指定した職に充て</u>るため採用された職員が、その採用に伴う移転のため、住所若しくは居所から在勤庁に旅行し、又は転任を命ぜられた職員が、その転任に伴う移転のため旧在勤庁から新在勤庁に旅行することをいう。</p> <p><u>(5) 帰宅</u> 職員が退職し、又は死亡した場合において、その職員_____又はその遺族が生活の<u>根拠</u>となる地に旅行することをいう。</p>

改正前	改正後
<p>(7) <u>扶養親族 職員の配偶者（届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。）又はパートナーシップ関係（双方又はいずれか一方が性的マイノリティであり、互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約した二者間の関係その他の婚姻関係に相当すると任命権者が認める二者間の関係をいう。）の相手方（以下「パートナーシップ関係の相手方」という。）</u>、子、父母、孫、祖父母及び兄弟姉妹で<u>主として</u>職員の収入によって生計を<u>維持しているもの</u>をいう。</p> <p>(8) 省略</p>	<p>(6) <u>家族 内国旅行にあっては職員の配偶者（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。）又はパートナーシップ関係（双方又はいずれか一方が性的マイノリティであり、互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約した二者間の関係その他の婚姻関係に相当すると任命権者が認める二者間の関係をいう。）の相手方（以下「パートナーシップ関係の相手方」という。）</u>、子、父母、孫、祖父母及び兄弟姉妹で_____職員と生計を<u>一にするもの</u>をいい、外国旅行に<u>あっては職員の配偶者又はパートナーシップ関係の相手方及び子で職員と生計を一にするもの</u>をいう。</p> <p>(7) 現行のとおり</p>
<p>2 この条例において「何々地」という場合には、市町村の地域（特別区の存する区域にあってはその全地域）をいい、外国にあっては、これに準ずる地域をいうものとする。ただし、「近接地」という場合には、人事委員会と協議して規則で定める地域をいうものとする。</p>	<p>(削る)</p>
<p>(旅費の支給)</p>	<p>(旅費の支給)</p>
<p>第3条 職員が出張し、又は赴任した場合には、<u>その</u>職員に対し、旅費を支給する。</p>	<p>第3条 職員が出張し、又は赴任した場合には、<u>当該</u>職員に対し、旅費を支給する。</p>
<p>2 職員又はその遺族が、次の各号のいずれかに該当する場合には、それぞれ当該各号に掲げる者に対し、旅費を支給する。</p>	<p>2 職員又はその遺族が、次の各号のいずれかに該当する場合には、それぞれ当該各号に掲げる者に対し、旅費を支給する。</p>
<p>(1) 職員が出張又は赴任のための内国旅行中に退職、免職_____、失職又は休職（以下「退職等」という。）となった場合（当該退職等に伴う旅行を必要としない場合を除く。）には、当該職員</p>	<p>(1) 職員が出張又は赴任のための内国旅行中に退職、免職<u>（罷免を含む。）</u>、失職又は休職（以下「退職等」という。）となった場合（当該退職等に伴う旅行を必要としない場合を除く。）には、当該職員</p>
<p>(2)～(5) 省略</p>	<p>(2)～(5) 省略</p>
<p>3～4 省略</p>	<p>3～4 現行のとおり</p>
<p><u>(加える)</u></p>	<p>5 第1項、第2項及び前項の規定に該当する場合を除くほか、他の条例等に特別の定めがある場合その他区費を支弁して旅行させる必要がある場合には、<u>旅費を支給する。</u></p>

改正前	改正後
<p>5 第1項、第2項及び<u>前項</u>の規定により、旅費の支給を受けることができる者（その者の扶養親族の旅行について旅費の支給を受けることができる場合には、当該扶養親族を含む。以下本条において同じ。）が、その出発前に、<u>第4条第3項の規定により、旅行命令等を取り消され、又は死亡した場合</u> _____において、当該旅行のため既に支出した金額があるときは、当該金額のうちその者の損失と<u>なった金額を、旅費</u>として支給することができる。</p>	<p>6 第1項、第2項及び<u>前2項</u>の規定により、旅費の支給を受けることができる者 _____が<u>次条第3項の規定により旅行命令等の変更（取消しを含む。以下同じ。）を受け、又は死亡した場合その他足立区職員旅費支給規程（昭和50年足立区訓令甲第26号。以下「区規程」という。）で定める場合</u>において、当該旅行のため既に支出した金額があるときは、当該金額のうちその者の損失と<u>なる金額又は支出を要する金額で区規程で定めるものを旅費</u>として支給することができる。</p>
<p>6 第1項、第2項及び<u>第4項</u> _____の規定により旅費の支給を受けることができる者が、旅行中交通機関の事故又は天災その他やむを得ない事情により概算払を受けた旅費額（概算払を受けなかった場合には、概算払を受けることができた旅費額に相当する金額）の全部又は一部を喪失した場合には、その喪失した旅費額の<u>範囲内</u>の金額を旅費として支給する。</p> <p>（旅行命令等）</p>	<p>7 第1項、第2項、<u>第4項及び第5項</u>の規定により旅費の支給を受けることができる者が、旅行中交通機関の事故又は天災その他やむを得ない事情により概算払を受けた旅費額（概算払を受けなかった場合には、概算払を受けることができた旅費額に相当する金額）の全部又は一部を喪失した場合には、その喪失した旅費額の<u>範囲内で区規程で定める金額</u>を旅費として支給する。</p> <p>（旅行命令等）</p>
<p>第4条 次の各号に掲げる旅行は、当該各号に掲げる区分により、<u>任命権者又は任命権者の委任を受けた者（以下「旅行命令権者」という。）</u>の発する旅行命令又は旅行依頼（以下「旅行命令等」という。）によって行われなければならない。</p>	<p>第4条 次の各号に掲げる旅行は、当該各号に掲げる区分により、<u>旅行命令権者</u>の発する旅行命令又は旅行依頼（以下「旅行命令等」という。）によって行われなければならない。</p>
<p>(1)～(2) 省略</p>	<p>(1)～(2) 現行のとおり</p>
<p>2 省略</p>	<p>2 現行のとおり</p>
<p>3 旅行命令権者は、既に発した旅行命令等を変更（取消しを含む。以下<u>同じ。</u>）する必要があると認める場合で、前項の規定に該当する場合には、自ら又は第5条第1項若しくは第2項の規定による旅行者の申請に基づき、これを変更することができる。</p>	<p>3 旅行命令権者は、既に発した旅行命令等の変更を _____する必要があると認める場合で、前項の規定に該当する場合には、自ら又は次条第1項若しくは第2項の規定による旅行者の申請に基づき、これを変更することができる。</p>
<p>4 旅行命令権者は、旅行命令等を発し、又は<u>これを変更する</u>には、旅行命令簿又は旅行依頼簿（以下「旅行命令簿等」という。）によってこれをし</p>	<p>4 旅行命令権者は、旅行命令等を発し、又は<u>その変更をする</u>には、旅行命令簿又は旅行依頼簿（以下「旅行命令簿等」という。）に<u>区規程で定める</u></p>

改正前	改正後
<p>なければならない。<u>ただし、旅行命令簿等によるいとまのないときは、口頭により旅行命令等</u>を発し、又はこれを変更することができる。この場合においては、<u>速やかに旅行命令簿等に、その旅行に関する事項を記載し、これをその旅行者に提示しなければならない。</u></p> <p><u>(加える)</u></p> <p>5 旅行命令簿等の記載事項及び様式は、<u>任命権者が定める。</u> (旅行命令等に従わない旅行)</p> <p>第5条 旅行者は、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により旅行命令等（前条第3項の規定により変更された旅行命令等を含む。以下<u>本条</u>において同じ。）に従って旅行することができない場合には、あらかじめ旅行命令権者に旅行命令等の変更の申請をしなければならない。</p> <p>2 旅行者は、前項の規定による旅行命令等の変更の申請をするいとまがない場合には、旅行命令等に従わないで旅行した後、<u>速やかに旅行命令権者に旅行命令等の変更の申請をしなければならない。</u></p> <p>3 <u>旅行者は、前2項</u>の規定による旅行命令等の変更の申請をせず、又は申請をしたがその変更が認められなかった場合において、旅行命令等に従わないで旅行したときは、<u>その旅行者は、旅行命令等に従った限度の旅行に対する旅費のみの支給を受けることができる。</u> (旅費の種類)</p> <p>第6条 旅費の種類は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃、旅行雑費、宿泊料、<u>食卓料、移転料、着後手当、扶養親族移転料、渡航手数料及び死亡手当とする。</u></p> <p>2 鉄道賃は、鉄道旅行について、実費額により支給する。</p> <p>3 船賃は、水路旅行について、実費額により支給する。</p> <p>4 航空賃は、航空旅行について、実費額により支給する。</p> <p>5 車賃は、陸路（鉄道を除く。以下同じ。）旅行について、実費額又は路</p>	<p>事項の記載又は記録をし、当該事項を当該旅行者に通知してしなければならない。<u>ただし、旅行命令簿等に当該事項の記載又は記録をするいとまがない場合には、この限りでない。</u></p> <p>5 前項ただし書の規定により旅行命令簿等に記載又は記録をしなかった場合には、できるだけ速やかに旅行命令簿等に同項に定める事項の記載又は記録をしなければならない。</p> <p>6 旅行命令簿等の_____様式は、<u>区規程</u>で定める。 (旅行命令等に従わない旅行)</p> <p>第5条 旅行者は、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により旅行命令等（前条第3項の規定により変更を受けた旅行命令等を含む。以下<u>この条</u>において同じ。）に従って旅行することができない場合には、あらかじめ旅行命令権者に旅行命令等の変更の申請をしなければならない。</p> <p>2 旅行者は、前項の規定による旅行命令等の変更の申請をするいとまがない場合には、旅行命令等に従わないで旅行した後、<u>できるだけ速やかに旅行命令権者に旅行命令等の変更の申請をしなければならない。</u></p> <p>3 <u>旅行者が、前2項</u>の規定による旅行命令等の変更の申請をせず、又は申請をしたがその変更が認められなかった場合において、旅行命令等に従わないで旅行したときは、<u>当該旅行者は、旅行命令等に従った限度の旅行に対する旅費のみの支給を受けることができる。</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p>

改正前	改正後
<p>程に応じ1キロメートル当たりの定額により支給する。</p> <p>6 旅行雑費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給する。</p> <p>7 宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額の範囲内の実費額により支給する。</p> <p>8 食卓料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額により支給する。</p> <p>9 移転料は、赴任に伴う住所又は居所の移転について、実費額により支給する。</p> <p>10 着後手当は、赴任に伴う住所又は居所の移転について、定額により支給する。</p> <p>11 扶養親族移転料は、赴任に伴う扶養親族の移転について支給する。</p> <p>12 渡航手数料は、外国への出張に伴う雑費について、実費額により支給する。</p> <p>13 死亡手当は、第3条第2項第5号の規定に該当する場合について、定額により支給する。</p>	<p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p> <p>(削る)</p>
(旅費の計算)	(旅費の計算)
<p>第7条 旅費は、最も経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費により計算する。ただし、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により最も経済的な通常の経路又は方法によって旅行し難い場合には、その現によった経路及び方法によって計算する。</p>	<p>第6条 旅費は、<u>旅行に要する実費を弁償するためのものとして</u>、最も経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費により計算する。ただし、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により最も経済的な通常の経路又は方法によって旅行し難い場合には、その現によった経路及び方法によって計算する。</p>
<p>第8条 旅費計算上の旅行日数は、旅行のために現に要した日数による。</p>	<p>(削る)</p>
<p>第9条 旅行者が同一地域（第2条第2項に規定する地域区分による地域をいう。以下同じ。）に滞在する場合における旅行雑費及び宿泊料は、その地域に到着した日の翌日から起算して滞在日数15日を超える場合には、その超える日数について定額の10分の1に相当する額、滞在日数30日を超える場合には、その超える日数について定額の10分の2に相当する額を、それぞれの定額から減じた額による。</p>	<p>(削る)</p>
<p>2 同一地域に滞在中一時他の地に出張した日数は、前項の滞在日数から除</p>	<p>(削る)</p>

改正前	改正後
算する。	
第10条 削除	(削る)
第11条 1日の旅行において、旅行雑費定額を異にする事由が生じた場合には、額の多い方の定額による旅行雑費を支給する。	(削る)
第12条 削除	(削る)
第13条 旅費を区分して内国旅行の旅費及び外国旅行の旅費とし、内国旅行の旅費を更に近接地内旅費及び近接地外旅費とする。 (旅費の請求及び精算)	(削る)
第13条の2 旅費（概算払に係る旅費を含む。）の支給を受けようとする旅行者又は概算払に係る旅費の支給を受けた旅行者でその精算をしようとするものは、所定の請求書又は精算書_____に必要な書類を添えて、これを当該旅費の支出を担当する者（以下「支出担当者等」という。）に提出しなければならない。この場合において、必要な添付書類の全部又は一部を提出しなかった者は、その請求に係る旅費額のうち、その書類を提出しなかったためその旅費の必要が明らかにされなかった部分の金額の支給を受けることができない。	第7条 旅費（概算払に係る旅費を含む。）の支給を受けようとする旅行者及び概算払に係る旅費の支給を受けた旅行者でその精算をしようとするものは、所定の請求書又は精算書（当該請求書又は精算書に記載すべき事項を記録した電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）を含む。以下「請求書等」という。）に必要な資料を添えて、これを当該旅費の支出を担当する者（以下「支出担当者等」という。）に提出しなければならない。この場合において、必要な資料の全部又は一部を提出しなかった者は、その請求に係る旅費のうち、その資料を提出しなかったためその旅費の必要が明らかにされなかった部分の支給を受けることができない。
2 概算払に係る旅費の支給を受けた旅行者は、当該旅行を完了した後所定の期間内に、当該旅行について前項の規定による旅費の精算をしなければならない。	2 概算払に係る旅費の支給を受けた旅行者は、当該旅行を完了した後所定の期間内に、当該旅行について前項の規定による旅費の精算をしなければならない。
3 支出担当者等は、前項の規定による精算の結果過払金があった場合には、所定の期間内に、当該過払金を返納させなければならない。 (加える)	3 支出担当者等は、前項の規定による精算の結果過払金があった場合には、所定の期間内に、当該過払金を返納させなければならない。
	4 請求書等又は資料が電磁的記録で作成されている場合は、電磁的方法（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法をいう。以下同じ。）により提出することができる。
	5 前項の規定により請求書等又は資料の提出が電磁的方法により行われた

改正前	改正後
<p>4 第1項に規定する請求書又は精算書及び必要な添付書類の種類、記載事項及び様式並びに第2項及び前項に規定する期間は、<u>任命権者が定める。</u></p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>第2章 内国旅行の旅費</u> <u>(近接地内旅費)</u></p> <p>第14条 近接地内の旅行の旅費は、次に規定する旅費とする。</p> <p>(1) 鉄道賃、船賃及び車賃</p> <p>(2) 公務上の緊急の必要その他やむを得ない事情により通信費を要した場合には、別表第1の旅行雑費定額</p> <p>(3) 公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により宿泊する場合には次に規定する宿泊料</p> <p>ア 食事を提供しない公用の施設又は現場等に宿泊する場合には、別表第1の食卓料定額に相当する額</p> <p>イ ホテル、旅館等に宿泊する場合には、別表第1の宿泊料定額の範囲内の実費額</p> <p>(4) 赴任を命ぜられた職員が、職員のための公設宿舎に居住すること又はこれを明け渡すことを命ぜられ、住所又は居所を移転した場合又は任命権者が人事委員会と協議して住所又は居所の移転を特に必要と認めて移転した場合には、別表第1の路程に応じた移転料額（扶養親族を随伴しない場合には、その2分の1に相当する額）の範囲内における実費額の移転料</p> <p>第15条 削除</p>	<p><u>ときは、支出担当者等の使用に係る電子計算機に備えられたファイルへの記録がなされたときに当該請求書等又は資料を提出したものとみなす。</u></p> <p>6 <u>請求書等及び必要な資料の種類、記載事項又は記録事項及び様式並びに第2項及び第3項に規定する期間は、<u>区規程</u>で定める。</u></p> <p><u>(旅費の種類)</u></p> <p>第8条 旅費の種類は、鉄道賃、船賃、航空賃、その他の交通費、宿泊費、<u>包括宿泊費、宿泊手当、転居費、着後滞在費、家族移転費、渡航雑費、死亡手当及び旅行雑費とし、これらの内容については、次条から第21条までの規定に定めるところによる。</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p>

改正前	改正後
<p>(近接地外旅費)</p> <p>第16条 近接地外の旅費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃、旅行雑費、宿泊料、食卓料、移転料、着後手当及び扶養親族移転料とする。</p> <p>(鉄道賃)</p> <p>第17条 <u>鉄道賃の額は、次に規定する旅客運賃（以下この条において「運賃」という。）</u>、急行料金、寝台料金、特別車両料金及び座席指定料金のそれぞれの範囲内の実費額による。</p> <p>(1) <u>乗車に要する運賃</u></p> <p>(2) <u>急行料金を徴する線路による旅行の場合には、前号に規定する運賃のほか、その乗車に要する急行料金</u></p> <p>(3) <u>公務上の必要により寝台車を利用する場合には、前2号に規定する運賃及び急行料金のほか、任命権者が定める寝台料金</u></p> <p>(4) <u>公務上の必要により特別車両料金を徴する客車を利用した場合には、前3号に規定する運賃、急行料金及び寝台料金のほか、特別車両料金</u></p> <p>(5) <u>座席指定料金を徴する客車を運行する線路による旅行の場合には、前各号に規定する運賃、急行料金、寝台料金及び特別車両料金のほか、座席指定料金</u></p> <p>(加える)</p> <p>2 前項第2号に規定する急行料金は、次の各号のいずれかに該当する場合に限り、支給する。</p>	<p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p>(鉄道賃)</p> <p>第9条 <u>鉄道賃は、鉄道（鉄道事業法（昭和61年法律第92号）第2条第1項に規定する鉄道事業の用に供する鉄道及び軌道法（大正10年法律第76号）第1条第1項に規定する軌道、外国におけるこれらに相当するものその他区規程で定めるものをいう。以下同じ。）を利用する移動に要する費用とし、その額は、次に掲げる費用（第2号から第6号までに掲げる費用は、第1号に掲げる運賃に加えて別に支払うものであって、公務のため特に必要とするものに限る。）の額の合計額とする。</u></p> <p>(1) 運賃</p> <p>(2) 急行料金</p> <p>(3) 寝台料金</p> <p>(4) <u>座席指定料金</u></p> <p>(5) <u>特別車両料金</u></p> <p>(6) <u>前各号に掲げる費用に付随する費用</u></p> <p>2 前項第1号に掲げる運賃の額の上限は、内国旅行の場合であって運賃の等級が区分された鉄道により移動するときは最下級、外国旅行の場合であって運賃の等級が区分された鉄道により移動するときは最上級（等級が3以上に区分された鉄道により移動する場合には、最上級の直近下位の級）の運賃の額とする。</p>

改正前	改正後
(1) 特別急行列車を運行する線路による旅行で片道100キロメートル(任命権者が認める場合にあつては片道50キロメートル)以上のもの	<u>(削る)</u>
(2) 普通急行列車を運行する線路による旅行で片道50キロメートル以上のもの	<u>(削る)</u>
3 第1項第5号に規定する座席指定料金は、普通急行列車を運行する線路による旅行で片道100キロメートル以上のものに該当する場合に限り、支給する。	<u>(削る)</u>
(船賃)	(船賃)
第18条 船賃の額は、次に規定する旅客運賃(はしけ賃及び栈橋賃を含む。以下この条において「運賃」という。)、寝台料金、特別船室料金及び座席指定料金のそれぞれの範囲内の実費額による。	第10条 船賃は、船舶(海上運送法(昭和24年法律第187号)第2条第2項に規定する船舶運航事業の用に供する船舶、外国におけるこれに相当するものその他区規程で定めるものをいう。以下同じ。)を利用する移動に要する費用とし、その額は、次に掲げる費用(第2号から第5号までに掲げる費用は、第1号に掲げる運賃に加えて別に支払うものであって、公務のため特に必要とするものに限る。)の額の合計額とする。
(1) 運賃の等級を3階級に区分する船舶による旅行の場合には、中級の運賃	(1) 運賃
(2) 運賃の等級を2階級に区分する船舶による旅行の場合には、下級の運賃	<u>(削る)</u>
(3) 前2号の規定に該当する場合において、同一階級の運賃を更に2以上に区分する船舶による旅行の場合には、次に規定する運賃	<u>(削る)</u>
ア 第1号の規定に該当する場合には、最上級の直近下位の級の運賃	
イ 第2号の規定に該当する場合には、最上級の運賃	
(4) 運賃の等級を設けない船舶による旅行の場合には、その乗船に要する運賃	<u>(削る)</u>
(5) 公務上の必要により別に寝台料金を必要とした場合には、前各号に規定する運賃のほか、寝台料金	(2) 寝台料金
(6) 公務上の必要により、第4号に規定する船舶で特別船室を利用した場合には、同号に規定する運賃及び前号に規定する寝台料金のほか、特	(3) 座席指定料金

改正前	改正後
<p><u>別船室料金</u></p> <p>(7) <u>座席指定料金を徴する船舶を運行する航路による旅行の場合には、前各号に規定する運賃及び料金のほか、座席指定料金</u> <u>(加える)</u></p> <p>2 <u>前項第1号又は第2号の規定に該当する場合において、同一階級の運賃を更に2以上に区分する船舶による旅行の場合には、当該各号の運賃は、同一階級内の最上級の運賃による。</u></p> <p>(航空賃)</p> <p>第19条 <u>航空賃の額は、旅客運賃の範囲内の実費額による。</u></p> <p>(加える)</p> <p>(加える)</p> <p>(加える)</p> <p>(加える)</p> <p>(加える)</p> <p>(車賃)</p> <p>第20条 <u>車賃の額は、実費額による。ただし、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により実費額によることができない場合には、路程1キ</u></p>	<p>(4) <u>特別船室料金</u></p> <p>(5) <u>前各号に掲げる費用に付随する費用</u></p> <p>2 <u>前項第1号に掲げる運賃の額の上限は、内国旅行の場合であって運賃の等級が区分された船舶により移動するときは最下級、外国旅行の場合であって運賃の等級が区分された船舶により移動するときは最上級（等級が3以上に区分された船舶により移動する場合には、最上級の直近下位の級）の運賃の額とする。</u></p> <p>(航空賃)</p> <p>第11条 <u>航空賃は、航空機(航空法(昭和27年法律第231号)第2条第18項に規定する航空運送事業の用に供する航空機、外国におけるこれに相当するものその他区規程で定めるものをいう。以下同じ。)を利用する移動に要する費用とし、その額は、次に掲げる費用(第2号及び第3号に掲げる費用は、第1号に掲げる運賃に加えて別に支払うものであって、公務のため特に必要とするものに限る。)の額の合計額とする。</u></p> <p>(1) <u>運賃</u></p> <p>(2) <u>座席指定料金</u></p> <p>(3) <u>前2号に掲げる費用に付随する費用</u></p> <p>2 <u>前項第1号に掲げる運賃の額の上限は、運賃の等級が区分された航空機により移動する場合には、最下級の運賃の額とする。</u></p> <p>3 <u>外国旅行の場合であって、運賃の等級が3以上に区分された航空機により著しく長時間にわたる移動として区規程で定めるものをするときは、前項の規定にかかわらず、第1項第1号に掲げる運賃の額の上限を最下級の直近上位の級の運賃の額とすることができる。</u></p> <p>(その他の交通費)</p> <p>第12条 <u>その他の交通費は、鉄道、船舶及び航空機以外を利用する移動に要する費用とし、その額は、次に掲げる費用(第2号から第4号までに掲げる</u></p>

改正前	改正後
<p>ロメートルにつき37円とする。</p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>(加える)</u></p>	<p><u>費用は、公務のため特に必要とするものに限る。)の額の合計額とする。ただし、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により当該費用の額を算定することができない場合は、路程1キロメートルにつき37円とする。</u></p> <p><u>(1) 道路運送法(昭和26年法律第183号)第3条第1号イに掲げる一般乗合旅客自動車運送事業(路線を定めて定期に運行する自動車により乗合旅客の運送を行うものに限る。)の用に供する自動車(外国におけるこれに相当するものを含む。)を利用する移動に要する運賃</u></p> <p><u>(2) 道路運送法第3条第1号ハに掲げる一般乗用旅客自動車運送事業の用に供する自動車(外国におけるこれに相当するものを含む。)その他の旅客を運送する交通手段(前号に規定する自動車を除く。)を利用する移動に要する運賃</u></p> <p><u>(3) 前2号に掲げる運賃以外の費用であって、道路運送法第80条第1項の許可を受けて業として有償で貸し渡す自家用自動車(外国におけるこれに相当するものを含む。)の賃料その他の移動に直接要する費用</u></p> <p><u>(4) 前3号に掲げる費用に付随する費用</u></p>
<p>2 省略</p> <p><u>(旅行雑費)</u></p> <p>第21条 <u>旅行雑費の額は、別表第1の定額による。</u></p> <p><u>(宿泊料)</u></p> <p>第22条 <u>宿泊料の額は、別表第1の定額の範囲内の実費額による。</u></p> <p>2 <u>宿泊料は、鉄道賃、船賃、航空賃若しくは車賃のほかに別に宿泊費を要</u></p>	<p>2 現行のとおり</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(宿泊費)</u></p> <p>第13条 <u>宿泊費は、旅行中の宿泊に要する費用とし、その額は、次の各号に掲げる旅行の区分に応じ、当該各号に定める額（以下「宿泊費基準額」という。）とする。ただし、当該宿泊に係る特別な事情がある場合として区規程で定める場合は、当該宿泊に要する費用の額とする。</u></p> <p><u>(1) 内国旅行 省令別表第2の1の表の区分の欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の職務の級が10級以下の者の欄に定める額</u></p> <p><u>(2) 外国旅行 省令別表第2の2の表の区分の欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の職務の級が10級以下の者の欄に定める額</u></p> <p><u>(削る)</u></p>

改正前	改正後
<p>する場合、又は鉄道賃、船賃、航空賃若しくは車賃を要しないが宿泊費を要する場合に限り支給する。</p> <p><u>(食卓料)</u></p> <p>第23条 食卓料の額は、別表第1の定額による。</p> <p>2 食卓料は、鉄道賃、船賃、航空賃若しくは車賃のほかに別に食費を要する場合、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃若しくは宿泊料を要しないが食費を要する場合、又は宿泊料を要するがその宿泊料に食事代が含まれない場合に限り、支給する。</p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>(移転料)</u></p> <p>第24条 移転料の額は、次に規定する額の範囲内の実費額による。</p> <p>(1) 赴任の際扶養親族を移転する場合には、旧在勤地から新在勤地までの路程に応じた別表第1の額</p>	<p><u>(削る)</u></p> <p><u>(包括宿泊費)</u></p> <p>第14条 包括宿泊費は、移動及び宿泊に対する一体の対価として支払われる費用とし、その額は、当該移動に係る第9条から第12条までの規定による交通費(第18条において「交通費」という。)の額及び当該宿泊に係る宿泊費基準額の合計額とする。</p> <p><u>(宿泊手当)</u></p> <p>第15条 宿泊手当は、宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費に充てるための費用とし、その額は、次の各号に掲げる旅行の区分に応じ、当該各号に定める1夜当たりの定額とする。</p> <p>(1) 内国旅行 省令別表第3の1の表の宿泊手当の欄に定める額</p> <p>(2) 外国旅行 省令別表第3の2の表の区分の欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の宿泊手当の欄に定める額</p> <p><u>(転居費)</u></p> <p>第16条 転居費は、本邦における赴任に伴う転居に要する費用(第18条第1項第1号又は第2号に規定する場合の家族の転居に要する費用を含む。)とし、その額は、次に掲げる方法により算定される額とする。</p> <p>(1) 運送業者が家財の運送を行う場合には、複数又は1者(複数の運送業者に見積りをさせることができない特別の事情があると認められる場合に限る。)の運送業者に見積りをさせ、かつ、その中から最も経済的なもの</p>

改正前	改正後
<p>(2) <u>赴任の際扶養親族を移転しない場合には、前号に規定する額の2分の1に相当する額</u></p> <p>(3) <u>赴任の際扶養親族を移転しないが赴任を命ぜられた日の翌日から1年以内に扶養親族を移転する場合には、前号に規定する額に相当する額(赴任の後扶養親族を移転するまでの間に更に赴任があった場合には、各赴任について支給することができる前号に規定する額に相当する額の合計額)</u></p> <p>2 <u>前項第3号の場合において、扶養親族を移転した際における移転料の別表第1の額が、職員が赴任した際の移転料の別表第1の額と異なるときは、同額の額は、扶養親族を移転した際における移転料の別表第1の額を基礎として計算する。</u></p> <p>3 <u>旅行命令権者は、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情がある場合には、第1項第3号に規定する期間を延長することができる。</u> (着後手当)</p> <p>第25条 <u>着後手当の額は、別表第1の旅行雑費定額の5日分及び宿泊料定額の5夜分に相当する額による。</u> (扶養親族移転料)</p> <p>第26条 <u>扶養親族移転料の額は、次に規定する額による。</u></p> <p>(1) <u>赴任の際扶養親族を旧在勤地から新在勤地まで随伴する場合には、赴任を命ぜられた日における扶養親族1人ごとに、その移転の際における年齢に従い、次の各号に規定する額の合計額</u></p>	<p><u>のを選択するときに限り、当該運送に要する額を転居費の額とする方法</u></p> <p>(2) <u>旅行者が宅配便又は自家用自動車若しくは道路運送法第80条第1項の許可を受けて業として有償で貸し渡す自家用自動車その他これらに類するものを利用して家財の運送を行う場合には、当該運送に要する額を転居費の額とする方法。ただし、当該運送に要する額が運送業者に依頼したものとして前号の規定により算定した額を超えるときは、当該額とする。</u> (削る)</p> <p>2 <u>職員又は家族が他から赴任に係る旅費の支給又はこれに相当する金額の支払を受ける場合には、前項の規定により算定した転居費の額から当該支給又は当該支払を受ける金額を差し引くこととする。</u> (削る)</p> <p>(着後滞在費)</p> <p>第17条 <u>着後滞在費は、本邦における赴任に伴う転居に必要な滞在に係る費用とし、その額は、5夜分を限度として、現に宿泊した夜数に係る宿泊費及び宿泊手当の合計額に相当する額とする。</u> (家族移転費)</p> <p>第18条 <u>家族移転費は、本邦における赴任に伴う家族の移転に要する費用とし、その額は、次に掲げる額とする。</u></p> <p>(1) <u>赴任の際家族(赴任を命ぜられた日において同居している者に限る。以下この号及び次号において同じ。)を職員の新居住地に移転する場合には、家族1人ごとに、職員がその移転をするものとして算定した交通</u></p>

改正前	改正後
<p>ア 12歳以上の者については、その移転の際における職員相当の鉄道賃、船賃、航空賃及び車賃の実費額並びに宿泊料、食卓料及び着後手当の3分の2に相当する額</p> <p>イ 12歳未満6歳以上の者については、アに規定する額の2分の1に相当する額</p> <p>ウ 6歳未満の者については、その移転の際における職員相当の航空賃の実費額の2分の1に相当する額（3歳未満の者については、座席を利用し、利用証明書類を提出した場合に限る。）並びに宿泊料、食卓料及び着後手当の3分の1に相当する額。ただし、6歳未満の者を3人以上随伴するときは、2人を超える者ごとにその移転の際における職員相当の鉄道賃及び船賃の実費額の2分の1に相当する金額を加算する。</p> <p>（2） 前号の規定に該当する場合を除くほか、第24条第1項第1号又は第3号の規定に該当する場合には、扶養親族の旧居住地から新居住地までの旅行について前号の規定に準じて計算した額。ただし、前号の規定により支給することができる額に相当する額（赴任の後扶養親族を移転するまでの間に更に赴任があった場合には、各赴任について前号の規定により支給することができる額に相当する額の合計額）を超えることができない。</p> <p>2 職員が赴任を命ぜられた日において、胎児であった子を移転する場合においては、扶養親族移転料の額の計算については、その子の赴任を命ぜられた日における扶養親族とみなして、前項の規定を適用する。</p> <p>（退職者等の旅費）</p> <p>第27条 第3条第2項第1号の規定により支給する旅費は、次に規定する旅費とする。</p> <p>（1） 職員が出張中に退職等となった場合には、次に規定する旅費</p>	<p>費、宿泊費、包括宿泊費、宿泊手当及び着後滞在費の合計額に相当する額</p> <p>（削る）</p> <p>（削る）</p> <p>（削る）</p> <p>（2） 前号に規定する場合に該当せず、かつ、赴任を命ぜられた日の翌日から1年以内に家族を職員の居住地（赴任後家族を移転するまでの間に更に赴任があった場合には、当該赴任後における職員の新居住地）に移転する場合には、前号の規定に準じて算定した額</p> <p>2 旅行命令権者は、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情がある場合には、前項第2号に規定する期間を延長することができる。</p> <p>（削る）</p> <p>（削る）</p>

改正前	改正後
ア 退職等となった日（以下「退職等の日」という。）にいた地から退職等の命令の通達を受け、又はその原因となった事実の発生を知った日（以下「退職等を知った日」という。）にいた地までの旅費	<u>（削る）</u>
イ 退職等を知った日の翌日から３月以内に出発して当該退職等に伴う旅行をした場合に限り、出張の例に準じて計算した退職等を知った日にいた地から旧在勤地までの旅費	<u>（削る）</u>
（２） 職員が赴任中に退職等となった場合には、赴任の例に準じ、かつ、新在勤地を旧在勤地とみなして前号の規定に準じて計算した旅費（遺族の旅費）	<u>（削る）</u>
第27条の２ 第３条第２項第２号の規定により支給する旅費は、次に規定する旅費とする。	<u>（削る）</u>
（１） 職員が出張中に死亡した場合には、死亡地から居住地までの往復に要する旅費	<u>（削る）</u>
（２） 職員が赴任中に死亡した場合には、赴任の例に準じて計算した死亡地から新在勤地までの旅費	<u>（削る）</u>
２ 遺族が前項に規定する旅費の支給を受ける順位は、第２条第１項第８号に掲げる順序により、同順位者がある場合には、年長者を先にする。	<u>（削る）</u>
３ 第３条第２項第３号の規定により支給する旅費は、第26条第１項第１号の規定に準じて計算した居住地から帰住地までの鉄道賃、船賃、車賃及び食卓料とする。この場合において、同号中「赴任を命ぜられた日」とあるのは、「職員が死亡した日」と読み替えるものとする。	<u>（削る）</u>
第３章 外国旅行の旅費	<u>（削る）</u>
（本邦通過の場合の旅費）	<u>（削る）</u>
第28条 外国旅行中本邦を通過する場合には、その本邦内の旅行について支給する旅費は、前章に規定するところによる。ただし、外国航路の船舶又は航空機により、本邦を出発し、又は本邦に到着した場合における船賃又は航空賃並びに本邦を出発した日からの旅行雑費及び食卓料又は本邦に到着した日までの旅行雑費及び食卓料については、本章に規定するところに	<u>（削る）</u>

改正前	改正後
<p>よる。</p> <p><u>(鉄道賃)</u></p> <p>第29条 鉄道賃の額は、次に規定する旅客運賃（以下この条において「運賃」という。）、急行料金及び寝台料金（これらのものに対する通行税を含む。）の範囲内の実費額による。</p> <p>(1) 運賃の等級を3以上の階級に区分する線路による旅行の場合には、<u>最上級の直近下位の級の運賃</u></p> <p>(2) 運賃の等級を2階級に区分する線路による旅行の場合には、<u>上級の運賃</u></p> <p>(3) 運賃の等級を設けない線路による旅行の場合には、<u>その乗車に要する運賃</u></p> <p>(4) 公務上の必要により特別の座席の設備を利用した場合には、<u>前3号に規定する運賃のほか、その座席の利用に要した運賃</u></p> <p>(5) 公務上の必要により別に急行料金又は寝台料金を必要とした場合には、<u>前各号に規定する運賃のほか、急行料金又は寝台料金(船賃)</u></p> <p>第30条 船賃の額は、次に規定する旅客運賃（はしけ賃及び栈橋賃を含む。以下この条において「運賃」という。）及び寝台料金（これらのものに対する通行税を含む。）の範囲内の実費額による。</p> <p>(1) 運賃の等級を2以上の階級に区分する船舶による旅行の場合には、<u>次に規定する運賃の範囲内で任命権者が定める運賃（最下級の運賃による場合を除く。）</u></p> <p>ア 運賃の等級を2以上の階級に区分する船舶による旅行の場合には、<u>最上級の運賃</u></p> <p>イ アの最上級の運賃を更に4以上に区分する船舶による旅行の場合には、<u>最上級の2階級下位の級の運賃</u></p> <p>ウ アの最上級の運賃を更に3に区分する船舶による旅行の場合には、<u>下級の運賃</u></p>	<p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p>

改正前	改正後
エ アの最上級の運賃を更に2に区分する船舶による旅行の場合には、 <u>下級の運賃</u>	(削る)
(2) 運賃の等級を設けない船舶による旅行の場合には、その乗船に要する運賃	(削る)
(3) 公務上の必要により、あらかじめ旅行命令権者の許可を受け特別の運賃を必要とする船室を利用した場合には、前2号に規定する運賃のほか、その船室のために現に支払った運賃	(削る)
(4) 公務上の必要により別に寝台料金を必要とした場合には、前3号に規定する運賃のほか、現に支払った寝台料金	(削る)
(航空賃及び車賃)	(削る)
第31条 航空賃の額は、次に規定する旅客運賃（以下この条において「運賃」という。）による。	(削る)
(1) 運賃の等級を2以上の階級に区分する航空路による旅行の場合には、下級の運賃	(削る)
(2) 運賃の等級を設けない航空路による旅行の場合には、航空機の利用に要する運賃	(削る)
(3) 公務上の必要により特別の座席の設備を利用した場合には、前2号に規定する運賃のほか、その座席の利用に要した運賃	(削る)
2 車賃の額は、実費額による。	(削る)
(旅行雑費、宿泊料及び食卓料)	(削る)
第32条 旅行雑費の額は、旅行先の区分に応じた別表第2の定額による。	(削る)
2 宿泊料の額は、旅行先の区分に応じた別表第2の定額の範囲内の実費額による。	(削る)
3 食卓料の額は、別表第2の定額による。	(削る)
4 第22条第2項及び第23条第2項の規定は、外国旅行の場合の宿泊料及び食卓料について準用する。	(削る)
第33条 削除	(削る)
(渡航手数料)	(渡航雑費)

改正前	改正後
第34条 <u>渡航手数料の額は、旅行者の予防注射料、旅券の交付手数料、査証手数料、外貨交換手数料、空港旅客サービス施設使用料、旅客保安サービス料及び入出国税の実費額による。</u> (死亡手当)	第19条 <u>渡航雑費は、外国旅行に要する雑費とし、その額は、予防接種に係る費用、旅券の交付手数料及び査証手数料、外貨交換手数料並びに入出国税その他外国旅行に必要なものとして区規程で定める費用の額とする。</u> (死亡手当)
第35条 <u>死亡手当の額は、第3条第2項第5号の規定に該当する場合（死亡地が本邦である場合を除く。）には、別表第2の定額による。</u>	第20条 <u>死亡手当は、職員の外国における死亡（第3条第2項第5号に規定する場合に限る。）に伴う諸雑費に充てるための費用とし、その額は、区規程で定める定額とする。</u>
2 職員が第3条第2項第5号の規定に該当し、かつ、その死亡地が本邦である場合において同号の規定により支給する死亡手当の額は、第27条の2第1項第1号の規定に準じて計算した旅費の額による。	<u>(削る)</u>
3 遺族が前2項に規定する死亡手当の支給を受ける順位は、第27条の2第2項の規定を準用する。 (外国の同一地域内旅行の旅費)	<u>(削る)</u>
第36条 <u>外国の同一地域内における旅行の旅費については、鉄道賃、船賃及び車賃は、支給しない。ただし、公務上の必要又は天災その他やむを得ない事情により、鉄道賃、船賃又は車賃を要する場合で、その実費額が、当該旅行について支給される旅行雑費に相当する額を超える場合には、その超える部分の金額に相当する額の鉄道賃、船賃又は車賃を支給する。</u> <u>(加える)</u> (退職者等の旅費)	<u>(削る)</u> <u>(旅行雑費)</u>
第36条の2 第3条第2項第4号の規定により支給する旅費は、次に規定する旅費とする。	第21条 <u>旅行雑費は、内国旅行において公務上特に必要な雑費として区規程で定めるものとし、その額は、区規程で定める定額とする。</u> (退職者等の旅費)
<u>加える</u> (1) <u>退職等の日にいた地から退職等を知った日にいた地までの前職務相</u>	第22条 第3条第2項第1号又は第4号の規定により支給する旅費は、 <u>退職等の日の翌日から3月以内における当該退職等に伴う旅行について、次に掲げるものとする。</u> (1) 第3条第2項第1号に規定する場合に該当するときは、次に掲げる旅費 ア 職員が出張のための内国旅行中に退職等となった場合には、出張の

改正前	改正後
<p><u>当の旅費</u></p> <p>(2) <u>退職等を知った日の翌日から3月以内に出発して本邦に帰住した場合に限り、次に規定する旅費</u></p> <p>ア 退職等を知った日の翌日からその出発の前日までの退職等を知った日にいた地の存する地域の区分に応じた前職務相当の旅行雑費及び宿泊料。ただし、旅行雑費については30日分、宿泊料については30夜分を超えることができない。</p> <p>イ 出張の例に準じて計算した退職等を知った日にいた地から旧在勤地までの前職務相当の旅費</p> <p>2 <u>職員が第3条第2項第4号の規定に該当し、かつ、その退職等を知った日にいた地が本邦である場合において同号の規定により支給する旅費は、前項の規定にかかわらず、第27条第1号の規定に準じて計算した旅費とする。</u></p> <p>3 <u>旅行命令権者は、天災その他やむを得ない事情がある場合には、第1項第2号に規定する期間を延長することができる。</u></p>	<p><u>例に準じ、退職等となる前の者として退職等の日にいた地から旧在勤地に旅行するものとして計算した旅費</u></p> <p><u>イ 職員が赴任のための内国旅行中に退職等となった場合には、赴任の例に準じ、退職等となる前の者として退職等の日にいた地から新在勤地に旅行するものとして計算した旅費</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(2) 第3条第2項第4号に規定する場合に該当するときは、出張の例に準じ、退職等となる前の者として退職等の日にいた地から本邦内の地に旅行するものとして計算した旅費</u></p> <p>2 <u>前項の場合において、退職等となった職員が家族を移転するときは、同項に規定する旅費に、転居費のうち家族の転居に要する費用及び家族移転費に相当するものを加えるものとする。</u></p> <p>3 <u>旅行命令権者は、天災その他やむを得ない事情がある場合には、第1項</u> <u>(遺族等の旅費)</u></p> <p><u>第23条 第3条第2項第2号、第3号又は第5号の規定により支給する旅費(死亡手当に係るものを除く。)は、出張又は赴任の例に準じて区規程で定めるものとする。</u></p> <p><u>(旅費の支給額の上限)</u></p> <p><u>第24条 鉄道賃、船賃、航空賃及びその他の交通費(家族移転費のうちこれらに相当する部分を含む。)に係る旅費の支給額は、第9条第1項各号、第10条第1項各号、第11条第1項各号及び第12条第1項各号に掲げる各費</u></p>

改正前	改正後
<p>第4章 雑則 (旅費の調整)</p> <p>第37条 任命権者は、旅行者が<u>公用の交通機関、宿泊施設等</u>を利用して旅行した場合その他<u>当該旅行</u>における特別の事情により、又は<u>当該旅行の性質上</u>この条例の規定による旅費を支給した場合には不当に旅行の実費を超えた旅費又は通常必要としない旅費を支給することとなる場合においては、その実費を超えることとなる部分の旅費又はその必要としない部分の旅費を支給しないことができる。</p> <p>2 省略 (旅費の特例)</p> <p>第38条 任命権者は、職員について労働基準法（昭和22年法律第49号）第15条第3項又は第64条の規定に該当する事由がある場合において、この条例の規定による旅費の支給ができないとき<u>又はこの規定により支給する旅費が同法第15条第3項若しくは第64条</u>_____の規定による旅費又は費用に満たないときは、当該職員に対し、これらの規定による旅費若しくは費用に相当する金額又はその満たない部分に相当する金額を、<u>旅費</u>として支給するものとする。</p> <p>_____ (加える)</p>	<p><u>用について、当該各条及び第6条の規定により計算した額と現に支払った額を比較し、当該各費用ごとのいずれか少ない額を合計した額とする。</u></p> <p>2 <u>宿泊費、包括宿泊費、転居費、着後滞在費(宿泊手当に相当する部分を除く。)、家族移転費(宿泊手当に相当する部分を除く。)</u>及び渡航雑費に係る旅費の支給額は、当該各種類について第6条、第13条、第14条、第16条第1項、第17条、第18条第1項及び第19条の規定により計算した額と現に支払った額を比較し、当該各種類ごとのいずれか少ない額を合計した額とする。</p> <p>_____ (削る) (旅費の調整)</p> <p>第25条 任命権者は、旅行者が<u>区以外の者から旅費の支給を受ける場合その他</u>_____旅行における特別の事情により、又は<u>旅行の性質上</u>この条例の規定による旅費を支給した場合には不当に旅行の実費を超えた旅費又は通常必要としない旅費を支給することとなる場合においては、その実費を超えることとなる部分の旅費又はその必要としない部分の旅費を支給しないことができる。</p> <p>2 現行のとおり (旅費の特例)</p> <p>第26条 任命権者は、職員について労働基準法（昭和22年法律第49号）第15条第3項若しくは第64条又は船員法(昭和22年法律第100号)第47条第1項若しくは第2項の規定に該当する事由がある場合において、この条例の規定による旅費の支給ができないとき、<u>又はこの条例の規定により支給する旅費が労働基準法第15条第3項若しくは第64条又は船員法第48条</u>の規定による旅費又は費用に満たないときは、当該職員に対し、これらの規定による旅費若しくは費用に相当する金額又はその満たない部分に相当する金額を<u>旅費</u>として支給するものとする。</p> <p>2 任命権者は、職員について船員法第47条第2項の規定に該当する事由があった場合において、前項の規定により当該職員に旅費を支給したときは、</p>

改正前	改正後
<p><u>(加える)</u></p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>(加える)</u></p> <p><u>(実施細目)</u></p> <p>第39条 <u>この条例</u>の実施に関し必要な事項は、任命権者が定める。</p> <p>付 則</p> <p>1 この条例は、昭和50年4月1日から施行する。</p> <p>2 この条例の施行前に行われた旅費に関する処分、手続その他の行為は、この条例によつて行われたものとみなす。</p> <p>3 地方公務員法第57条の規定に基づく単純な労務に雇用される者の旅費の種類及び基準については、この条例中旅費の種類及び基準に関する規定を準用する。</p> <p>付 則（平成12年12月22日条例第114号）</p> <p>この条例は、平成13年1月6日から施行する。</p> <p>付 則（平成18年3月24日条例第12号）</p> <p>この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> <p>付 則（平成23年3月16日条例第7号）</p> <p>この条例は、平成23年4月1日から施行する。</p> <p>付 則（平成28年3月25日条例第14号）</p> <p>この条例は、平成28年4月1日から施行する。</p>	<p><u>当該職員に対し、当該支給した旅費の償還を請求するものとする。</u></p> <p><u>(旅費の返納)</u></p> <p>第27条 支出担当者等は、旅行者がこの条例又はこれに基づく命令に違反して旅費の支給を受けた場合には、当該旅費を返納させなければならない。</p> <p>2 旅行者がこの条例又はこれに基づく命令に違反して旅費の支給を受けた場合には、支出担当者等は、前項に規定する返納に代えて、当該支出担当者等がその後においてその者に対し支出し、又は支払う給与又は旅費の額から、当該旅費に相当する金額を差し引くことができる。</p> <p>3 前項に規定する給与の種類は、任命権者が定める。</p> <p><u>(委任)</u></p> <p>第28条 <u>この条例に定めるもののほか、この条例の実施に関し必要な事項は、任命権者が定める。</u></p> <p>付 則</p> <p>1 この条例は、昭和50年4月1日から施行する。</p> <p>2 この条例の施行前に行われた旅費に関する処分、手続その他の行為は、この条例によつて行われたものとみなす。</p> <p>3 地方公務員法第57条の規定に基づく単純な労務に雇用される者の旅費の種類及び基準については、この条例中旅費の種類及び基準に関する規定を準用する。</p> <p>付 則（平成12年12月22日条例第114号）</p> <p>この条例は、平成13年1月6日から施行する。</p> <p>付 則（平成18年3月24日条例第12号）</p> <p>この条例は、平成18年4月1日から施行する。</p> <p>付 則（平成23年3月16日条例第7号）</p> <p>この条例は、平成23年4月1日から施行する。</p> <p>付 則（平成28年3月25日条例第14号）</p> <p>この条例は、平成28年4月1日から施行する。</p>

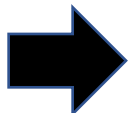
改正前	改正後
<p>付 則（令和２年３月25日条例第29号） この条例は、公布の日から施行する。</p> <p>付 則（令和５年６月28日条例第20号） この条例は、令和５年７月１日から施行する。</p>	<p>付 則（令和２年３月25日条例第29号） この条例は、公布の日から施行する。</p> <p>付 則（令和５年６月28日条例第20号） この条例は、令和５年７月１日から施行する。</p> <p><u>付 則</u> <u>（施行期日）</u></p> <p>1 この条例は、令和８年４月１日（以下「施行日」という。）から施行する。</p> <p><u>（経過措置）</u></p> <p>2 改正後の足立区職員の旅費に関する条例（以下「新条例」という。）の規定は、施行日以後に新条例第２条第３号に規定する旅行命令権者が新条例第４条第１項に規定する旅行命令等を発する旅行について適用し、施行日前に改正前の足立区職員の旅費に関する条例（以下「旧条例」という。）第４条第１項に規定する旅行命令権者が同項に規定する旅行命令等を発した旅行については、なお従前の例による。ただし、施行日前に旧条例第４条第１項に規定する旅行命令権者が同項に規定する旅行命令等を発し、かつ、施行日以後に新条例第２条第３号に規定する旅行命令権者が新条例第４条第３項の規定により当該旅行命令等を変更する旅行については、新条例の規定は、当該旅行のうち当該変更の日以後の期間に対応する分について適用し、当該旅行のうち当該変更の日前の期間に対応する分については、なお従前の例による。</p> <p>3 新条例第３条第６項及び第７項の規定は、これらの項に規定する者が同条第１項、第２項、第４項及び第５項の規定により旅費の支給を受けることができる場合について適用し、旧条例第３条第１項、第２項及び第４項の規定により旅費の支給を受けることができる場合については、なお従前の例による。</p> <p>4 新条例第２７条の規定は、新条例又はこれに基づく命令の規定に違反して旅費の支給を受けた場合について適用する。</p>

改正前					改正後				
別表第1 内国旅行の旅費（第14条、第21条、第22条、第23条、第24条、第25条関係）					(削る)				
(1) 旅行雑費、宿泊料及び食卓料									
区分	旅行雑費（1日につき）		宿泊料（1夜につき）		食卓料（1夜につき）				
支給額	100円		1万1,800円		2,600円				
(2) 移転料									
区分	鉄道50キロメートル未満	鉄道50キロメートル以上100キロメートル未満	鉄道100キロメートル以上300キロメートル未満	鉄道300キロメートル以上500キロメートル未満	鉄道500キロメートル以上1,000キロメートル未満	鉄道1,000キロメートル以上1,500キロメートル未満	鉄道1,500キロメートル以上2,000キロメートル未満	鉄道2,000キロメートル以上	鉄道2,000キロメートル以上
移転料額	12万6,000円	14万4,000円	17万8,000円	22万円	29万2,000円	30万6,000円	32万8,000円	38万1,000円	
備考 路程の計算については、水路及び陸路4分の1キロメートルをもって鉄道1キロメートルとみなす。									
別表第2 外国旅行の旅費（第32条、第35条関係）									
(1) 旅行雑費、宿泊料及び食卓料									
区分	旅行雑費（1日につき）		宿泊料（1夜につき）		食卓料（1夜につき）				
支給額	3,600円	3,100円	2,500円	2,250円	2万2,500円	1万8,800円	1万5,100円	1万3,500円	6,700円

改正前										改正後
					円	円	円	円		
備考										
1 指定都市とは、規則で定める都市の地域をいい、甲地方とは、北米地域、欧州地域及び中近東地域として規則で定める地域のうち指定都市の地域以外の地域で規則で定める地域をいい、丙地方とは、アジア地域（本邦を除く。）、中南米地域、大洋州地域、アフリカ地域及び南極地域として規則で定める地域のうち指定都市の地域以外の地域で規則で定める地域をいい、乙地方とは、指定都市、甲地方及び丙地方の地域以外の地域（本邦を除く。）をいう。										
2 船舶又は航空機による旅行（外国を出発した日及び外国に到着した日を除く。）の場合における旅行雑費の額は、丙地方につき定める定額とする。										
(2) 死亡手当										
区分					死亡手当					
支給額					52万円					

第 1 3 5 号議案説明資料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例																																				
所管部課名	総務部 人事課																																				
内 容	<p>1 概要</p> <p>令和 7 年特別区人事委員会勧告（特別区職員労働組合連合会と妥結）どおり、特定任期付職員の給料表及び特別給（期末手当・勤勉手当）の改定について、2 3 区同様の内容で条例の改正を行う。</p> <p>2 改正内容</p> <p>（1）給料表（第 4 条）の改定</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <caption>【現行】</caption> <thead> <tr> <th>号給</th><th>給料月額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>1</td><td>392,000</td></tr> <tr><td>2</td><td>433,000</td></tr> <tr><td>3</td><td>483,000</td></tr> <tr><td>4</td><td>544,000</td></tr> <tr><td>5</td><td>614,000</td></tr> <tr><td>6</td><td>697,000</td></tr> <tr><td>7</td><td>789,000</td></tr> </tbody> </table>  <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>【改正後】</caption> <thead> <tr> <th>号給</th><th>給料月額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>1</td><td>408,000</td></tr> <tr><td>2</td><td>451,000</td></tr> <tr><td>3</td><td>503,000</td></tr> <tr><td>4</td><td>566,000</td></tr> <tr><td>5</td><td>639,000</td></tr> <tr><td>6</td><td>725,000</td></tr> <tr><td>7</td><td>821,000</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>（2）期末手当・勤勉手当（第 5 条）の改定</p> <p>ア 年間の支給月数を 0. 0 5 月（常勤職員 3. 8 5 月→3. 9 0 月）引上げる。</p> <p>イ 支給月数の引上げ分については、期末手当及び勤勉手当に均等に配分する。</p> <p>3 新旧対照表</p> <p>別紙のとおり</p> <p>4 施行年月日</p> <p>2 の（1）については、令和 7 年 4 月 1 日に遡及して適用する。</p> <p>2 の（2）については、令和 7 年 1 2 月 1 日に遡及して適用する。</p>	号給	給料月額		円	1	392,000	2	433,000	3	483,000	4	544,000	5	614,000	6	697,000	7	789,000	号給	給料月額		円	1	408,000	2	451,000	3	503,000	4	566,000	5	639,000	6	725,000	7	821,000
号給	給料月額																																				
	円																																				
1	392,000																																				
2	433,000																																				
3	483,000																																				
4	544,000																																				
5	614,000																																				
6	697,000																																				
7	789,000																																				
号給	給料月額																																				
	円																																				
1	408,000																																				
2	451,000																																				
3	503,000																																				
4	566,000																																				
5	639,000																																				
6	725,000																																				
7	821,000																																				

＜参考＞

1 一般任期付職員と特定任期付職員の比較

	一般任期付職員	特定任期付職員
根拠法令	任期付法第3条第2項	任期付法第3条第1項
採用することができる場合	専門的知識経験を有する職員の育成に相当の期間を要する場合や専門的な知識経験を活用することが一定期間に限られる場合など	高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者を一定の期間活用することが特に必要とされる場合
任期	5年を超えない範囲内	
採用の方法	任命権者の選考（人事委員会の承認）による	
職務上の段階	管理職層、一般職層	管理職層
給与制度	通常職員と同様の給与制度が適用される。	通常職員とは別の給料表（2の（1））が適用され、一般任期付職員より高い給与水準を設定することが可能。

2 他自治体の採用例

- （1）IT関係（ICT分野の高度な専門的知識、経験を有するなど）
- （2）法務・訴訟関係（弁護士としての実務経験を有するなど）
- （3）危機管理関係（自衛隊での職務経験、災害時等での現場対応の知識経験を有するなど）

※ 足立区では採用実績なし

足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 新旧対照表（案）

改正前	第一条による改正（公布の日施行）
<p>足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例</p> <p>第1条～第4条 省略 （特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例の規定の適用）</p> <p>第5条 特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例（昭和50年足立区条例第13号。以下「給与条例」という。）第4条、第24条の2第1項及び第2項、第27条、第29条第2項、第30条第2項並びに第31条第1項の規定の適用については、<u>同条例第4条中「この条例」とあるのは「この条例及び足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成22年足立区条例第1号。以下「任期付職員採用条例」という。）第4条の規定」と、同条例第24条の2第1項及び第2項中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、同条例第27条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第4条に規定する」と、同条例第29条第2項ただし書中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の107.5</u>」とあるのは「特定任期付職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の100</u>」と、同条例第30条第2項中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員に<u>あつては100分の135</u>」とあるのは「特定任期付職員に<u>あつては100分の92.5</u>」と、同条例第31条第1項中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」とする。</u></p> <p>（給与条例の適用除外）</p> <p>第6条 給与条例第5条、第6条、第9条から第13条まで及び第15条第<u>2</u>の2の規定は、特定任期付職員には適用しない。</p> <p>第7条 省略</p>	<p>足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例</p> <p>第1条～第4条 現行のとおり （特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例の規定の適用）</p> <p>第5条 特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例（昭和50年足立区条例第13号。以下「給与条例」という。）第4条、第24条の2第1項及び第2項、第27条、第29条第2項、第30条第2項並びに第31条第1項の規定の適用については、<u>給与条例第4条中「この条例」とあるのは「この条例及び足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成22年足立区条例第1号。以下「任期付職員採用条例」という。）第4条の規定」と、給与条例第24条の2第1項及び第2項中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、給与条例第27条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第4条に規定する」と、給与条例第29条第2項ただし書中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の110</u>」とあるのは「特定任期付職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の102.5</u>」と、給与条例第30条第2項中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員に<u>あつては100分の137.5</u>」とあるのは「特定任期付職員に<u>あつては100分の95</u>」と、給与条例第31条第1項中「第10条第1項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」とする。</u></p> <p>（給与条例の適用除外）</p> <p>第6条 給与条例第5条、第6条、第9条から第13条まで、<u>第15条及び第32条の2</u>の規定は、特定任期付職員には適用しない。</p> <p>2 現行のとおり</p> <p>第7条 現行のとおり</p>

改正前	第一条による改正（公布の日施行）																																				
別表第1（第4条関係） 特定任期付職員給料表 <table> <tr> <th>号給</th><th>給料月額</th></tr> <tr> <td></td><td>円</td></tr> <tr> <td>1</td><td><u>392,000</u></td></tr> <tr> <td>2</td><td><u>433,000</u></td></tr> <tr> <td>3</td><td><u>483,000</u></td></tr> <tr> <td>4</td><td><u>544,000</u></td></tr> <tr> <td>5</td><td><u>614,000</u></td></tr> <tr> <td>6</td><td><u>697,000</u></td></tr> <tr> <td>7</td><td><u>789,000</u></td></tr> </table>	号給	給料月額		円	1	<u>392,000</u>	2	<u>433,000</u>	3	<u>483,000</u>	4	<u>544,000</u>	5	<u>614,000</u>	6	<u>697,000</u>	7	<u>789,000</u>	別表第1（第4条関係） 特定任期付職員給料表 <table> <tr> <th>号給</th><th>給料月額</th></tr> <tr> <td></td><td>円</td></tr> <tr> <td>1</td><td><u>408,000</u></td></tr> <tr> <td>2</td><td><u>451,000</u></td></tr> <tr> <td>3</td><td><u>503,000</u></td></tr> <tr> <td>4</td><td><u>566,000</u></td></tr> <tr> <td>5</td><td><u>639,000</u></td></tr> <tr> <td>6</td><td><u>725,000</u></td></tr> <tr> <td>7</td><td><u>821,000</u></td></tr> </table>	号給	給料月額		円	1	<u>408,000</u>	2	<u>451,000</u>	3	<u>503,000</u>	4	<u>566,000</u>	5	<u>639,000</u>	6	<u>725,000</u>	7	<u>821,000</u>
号給	給料月額																																				
	円																																				
1	<u>392,000</u>																																				
2	<u>433,000</u>																																				
3	<u>483,000</u>																																				
4	<u>544,000</u>																																				
5	<u>614,000</u>																																				
6	<u>697,000</u>																																				
7	<u>789,000</u>																																				
号給	給料月額																																				
	円																																				
1	<u>408,000</u>																																				
2	<u>451,000</u>																																				
3	<u>503,000</u>																																				
4	<u>566,000</u>																																				
5	<u>639,000</u>																																				
6	<u>725,000</u>																																				
7	<u>821,000</u>																																				

第一条による改正後の条例案	第二条による改正案（令和８年４月１日施行）
<p>（特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例の規定の適用）</p> <p>第５条 特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例（昭和５０年足立区条例第１３号。以下「給与条例」という。）第４条、第２４条の２第１項及び第２項、第２７条、第２９条第２項、第３０条第２項並びに第３１条第１項の規定の適用については、給与条例第４条中「この条例」とあるのは「この条例及び足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成２２年足立区条例第１号。以下「任期付職員採用条例」という。）第４条の規定」と、給与条例第２４条の２第１項及び第２項中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、給与条例第２７条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第４条に規定する」と、給与条例第２９条第２項ただし書中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>１００分の１１０</u>」とあるのは「特定任期付職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>１００分の１０２．５</u>」と、給与条例第３０条第２項中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員にあっては<u>１００分の１３７．５</u>」とあるのは「特定任期付職員にあっては<u>１００分の９５</u>」と、給与条例第３１条第１項中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」とする。</p>	<p>（特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例の規定の適用）</p> <p>第５条 特定任期付職員に対する足立区職員の給与に関する条例（昭和５０年足立区条例第１３号。以下「給与条例」という。）第４条、第２４条の２第１項及び第２項、第２７条、第２９条第２項、第３０条第２項並びに第３１条第１項の規定の適用については、給与条例第４条中「この条例」とあるのは「この条例及び足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成２２年足立区条例第１号。以下「任期付職員採用条例」という。）第４条の規定」と、給与条例第２４条の２第１項及び第２項中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第４条に規定する」と、給与条例第２９条第２項ただし書中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>１００分の１０８．７５</u>」とあるのは「特定任期付職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>１００分の１０１．２５</u>」と、給与条例第３０条第２項中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員にあっては<u>１００分の１３６．２５</u>」とあるのは「特定任期付職員にあっては<u>１００分の９３．７５</u>」と、給与条例第３１条第１項中「第１０条第１項の規定に基づき指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」とする。</p> <p style="text-align: center;">付 則</p> <p style="text-align: center;">（施行期日等）</p> <p><u>１ この条例は、公布の日から施行する。ただし、第２条の規定は、令和８年４月１日から施行する。</u></p> <p><u>２ 第１条の規定（別表第１の改正規定に限る。）による改正後の足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（以下「改正後の条例」という。）の規定は、令和７年４月１日から適用する。</u></p> <p><u>３ 第１条の規定（第５条の改正規定に限る。）による改正後の足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の規定は、令和７年１２月１日から適用する。</u></p> <p style="text-align: center;">（給与の内払）</p> <p><u>４ 改正後の条例の規定を適用する場合においては、第１条の規定（第５条</u></p>

第一条による改正後の条例案	第二条による改正案（令和８年４月１日施行）
	<p><u>の改正規定を除く。）による改正前の足立区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の規定に基づいて支給された給与は、改正後の条例の規定による給与の内払とみなす。</u></p> <p><u>（委任）</u></p> <p><u>５ 前項に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、特別区人事委員会が定める。</u></p>

第 1 3 6 号議案説明資料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例												
所管部課名	総務部 人事課												
内 容	<p>1 概要</p> <p>令和 7 年特別区人事委員会勧告（特別区職員労働組合連合会と妥結）どおり、職員の給与改定について、2 3 区同様の内容で条例の改正を行う。</p> <p>本年も職員給与が民間給与を下回っており、公民較差（3. 8 0 %、1 4, 8 6 0 円）を解消するため、初任給、若年層に重点を置きつつ、全ての級及び号給の月例給の引上げ改定を行う。</p> <p>特別給（期末手当・勤勉手当）についても、年間支給月数が民間の特別給（賞与）の支給割合を 0. 0 7 月下回っているため、引上げ改定を行う。</p> <p>※ 職員の平均年間給与は約 276, 000 円の増</p> <p>また、令和 6 年人事院勧告に伴う、通勤手当の上限改定を行う。</p> <p>2 改正内容</p> <p>（1）給料表（第 5 条）の改定</p> <p>ア 全ての級及び号給で引上げる。</p> <p>イ 初任給を引上げる。</p> <p>【例】行政職給料表（一）の初任給</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">地域手当を含む</th></tr> <tr> <th>給与月額</th><th>給料月額（改定額）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 類（大卒相当）</td><td>278, 400 円</td><td>232, 000 円（+12, 000 円）</td></tr> <tr> <td>Ⅲ類（高卒相当）</td><td>240, 360 円</td><td>200, 300 円（+18, 300 円）</td></tr> </tbody> </table> <p>（2）期末手当・勤勉手当（第 2 9 条・第 3 0 条）の改定 別紙 1 のとおり</p> <p>ア 年間の支給月数を 0. 0 5 月（常勤職員 4. 8 5 月→4. 9 0 月）、（再任用職員 2. 5 5 月→2. 6 0 月）引上げる。</p> <p>イ 支給月数の引上げ分については、期末手当及び勤勉手当に均等に配分する。</p> <p>（3）通勤手当（第 1 6 条）の改定</p> <p>ア 通勤手当の上限を改定する（現行月額 55, 000 円→150, 000 円）。</p> <p>3 新旧対照表</p> <p>別紙 2 のとおり</p>			地域手当を含む		給与月額	給料月額（改定額）	I 類（大卒相当）	278, 400 円	232, 000 円（+12, 000 円）	Ⅲ類（高卒相当）	240, 360 円	200, 300 円（+18, 300 円）
	地域手当を含む												
	給与月額	給料月額（改定額）											
I 類（大卒相当）	278, 400 円	232, 000 円（+12, 000 円）											
Ⅲ類（高卒相当）	240, 360 円	200, 300 円（+18, 300 円）											

	<p>4 施行年月日</p>
--	-----------------------

2の(1)のアとイについては、令和7年4月1日に遡及して適用する。

2の(2)については、令和7年12月1日に遡及して適用する。

2の(3)については、令和8年4月1日に適用する。

令和7年度及び令和8年度以降の期末手当・勤勉手当の支給月数について

現行の期末手当及び勤勉手当

(単位:月)

区分		6月	12月	小計	年間	
暫定再任用・定年前再任用短時間職員 以外の職員	一般職員（会計）	期末	1.25	1.25	2.50	4.85
		勤勉	1.175	1.175	2.35	
	管理職員	期末	1.075	1.075	2.15	4.85
		勤勉	1.35	1.35	2.70	
		2.425	2.425			

(単位:月)

区分			6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員	一般職員	期末	0.70	0.70	1.40	2.55
		勤勉	0.575	0.575	1.15	
	管理職員	期末	0.6125	0.6125	1.225	2.55
		勤勉	0.6625	0.6625	1.325	
			1.275	1.275		

令和7年度の期末手当及び勤勉手当
【第1条による改正後(公布の日から施行)】

(単位:月)

区分		6月	12月	小計	年間	
暫定再任用・定年前再任用短時間職員 以外の職員	一般職員(会計)	期末	1.25	<u>1.275</u>	2.525	<u>4.90</u>
				<u>+0.025</u>		
	勤勉	1.175	<u>1.20</u>	2.375		
			<u>+0.025</u>			
	管理職員	期末	1.075	<u>1.10</u>	2.175	<u>4.90</u>
				<u>+0.025</u>		
勤勉	1.35	<u>1.375</u>	2.725			
		<u>+0.025</u>				
		2.425	2.475			

(単位:月)

区分			6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員	一般職員	期末	0.70	<u>0.725</u> +0.025	1.425	<u>2.60</u>
		勤勉	0.575	<u>0.60</u> +0.025	1.175	
	管理職員	期末	0.6125	<u>0.6375</u> +0.025	1.25	<u>2.60</u>
		勤勉	0.6625	<u>0.6875</u> +0.025	1.35	
				1.275	1.325	

令和8年度以降の期末手当及び勤勉手当
【第2条による改正後(令和8年4月1日施行)】

(単位:月)

区分		6月	12月	小計	年間	
暫定再任用・定年前再任用短時間職員 以外の職員	一般職員（会計）	期末	<u>1.2625</u>	<u>1.2625</u>	2.525	
		勤勉	<u>1.1875</u>	<u>1.1875</u>	2.375	
	管理職員	期末	<u>1.0875</u>	<u>1.0875</u>	2.175	
		勤勉	<u>1.3625</u>	<u>1.3625</u>	2.725	
				2.45	2.45	

(単位:月)

区分			6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員	一般職員	期末	<u>0.7125</u>	<u>0.7125</u>	1.425	<u>2.60</u>
		勤勉	<u>0.5875</u>	<u>0.5875</u>	1.175	
	管理職員	期末	<u>0.625</u>	<u>0.625</u>	1.25	<u>2.60</u>
		勤勉	<u>0.675</u>	<u>0.675</u>	1.35	
			1.30	1.30		

※ 会計年度任用職員については、「暫定再任用・定年前再任用短時間職員以外の職員」の「一般職員」と同様。

足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正前	第1条による改正案（公布の日施行）
<p>○足立区職員の給与に関する条例</p> <p>昭和50年3月31日条例第13号</p> <p>第1条～第10条 省略 （初任給調整手当）</p> <p>第11条 次の各号に掲げる職に新たに採用された職員には、当該各号に掲げる額を超えない範囲内の額を、第1号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は採用の日から40年以内、第2号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は採用の日から5年以内、第3号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は採用の日から3年以内の期間、採用の日（第1号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は、採用後特別区人事委員会規則（以下「人事委員会規則」という。）で定める期間を経過した日）から1年を経過するごとにその額を減じて、初任給調整手当として支給する。</p> <p>（1）医療職給料表（一）の適用を受ける職員のうち、採用による欠員の補充が困難であると認められる職で人事委員会が定めるもの 月額 <u>31万5,200円</u></p> <p>（2）～（3） 省略</p> <p>2～3 省略</p> <p>第12条～第28条 省略 （期末手当）</p> <p>第29条 省略</p> <p>2 期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の125</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。ただし、第10条第1項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の107.5</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の70</u>」と、「<u>100分の107.5</u>」とある</p>	<p>○足立区職員の給与に関する条例</p> <p>昭和50年3月31日条例第13号</p> <p>第1条～第10条 現行のとおり （初任給調整手当）</p> <p>第11条 次の各号に掲げる職に新たに採用された職員には、当該各号に掲げる額を超えない範囲内の額を、第1号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は採用の日から40年以内、第2号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は採用の日から5年以内、第3号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は採用の日から3年以内の期間、採用の日（第1号に掲げる職に係るものに<u>あつて</u>は、採用後特別区人事委員会規則（以下「人事委員会規則」という。）で定める期間を経過した日）から1年を経過するごとにその額を減じて、初任給調整手当として支給する。</p> <p>（1）医療職給料表（一）の適用を受ける職員のうち、採用による欠員の補充が困難であると認められる職で人事委員会が定めるもの 月額 <u>32万6,900円</u></p> <p>（2）～（3） 現行のとおり</p> <p>2～3 現行のとおり</p> <p>第12条～第28条 現行のとおり （期末手当）</p> <p>第29条 現行のとおり</p> <p>2 期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の127.5</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。ただし、第10条第1項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の110</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは「<u>100分の72.5</u>」と、「<u>100分の110</u>」とあ</p>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
<p>のは「<u>100分の61.25</u>」とする。</p> <p>4～5 省略</p> <p>第29条の 2～第29条の 3 省略</p> <p>（勤勉手当）</p> <p>第30条 省略</p> <p>2 勤勉手当の額は、職員の勤勉手当基礎額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の総額は、前項の職員の給与月額に<u>100分の117.5</u>（第10条第 1 項の規定に基づき指定する職員に<u>あつては100分の135</u>）を乗じて得た額の総額を超えてはならない。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の117.5</u>」とあるのは「<u>100分の57.5</u>」と、「<u>100分の135</u>」とあるのは「<u>100分の66.25</u>」とする。</p> <p>4～6 省略</p> <p>第31条～第34条 省略</p> <p>別表第 1（第 5 条関係）</p> <p>ア 行政職給料表（一）</p>								<p>るのは「<u>100分の63.75</u>」とする。</p> <p>4～5 現行のとおり</p> <p>第29条の 2～第29条の 3 現行のとおり</p> <p>（勤勉手当）</p> <p>第30条 現行のとおり</p> <p>2 勤勉手当の額は、職員の勤勉手当基礎額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の総額は、前項の職員の給与月額に<u>100分の120</u>（第10条第 1 項の規定に基づき指定する職員に<u>あつては100分の137.5</u>）を乗じて得た額の総額を超えてはならない。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の120</u>」とあるのは「<u>100分の60</u>」と、「<u>100分の137.5</u>」とあるのは「<u>100分の68.75</u>」とする。</p> <p>4～6 現行のとおり</p> <p>第31条～第34条 現行のとおり</p> <p>別表第 1（第 5 条関係）</p> <p>ア 行政職給料表（一）</p>							
職員 の区 分	職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	職員 の区 分	職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
	号給	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額		号給	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
定年 前再 任用 短時 間勤 務職 員以 外の		円	円	円	円	円	円	定年 前再 任用 短時 間勤 務職 員以 外の		円	円	円	円	円	円
	1	<u>177,400</u>	<u>231,500</u>	<u>254,100</u>	<u>276,700</u>	<u>303,500</u>	<u>379,400</u>		1	<u>196,600</u>	<u>245,300</u>	<u>268,800</u>	<u>292,300</u>	<u>320,000</u>	<u>396,500</u>
	2	<u>178,500</u>	<u>232,400</u>	<u>255,500</u>	<u>278,600</u>	<u>305,700</u>	<u>382,000</u>		2	<u>197,500</u>	<u>246,200</u>	<u>270,200</u>	<u>294,200</u>	<u>322,200</u>	<u>399,100</u>
	3	<u>179,600</u>	<u>233,300</u>	<u>256,900</u>	<u>280,500</u>	<u>307,900</u>	<u>384,600</u>		3	<u>198,400</u>	<u>247,100</u>	<u>271,600</u>	<u>296,100</u>	<u>324,400</u>	<u>401,700</u>
	4	<u>180,800</u>	<u>234,300</u>	<u>258,300</u>	<u>282,400</u>	<u>310,100</u>	<u>387,200</u>		4	<u>199,300</u>	<u>248,100</u>	<u>273,000</u>	<u>298,000</u>	<u>326,600</u>	<u>404,300</u>
	5	<u>182,000</u>	<u>235,300</u>	<u>259,800</u>	<u>284,400</u>	<u>312,400</u>	<u>389,900</u>		5	<u>200,300</u>	<u>249,100</u>	<u>274,500</u>	<u>300,000</u>	<u>328,900</u>	<u>407,000</u>
	6	<u>183,200</u>	<u>236,400</u>	<u>261,400</u>	<u>286,300</u>	<u>314,600</u>	<u>392,600</u>		6	<u>201,300</u>	<u>250,200</u>	<u>276,100</u>	<u>301,900</u>	<u>331,100</u>	<u>409,700</u>
	7	<u>184,400</u>	<u>237,500</u>	<u>263,000</u>	<u>288,200</u>	<u>316,900</u>	<u>395,300</u>		7	<u>202,200</u>	<u>251,300</u>	<u>277,700</u>	<u>303,800</u>	<u>333,400</u>	<u>412,400</u>

改正前								第1条による改正案（公布の日施行）							
職員	8	<u>185,600</u>	<u>238,600</u>	<u>264,600</u>	<u>290,200</u>	<u>319,200</u>	<u>398,100</u>	職員	8	<u>203,100</u>	<u>252,400</u>	<u>279,300</u>	<u>305,800</u>	<u>335,700</u>	<u>415,200</u>
	9	<u>186,800</u>	<u>239,800</u>	<u>266,300</u>	<u>292,200</u>	<u>321,500</u>	<u>400,900</u>		9	<u>204,000</u>	<u>253,600</u>	<u>281,000</u>	<u>307,800</u>	<u>338,000</u>	<u>418,000</u>
	10	<u>188,000</u>	<u>241,000</u>	<u>268,000</u>	<u>294,100</u>	<u>323,900</u>	<u>403,700</u>		10	<u>205,000</u>	<u>254,800</u>	<u>282,700</u>	<u>309,700</u>	<u>340,400</u>	<u>420,800</u>
	11	<u>189,400</u>	<u>242,200</u>	<u>269,800</u>	<u>296,100</u>	<u>326,200</u>	<u>406,500</u>		11	<u>206,100</u>	<u>256,000</u>	<u>284,500</u>	<u>311,700</u>	<u>342,700</u>	<u>423,600</u>
	12	<u>190,700</u>	<u>243,400</u>	<u>271,600</u>	<u>298,100</u>	<u>328,600</u>	<u>409,300</u>		12	<u>207,100</u>	<u>257,200</u>	<u>286,300</u>	<u>313,700</u>	<u>345,100</u>	<u>426,400</u>
	13	<u>192,000</u>	<u>244,600</u>	<u>273,400</u>	<u>300,100</u>	<u>330,900</u>	<u>412,100</u>		13	<u>208,100</u>	<u>258,400</u>	<u>288,100</u>	<u>315,700</u>	<u>347,400</u>	<u>429,200</u>
	14	<u>193,500</u>	<u>245,900</u>	<u>275,200</u>	<u>302,100</u>	<u>333,300</u>	<u>414,900</u>		14	<u>209,300</u>	<u>259,700</u>	<u>289,900</u>	<u>317,700</u>	<u>349,800</u>	<u>432,000</u>
	15	<u>195,000</u>	<u>247,200</u>	<u>277,000</u>	<u>304,100</u>	<u>335,600</u>	<u>417,700</u>		15	<u>210,500</u>	<u>261,000</u>	<u>291,700</u>	<u>319,700</u>	<u>352,100</u>	<u>434,800</u>
	16	<u>196,500</u>	<u>248,500</u>	<u>278,900</u>	<u>306,100</u>	<u>338,000</u>	<u>420,500</u>		16	<u>211,700</u>	<u>262,300</u>	<u>293,600</u>	<u>321,700</u>	<u>354,500</u>	<u>437,600</u>
	17	<u>198,000</u>	<u>249,900</u>	<u>280,800</u>	<u>308,000</u>	<u>340,300</u>	<u>423,400</u>		17	<u>213,000</u>	<u>263,700</u>	<u>295,500</u>	<u>323,600</u>	<u>356,800</u>	<u>440,500</u>
	18	<u>199,700</u>	<u>251,300</u>	<u>282,600</u>	<u>309,900</u>	<u>342,700</u>	<u>426,300</u>		18	<u>214,400</u>	<u>265,100</u>	<u>297,300</u>	<u>325,500</u>	<u>359,200</u>	<u>443,400</u>
	19	<u>201,600</u>	<u>252,700</u>	<u>284,500</u>	<u>311,900</u>	<u>345,100</u>	<u>429,200</u>		19	<u>216,000</u>	<u>266,500</u>	<u>299,200</u>	<u>327,500</u>	<u>361,600</u>	<u>446,300</u>
	20	<u>203,400</u>	<u>254,100</u>	<u>286,400</u>	<u>313,900</u>	<u>347,400</u>	<u>432,100</u>		20	<u>217,600</u>	<u>267,900</u>	<u>301,100</u>	<u>329,500</u>	<u>363,900</u>	<u>449,200</u>
	21	<u>205,200</u>	<u>255,600</u>	<u>288,300</u>	<u>315,900</u>	<u>349,700</u>	<u>435,000</u>		21	<u>219,200</u>	<u>269,400</u>	<u>303,000</u>	<u>331,500</u>	<u>366,200</u>	<u>452,100</u>
	22	<u>207,000</u>	<u>257,100</u>	<u>290,100</u>	<u>317,900</u>	<u>352,200</u>	<u>438,000</u>		22	<u>220,800</u>	<u>270,900</u>	<u>304,800</u>	<u>333,500</u>	<u>368,700</u>	<u>455,100</u>
	23	<u>208,900</u>	<u>258,600</u>	<u>292,000</u>	<u>319,800</u>	<u>354,600</u>	<u>441,100</u>		23	<u>222,400</u>	<u>272,400</u>	<u>306,700</u>	<u>335,400</u>	<u>371,100</u>	<u>458,200</u>
	24	<u>210,800</u>	<u>260,100</u>	<u>293,900</u>	<u>321,800</u>	<u>357,000</u>	<u>444,100</u>		24	<u>224,000</u>	<u>273,900</u>	<u>308,600</u>	<u>337,400</u>	<u>373,500</u>	<u>461,200</u>
	25	<u>212,600</u>	<u>261,600</u>	<u>295,800</u>	<u>323,800</u>	<u>359,300</u>	<u>447,100</u>		25	<u>225,600</u>	<u>275,400</u>	<u>310,500</u>	<u>339,400</u>	<u>375,800</u>	<u>464,200</u>
	26	<u>214,500</u>	<u>263,100</u>	<u>298,100</u>	<u>326,200</u>	<u>361,700</u>	<u>449,900</u>		26	<u>227,300</u>	<u>276,900</u>	<u>312,800</u>	<u>341,800</u>	<u>378,200</u>	<u>466,900</u>
	27	<u>216,500</u>	<u>264,600</u>	<u>300,500</u>	<u>328,700</u>	<u>364,100</u>	<u>452,700</u>		27	<u>229,000</u>	<u>278,400</u>	<u>315,200</u>	<u>344,300</u>	<u>380,600</u>	<u>469,700</u>
	28	<u>218,300</u>	<u>266,100</u>	<u>302,900</u>	<u>331,200</u>	<u>366,500</u>	<u>455,400</u>		28	<u>230,700</u>	<u>279,900</u>	<u>317,600</u>	<u>346,800</u>	<u>383,000</u>	<u>472,400</u>
	29	<u>220,000</u>	<u>267,700</u>	<u>305,300</u>	<u>333,700</u>	<u>369,100</u>	<u>458,000</u>		29	<u>232,000</u>	<u>281,500</u>	<u>320,000</u>	<u>349,300</u>	<u>385,600</u>	<u>475,000</u>
	30	<u>220,900</u>	<u>269,800</u>	<u>307,200</u>	<u>335,900</u>	<u>371,900</u>	<u>460,600</u>		30	<u>232,900</u>	<u>283,600</u>	<u>321,900</u>	<u>351,400</u>	<u>388,400</u>	<u>477,600</u>
	31	<u>221,600</u>	<u>271,900</u>	<u>309,000</u>	<u>338,000</u>	<u>374,700</u>	<u>463,100</u>		31	<u>233,600</u>	<u>285,700</u>	<u>323,700</u>	<u>353,500</u>	<u>391,200</u>	<u>480,100</u>
	32	<u>222,300</u>	<u>274,000</u>	<u>310,800</u>	<u>340,100</u>	<u>377,500</u>	<u>465,500</u>		32	<u>234,300</u>	<u>287,800</u>	<u>325,500</u>	<u>355,500</u>	<u>394,000</u>	<u>482,500</u>
	33	<u>223,000</u>	<u>276,200</u>	<u>312,600</u>	<u>342,200</u>	<u>380,300</u>	<u>467,700</u>		33	<u>235,000</u>	<u>290,000</u>	<u>327,300</u>	<u>357,500</u>	<u>396,800</u>	<u>484,700</u>
	34	<u>223,800</u>	<u>277,600</u>	<u>314,400</u>	<u>344,200</u>	<u>382,800</u>	<u>469,800</u>		34	<u>235,800</u>	<u>291,400</u>	<u>329,100</u>	<u>359,500</u>	<u>399,300</u>	<u>486,800</u>

改正前								第1条による改正案（公布の日施行）							
35	<u>224,600</u>	<u>279,000</u>	<u>316,200</u>	<u>346,200</u>	<u>385,100</u>	<u>471,800</u>		35	<u>236,600</u>	<u>292,800</u>	<u>330,800</u>	<u>361,500</u>	<u>401,500</u>	<u>488,800</u>	
36	<u>225,500</u>	<u>280,400</u>	<u>318,000</u>	<u>348,300</u>	<u>387,400</u>	<u>473,900</u>		36	<u>237,500</u>	<u>294,200</u>	<u>332,500</u>	<u>363,500</u>	<u>403,800</u>	<u>490,900</u>	
37	<u>226,400</u>	<u>281,900</u>	<u>319,800</u>	<u>350,400</u>	<u>389,800</u>	<u>475,800</u>		37	<u>238,400</u>	<u>295,700</u>	<u>334,200</u>	<u>365,500</u>	<u>406,100</u>	<u>492,800</u>	
38	<u>227,300</u>	<u>283,300</u>	<u>321,600</u>	<u>352,500</u>	<u>392,200</u>	<u>477,600</u>		38	<u>239,300</u>	<u>297,100</u>	<u>336,000</u>	<u>367,500</u>	<u>408,400</u>	<u>494,500</u>	
39	<u>228,300</u>	<u>284,700</u>	<u>323,400</u>	<u>354,600</u>	<u>394,500</u>	<u>479,200</u>		39	<u>240,300</u>	<u>298,500</u>	<u>337,700</u>	<u>369,500</u>	<u>410,700</u>	<u>496,100</u>	
40	<u>229,200</u>	<u>286,100</u>	<u>325,200</u>	<u>356,600</u>	<u>396,700</u>	<u>480,800</u>		40	<u>241,200</u>	<u>299,900</u>	<u>339,400</u>	<u>371,400</u>	<u>412,900</u>	<u>497,700</u>	
41	<u>230,300</u>	<u>287,400</u>	<u>327,000</u>	<u>358,600</u>	<u>398,900</u>	<u>482,300</u>		41	<u>242,300</u>	<u>301,200</u>	<u>341,100</u>	<u>373,300</u>	<u>415,000</u>	<u>499,200</u>	
42	<u>231,400</u>	<u>288,700</u>	<u>328,800</u>	<u>360,600</u>	<u>401,200</u>	<u>483,800</u>		42	<u>243,400</u>	<u>302,500</u>	<u>342,800</u>	<u>375,200</u>	<u>417,300</u>	<u>500,700</u>	
43	<u>232,600</u>	<u>290,100</u>	<u>330,600</u>	<u>362,600</u>	<u>403,400</u>	<u>485,200</u>		43	<u>244,600</u>	<u>303,800</u>	<u>344,500</u>	<u>377,100</u>	<u>419,400</u>	<u>502,100</u>	
44	<u>233,800</u>	<u>291,500</u>	<u>332,400</u>	<u>364,500</u>	<u>405,600</u>	<u>486,600</u>		44	<u>245,800</u>	<u>305,100</u>	<u>346,200</u>	<u>378,900</u>	<u>421,500</u>	<u>503,500</u>	
45	<u>235,100</u>	<u>292,800</u>	<u>334,100</u>	<u>366,400</u>	<u>407,700</u>	<u>487,900</u>		45	<u>247,100</u>	<u>306,400</u>	<u>347,800</u>	<u>380,700</u>	<u>423,600</u>	<u>504,800</u>	
46	<u>236,200</u>	<u>294,100</u>	<u>335,800</u>	<u>368,200</u>	<u>409,700</u>	<u>489,300</u>		46	<u>248,200</u>	<u>307,600</u>	<u>349,400</u>	<u>382,500</u>	<u>425,500</u>	<u>506,200</u>	
47	<u>237,300</u>	<u>295,500</u>	<u>337,500</u>	<u>370,100</u>	<u>411,700</u>	<u>490,500</u>		47	<u>249,300</u>	<u>308,900</u>	<u>351,000</u>	<u>384,300</u>	<u>427,400</u>	<u>507,400</u>	
48	<u>238,500</u>	<u>296,800</u>	<u>339,300</u>	<u>372,000</u>	<u>413,600</u>	<u>491,700</u>		48	<u>250,500</u>	<u>310,100</u>	<u>352,700</u>	<u>386,100</u>	<u>429,200</u>	<u>508,600</u>	
49	<u>239,800</u>	<u>298,200</u>	<u>341,100</u>	<u>373,900</u>	<u>415,500</u>	<u>492,800</u>		49	<u>251,800</u>	<u>311,400</u>	<u>354,400</u>	<u>387,900</u>	<u>431,000</u>	<u>509,700</u>	
50	<u>240,900</u>	<u>299,600</u>	<u>342,800</u>	<u>375,700</u>	<u>417,200</u>	<u>494,000</u>		50	<u>252,900</u>	<u>312,700</u>	<u>356,000</u>	<u>389,700</u>	<u>432,600</u>	<u>510,900</u>	
51	<u>242,000</u>	<u>300,900</u>	<u>344,500</u>	<u>377,600</u>	<u>418,800</u>	<u>495,000</u>		51	<u>254,000</u>	<u>313,900</u>	<u>357,600</u>	<u>391,600</u>	<u>434,100</u>	<u>511,900</u>	
52	<u>243,200</u>	<u>302,200</u>	<u>346,200</u>	<u>379,300</u>	<u>420,200</u>	<u>496,000</u>		52	<u>255,200</u>	<u>315,100</u>	<u>359,200</u>	<u>393,300</u>	<u>435,400</u>	<u>512,900</u>	
53	<u>244,400</u>	<u>303,500</u>	<u>348,000</u>	<u>381,000</u>	<u>421,600</u>	<u>497,000</u>		53	<u>256,400</u>	<u>316,300</u>	<u>360,900</u>	<u>395,000</u>	<u>436,700</u>	<u>513,900</u>	
54	<u>245,500</u>	<u>304,800</u>	<u>349,700</u>	<u>382,700</u>	<u>423,000</u>	<u>497,900</u>		54	<u>257,500</u>	<u>317,500</u>	<u>362,500</u>	<u>396,700</u>	<u>438,100</u>	<u>514,800</u>	
55	<u>246,600</u>	<u>306,100</u>	<u>351,400</u>	<u>384,400</u>	<u>424,300</u>	<u>498,800</u>		55	<u>258,600</u>	<u>318,700</u>	<u>364,200</u>	<u>398,400</u>	<u>439,300</u>	<u>515,700</u>	
56	<u>247,800</u>	<u>307,400</u>	<u>353,000</u>	<u>385,900</u>	<u>425,400</u>	<u>499,700</u>		56	<u>259,800</u>	<u>319,900</u>	<u>365,800</u>	<u>399,900</u>	<u>440,300</u>	<u>516,600</u>	
57	<u>249,000</u>	<u>308,700</u>	<u>354,600</u>	<u>387,400</u>	<u>426,500</u>	<u>500,500</u>		57	<u>261,000</u>	<u>321,100</u>	<u>367,300</u>	<u>401,400</u>	<u>441,400</u>	<u>517,400</u>	
58	<u>250,100</u>	<u>310,000</u>	<u>356,200</u>	<u>388,900</u>	<u>427,600</u>	<u>501,300</u>		58	<u>262,100</u>	<u>322,300</u>	<u>368,900</u>	<u>402,900</u>	<u>442,500</u>	<u>518,200</u>	
59	<u>251,200</u>	<u>311,200</u>	<u>357,800</u>	<u>390,400</u>	<u>428,700</u>	<u>502,100</u>		59	<u>263,200</u>	<u>323,400</u>	<u>370,400</u>	<u>404,400</u>	<u>443,500</u>	<u>519,000</u>	
60	<u>252,400</u>	<u>312,500</u>	<u>359,400</u>	<u>391,900</u>	<u>429,600</u>	<u>502,800</u>		60	<u>264,300</u>	<u>324,600</u>	<u>371,900</u>	<u>405,900</u>	<u>444,400</u>	<u>519,700</u>	
61	<u>253,600</u>	<u>313,800</u>	<u>361,000</u>	<u>393,300</u>	<u>430,500</u>	<u>503,500</u>		61	<u>265,400</u>	<u>325,800</u>	<u>373,500</u>	<u>407,300</u>	<u>445,200</u>	<u>520,400</u>	

改正前								第1条による改正案（公布の日施行）							
62	<u>254,700</u>	<u>315,100</u>	<u>362,600</u>	<u>394,600</u>	<u>431,400</u>	<u>504,200</u>		62	<u>266,500</u>	<u>327,000</u>	<u>375,100</u>	<u>408,600</u>	<u>446,000</u>	<u>521,100</u>	
63	<u>255,900</u>	<u>316,400</u>	<u>364,100</u>	<u>395,900</u>	<u>432,200</u>	<u>504,800</u>		63	<u>267,600</u>	<u>328,200</u>	<u>376,600</u>	<u>409,900</u>	<u>446,800</u>	<u>521,700</u>	
64	<u>257,100</u>	<u>317,700</u>	<u>365,600</u>	<u>397,100</u>	<u>433,000</u>	<u>505,400</u>		64	<u>268,700</u>	<u>329,400</u>	<u>378,100</u>	<u>411,100</u>	<u>447,600</u>	<u>522,300</u>	
65	<u>258,200</u>	<u>318,900</u>	<u>367,100</u>	<u>398,200</u>	<u>433,800</u>	<u>506,000</u>		65	<u>269,800</u>	<u>330,500</u>	<u>379,600</u>	<u>412,200</u>	<u>448,300</u>	<u>522,900</u>	
66	<u>259,300</u>	<u>320,200</u>	<u>368,600</u>	<u>399,200</u>	<u>434,500</u>	<u>506,600</u>		66	<u>270,900</u>	<u>331,700</u>	<u>381,100</u>	<u>413,200</u>	<u>449,000</u>	<u>523,500</u>	
67	<u>260,500</u>	<u>321,500</u>	<u>370,100</u>	<u>400,200</u>	<u>435,300</u>	<u>507,100</u>		67	<u>272,000</u>	<u>332,900</u>	<u>382,600</u>	<u>414,200</u>	<u>449,800</u>	<u>524,000</u>	
68	<u>261,600</u>	<u>322,800</u>	<u>371,500</u>	<u>401,200</u>	<u>436,000</u>	<u>507,600</u>		68	<u>273,100</u>	<u>334,100</u>	<u>384,000</u>	<u>415,200</u>	<u>450,500</u>	<u>524,500</u>	
69	<u>262,800</u>	<u>324,000</u>	<u>372,900</u>	<u>402,200</u>	<u>436,600</u>	<u>508,100</u>		69	<u>274,200</u>	<u>335,200</u>	<u>385,400</u>	<u>416,200</u>	<u>451,100</u>	<u>525,000</u>	
70	<u>263,900</u>	<u>325,300</u>	<u>374,200</u>	<u>403,000</u>	<u>437,300</u>	<u>508,600</u>		70	<u>275,300</u>	<u>336,400</u>	<u>386,700</u>	<u>417,000</u>	<u>451,800</u>	<u>525,500</u>	
71	<u>265,100</u>	<u>326,600</u>	<u>375,500</u>	<u>403,900</u>	<u>437,900</u>	<u>509,100</u>		71	<u>276,400</u>	<u>337,600</u>	<u>388,000</u>	<u>417,900</u>	<u>452,400</u>	<u>526,000</u>	
72	<u>266,200</u>	<u>327,800</u>	<u>376,700</u>	<u>404,700</u>	<u>438,500</u>	<u>509,600</u>		72	<u>277,500</u>	<u>338,700</u>	<u>389,200</u>	<u>418,700</u>	<u>453,000</u>	<u>526,500</u>	
73	<u>267,400</u>	<u>329,100</u>	<u>377,800</u>	<u>405,500</u>	<u>439,000</u>	<u>510,100</u>		73	<u>278,600</u>	<u>339,900</u>	<u>390,300</u>	<u>419,500</u>	<u>453,500</u>	<u>527,000</u>	
74	<u>268,500</u>	<u>330,300</u>	<u>378,800</u>	<u>406,200</u>	<u>439,500</u>	<u>510,600</u>		74	<u>279,700</u>	<u>341,000</u>	<u>391,300</u>	<u>420,200</u>	<u>454,000</u>	<u>527,500</u>	
75	<u>269,600</u>	<u>331,500</u>	<u>379,800</u>	<u>406,900</u>	<u>440,000</u>	<u>511,100</u>		75	<u>280,800</u>	<u>342,100</u>	<u>392,300</u>	<u>420,900</u>	<u>454,500</u>	<u>528,000</u>	
76	<u>270,800</u>	<u>332,600</u>	<u>380,700</u>	<u>407,600</u>	<u>440,600</u>	<u>511,600</u>		76	<u>281,900</u>	<u>343,100</u>	<u>393,200</u>	<u>421,600</u>	<u>455,100</u>	<u>528,500</u>	
77	<u>272,000</u>	<u>333,700</u>	<u>381,700</u>	<u>408,300</u>	<u>441,200</u>	<u>512,100</u>		77	<u>283,000</u>	<u>344,100</u>	<u>394,200</u>	<u>422,300</u>	<u>455,700</u>	<u>529,000</u>	
78	<u>273,100</u>	<u>334,800</u>	<u>382,600</u>	<u>408,900</u>	<u>441,800</u>	<u>512,600</u>		78	<u>284,100</u>	<u>345,100</u>	<u>395,100</u>	<u>422,900</u>	<u>456,300</u>	<u>529,500</u>	
79	<u>274,300</u>	<u>335,800</u>	<u>383,500</u>	<u>409,600</u>	<u>442,400</u>	<u>513,100</u>		79	<u>285,200</u>	<u>346,000</u>	<u>396,000</u>	<u>423,600</u>	<u>456,900</u>	<u>530,000</u>	
80	<u>275,500</u>	<u>336,800</u>	<u>384,200</u>	<u>410,200</u>	<u>442,800</u>	<u>513,600</u>		80	<u>286,300</u>	<u>346,900</u>	<u>396,700</u>	<u>424,200</u>	<u>457,300</u>	<u>530,500</u>	
81	<u>276,600</u>	<u>337,600</u>	<u>385,000</u>	<u>410,800</u>	<u>443,300</u>	<u>514,100</u>		81	<u>287,300</u>	<u>347,600</u>	<u>397,500</u>	<u>424,800</u>	<u>457,800</u>	<u>531,000</u>	
82	<u>277,800</u>	<u>338,500</u>	<u>385,800</u>	<u>411,300</u>	<u>443,800</u>	<u>514,600</u>		82	<u>288,400</u>	<u>348,400</u>	<u>398,300</u>	<u>425,300</u>	<u>458,300</u>	<u>531,500</u>	
83	<u>278,900</u>	<u>339,300</u>	<u>386,500</u>	<u>411,800</u>	<u>444,300</u>	<u>515,100</u>		83	<u>289,500</u>	<u>349,100</u>	<u>399,000</u>	<u>425,800</u>	<u>458,800</u>	<u>532,000</u>	
84	<u>280,000</u>	<u>340,100</u>	<u>387,100</u>	<u>412,300</u>	<u>444,800</u>	<u>515,600</u>		84	<u>290,500</u>	<u>349,800</u>	<u>399,600</u>	<u>426,300</u>	<u>459,300</u>	<u>532,500</u>	
85	<u>281,200</u>	<u>340,700</u>	<u>387,800</u>	<u>412,800</u>	<u>445,300</u>	<u>516,100</u>		85	<u>291,600</u>	<u>350,300</u>	<u>400,300</u>	<u>426,800</u>	<u>459,800</u>	<u>533,000</u>	
86	<u>282,300</u>	<u>341,400</u>	<u>388,400</u>	<u>413,200</u>	<u>445,800</u>	<u>516,600</u>		86	<u>292,700</u>	<u>350,900</u>	<u>400,900</u>	<u>427,200</u>	<u>460,300</u>	<u>533,500</u>	
87	<u>283,500</u>	<u>342,000</u>	<u>389,000</u>	<u>413,700</u>	<u>446,200</u>	<u>517,100</u>		87	<u>293,800</u>	<u>351,500</u>	<u>401,500</u>	<u>427,700</u>	<u>460,700</u>	<u>534,000</u>	
88	<u>284,600</u>	<u>342,600</u>	<u>389,500</u>	<u>414,200</u>	<u>446,700</u>	<u>517,600</u>		88	<u>294,800</u>	<u>352,000</u>	<u>402,000</u>	<u>428,200</u>	<u>461,200</u>	<u>534,500</u>	

改正前								第1条による改正案（公布の日施行）							
89	<u>285,800</u>	<u>343,200</u>	<u>390,000</u>	<u>414,600</u>	<u>447,200</u>	<u>518,100</u>		89	<u>295,900</u>	<u>352,600</u>	<u>402,500</u>	<u>428,600</u>	<u>461,700</u>	<u>535,000</u>	
90	<u>287,000</u>	<u>343,800</u>	<u>390,500</u>	<u>415,100</u>	<u>447,700</u>			90	<u>297,000</u>	<u>353,200</u>	<u>403,000</u>	<u>429,100</u>	<u>462,200</u>		
91	<u>288,100</u>	<u>344,400</u>	<u>391,000</u>	<u>415,600</u>	<u>448,200</u>			91	<u>298,000</u>	<u>353,800</u>	<u>403,500</u>	<u>429,600</u>	<u>462,700</u>		
92	<u>289,200</u>	<u>344,900</u>	<u>391,500</u>	<u>416,000</u>	<u>448,700</u>			92	<u>299,100</u>	<u>354,300</u>	<u>404,000</u>	<u>430,000</u>	<u>463,200</u>		
93	<u>290,400</u>	<u>345,400</u>	<u>392,000</u>	<u>416,400</u>	<u>449,100</u>			93	<u>300,200</u>	<u>354,800</u>	<u>404,500</u>	<u>430,400</u>	<u>463,600</u>		
94	<u>291,600</u>	<u>345,900</u>	<u>392,500</u>	<u>416,900</u>	<u>449,600</u>			94	<u>301,300</u>	<u>355,300</u>	<u>405,000</u>	<u>430,900</u>	<u>464,100</u>		
95	<u>292,800</u>	<u>346,400</u>	<u>393,000</u>	<u>417,400</u>	<u>450,100</u>			95	<u>302,400</u>	<u>355,800</u>	<u>405,500</u>	<u>431,400</u>	<u>464,600</u>		
96	<u>293,900</u>	<u>346,900</u>	<u>393,500</u>	<u>417,800</u>	<u>450,600</u>			96	<u>303,400</u>	<u>356,300</u>	<u>406,000</u>	<u>431,800</u>	<u>465,100</u>		
97	<u>295,000</u>	<u>347,400</u>	<u>393,900</u>	<u>418,200</u>	<u>451,100</u>			97	<u>304,400</u>	<u>356,800</u>	<u>406,400</u>	<u>432,200</u>	<u>465,600</u>		
98	<u>296,200</u>	<u>347,800</u>	<u>394,300</u>	<u>418,600</u>	<u>451,600</u>			98	<u>305,500</u>	<u>357,200</u>	<u>406,800</u>	<u>432,600</u>	<u>466,100</u>		
99	<u>297,400</u>	<u>348,300</u>	<u>394,800</u>	<u>419,000</u>	<u>452,100</u>			99	<u>306,600</u>	<u>357,700</u>	<u>407,300</u>	<u>433,000</u>	<u>466,600</u>		
100	<u>298,600</u>	<u>348,800</u>	<u>395,300</u>	<u>419,400</u>	<u>452,600</u>			100	<u>307,700</u>	<u>358,200</u>	<u>407,800</u>	<u>433,400</u>	<u>467,100</u>		
101	<u>299,600</u>	<u>349,300</u>	<u>395,800</u>	<u>419,800</u>	<u>453,100</u>			101	<u>308,600</u>	<u>358,700</u>	<u>408,300</u>	<u>433,800</u>	<u>467,600</u>		
102	<u>300,700</u>	<u>349,700</u>	<u>396,300</u>	<u>420,200</u>	<u>453,600</u>			102	<u>309,600</u>	<u>359,100</u>	<u>408,800</u>	<u>434,200</u>	<u>468,100</u>		
103	<u>301,800</u>	<u>350,200</u>	<u>396,800</u>	<u>420,600</u>	<u>454,100</u>			103	<u>310,600</u>	<u>359,600</u>	<u>409,300</u>	<u>434,600</u>	<u>468,600</u>		
104	<u>302,800</u>	<u>350,700</u>	<u>397,200</u>	<u>421,000</u>	<u>454,600</u>			104	<u>311,500</u>	<u>360,100</u>	<u>409,700</u>	<u>435,000</u>	<u>469,100</u>		
105	<u>303,700</u>	<u>351,200</u>	<u>397,600</u>	<u>421,400</u>	<u>455,100</u>			105	<u>312,400</u>	<u>360,600</u>	<u>410,100</u>	<u>435,400</u>	<u>469,600</u>		
106	<u>304,700</u>	<u>351,600</u>	<u>398,000</u>	<u>421,800</u>	<u>455,600</u>			106	<u>313,300</u>	<u>361,000</u>	<u>410,500</u>	<u>435,800</u>	<u>470,100</u>		
107	<u>305,600</u>	<u>352,000</u>	<u>398,400</u>	<u>422,200</u>	<u>456,100</u>			107	<u>314,200</u>	<u>361,400</u>	<u>410,900</u>	<u>436,200</u>	<u>470,600</u>		
108	<u>306,500</u>	<u>352,400</u>	<u>398,800</u>	<u>422,600</u>	<u>456,600</u>			108	<u>315,100</u>	<u>361,800</u>	<u>411,300</u>	<u>436,600</u>	<u>471,100</u>		
109	<u>307,400</u>	<u>352,800</u>	<u>399,200</u>	<u>423,000</u>	<u>457,100</u>			109	<u>315,900</u>	<u>362,200</u>	<u>411,700</u>	<u>437,000</u>	<u>471,600</u>		
110	<u>308,200</u>	<u>353,200</u>	<u>399,600</u>	<u>423,400</u>				110	<u>316,700</u>	<u>362,600</u>	<u>412,100</u>	<u>437,400</u>			
111	<u>309,000</u>	<u>353,600</u>	<u>400,000</u>	<u>423,800</u>				111	<u>317,400</u>	<u>363,000</u>	<u>412,500</u>	<u>437,800</u>			
112	<u>309,800</u>	<u>354,000</u>	<u>400,400</u>	<u>424,200</u>				112	<u>318,100</u>	<u>363,400</u>	<u>412,900</u>	<u>438,200</u>			
113	<u>310,400</u>	<u>354,400</u>	<u>400,800</u>	<u>424,600</u>				113	<u>318,700</u>	<u>363,800</u>	<u>413,300</u>	<u>438,600</u>			
114	<u>311,100</u>	<u>354,800</u>	<u>401,200</u>	<u>425,000</u>				114	<u>319,400</u>	<u>364,200</u>	<u>413,700</u>	<u>439,000</u>			
115	<u>311,700</u>	<u>355,200</u>	<u>401,600</u>	<u>425,400</u>				115	<u>320,000</u>	<u>364,600</u>	<u>414,100</u>	<u>439,400</u>			

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
116	<u>312, 300</u>	<u>355, 600</u>	<u>402, 000</u>	<u>425, 800</u>				116	<u>320, 600</u>	<u>365, 000</u>	<u>414, 500</u>	<u>439, 800</u>			
117	<u>312, 800</u>	<u>356, 000</u>	<u>402, 400</u>	<u>426, 200</u>				117	<u>321, 100</u>	<u>365, 400</u>	<u>414, 900</u>	<u>440, 200</u>			
118	<u>313, 300</u>	<u>356, 400</u>	<u>402, 800</u>	<u>426, 600</u>				118	<u>321, 600</u>	<u>365, 800</u>	<u>415, 300</u>	<u>440, 600</u>			
119	<u>313, 700</u>	<u>356, 800</u>	<u>403, 200</u>	<u>427, 000</u>				119	<u>322, 000</u>	<u>366, 200</u>	<u>415, 700</u>	<u>441, 000</u>			
120	<u>314, 100</u>	<u>357, 200</u>	<u>403, 600</u>	<u>427, 400</u>				120	<u>322, 400</u>	<u>366, 600</u>	<u>416, 100</u>	<u>441, 400</u>			
121	<u>314, 400</u>	<u>357, 600</u>	<u>404, 000</u>	<u>427, 800</u>				121	<u>322, 700</u>	<u>367, 000</u>	<u>416, 500</u>	<u>441, 800</u>			
122	<u>314, 800</u>		<u>404, 400</u>	<u>428, 200</u>				122	<u>323, 100</u>		<u>416, 900</u>	<u>442, 200</u>			
123	<u>315, 200</u>		<u>404, 800</u>	<u>428, 600</u>				123	<u>323, 500</u>		<u>417, 300</u>	<u>442, 600</u>			
124	<u>315, 600</u>		<u>405, 200</u>	<u>429, 000</u>				124	<u>323, 900</u>		<u>417, 700</u>	<u>443, 000</u>			
125	<u>316, 000</u>		<u>405, 600</u>	<u>429, 400</u>				125	<u>324, 300</u>		<u>418, 100</u>	<u>443, 400</u>			
126	<u>316, 300</u>		<u>406, 000</u>	<u>429, 800</u>				126	<u>324, 600</u>		<u>418, 500</u>	<u>443, 800</u>			
127	<u>316, 700</u>		<u>406, 400</u>	<u>430, 200</u>				127	<u>325, 000</u>		<u>418, 900</u>	<u>444, 200</u>			
128	<u>317, 100</u>		<u>406, 800</u>	<u>430, 600</u>				128	<u>325, 400</u>		<u>419, 300</u>	<u>444, 600</u>			
129	<u>317, 500</u>		<u>407, 200</u>	<u>431, 000</u>				129	<u>325, 800</u>		<u>419, 700</u>	<u>445, 000</u>			
130	<u>317, 900</u>		<u>407, 600</u>					130	<u>326, 200</u>		<u>420, 100</u>				
131	<u>318, 300</u>		<u>408, 000</u>					131	<u>326, 600</u>		<u>420, 500</u>				
132	<u>318, 700</u>		<u>408, 400</u>					132	<u>327, 000</u>		<u>420, 900</u>				
133	<u>319, 000</u>		<u>408, 800</u>					133	<u>327, 300</u>		<u>421, 300</u>				
134	<u>319, 400</u>							134	<u>327, 700</u>						
135	<u>319, 700</u>							135	<u>328, 000</u>						
136	<u>320, 000</u>							136	<u>328, 300</u>						
137	<u>320, 300</u>							137	<u>328, 600</u>						
138	<u>320, 600</u>							138	<u>328, 900</u>						
139	<u>320, 900</u>							139	<u>329, 200</u>						
140	<u>321, 200</u>							140	<u>329, 500</u>						
141	<u>321, 500</u>							141	<u>329, 800</u>						
142	<u>321, 800</u>							142	<u>330, 100</u>						

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）								
	143	<u>322, 100</u>							143	<u>330, 400</u>						
	144	<u>322, 400</u>							144	<u>330, 700</u>						
	145	<u>322, 700</u>							145	<u>331, 000</u>						
	146	<u>323, 000</u>							146	<u>331, 300</u>						
	147	<u>323, 300</u>							147	<u>331, 600</u>						
	148	<u>323, 600</u>							148	<u>331, 900</u>						
	149	<u>323, 900</u>							149	<u>332, 200</u>						
定年前再任用短時間勤務職員		基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	定年前再任用短時間勤務職員		基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	
		円	円	円	円	円	円			円	円	円	円	円	円	
		<u>200, 400</u>	<u>235, 400</u>	<u>274, 000</u>	<u>292, 100</u>	<u>316, 600</u>	<u>384, 100</u>			<u>209, 700</u>	<u>246, 200</u>	<u>286, 500</u>	<u>306, 100</u>	<u>331, 100</u>	<u>401, 000</u>	
備考 この表は、他の給料表の適用を受けない全ての職員に適用する。ただし、第25条に規定する職員を除く。																
イ 行政職給料表（二）																
職員の区分	職務の級号給	1 級給料月額	2 級給料月額	3 級給料月額	4 級給料月額											
		円	円	円	円											
定年前再任用短時間勤務職員以外の職員	1	<u>161, 800</u>	<u>225, 100</u>	<u>242, 000</u>	<u>248, 600</u>											
	2	<u>162, 500</u>	<u>226, 000</u>	<u>243, 600</u>	<u>250, 200</u>											
	3	<u>163, 200</u>	<u>227, 300</u>	<u>245, 200</u>	<u>251, 900</u>											
	4	<u>163, 900</u>	<u>228, 600</u>	<u>246, 900</u>	<u>253, 600</u>											
	5	<u>164, 600</u>	<u>229, 900</u>	<u>248, 500</u>	<u>255, 400</u>											
	6	<u>165, 300</u>	<u>231, 300</u>	<u>250, 100</u>	<u>257, 000</u>											
	7	<u>166, 000</u>	<u>232, 600</u>	<u>251, 700</u>	<u>258, 800</u>											

改正前							第 1 条による改正案（公布の日施行）						
		8	<u>166,700</u>	<u>233,900</u>	<u>253,300</u>	<u>260,500</u>			8	<u>183,800</u>	<u>247,200</u>	<u>266,000</u>	<u>274,200</u>
		9	<u>167,400</u>	<u>235,300</u>	<u>255,200</u>	<u>262,300</u>			9	<u>184,500</u>	<u>248,600</u>	<u>267,700</u>	<u>275,900</u>
		10	<u>168,100</u>	<u>237,200</u>	<u>257,000</u>	<u>264,000</u>			10	<u>185,200</u>	<u>250,400</u>	<u>269,600</u>	<u>277,700</u>
		11	<u>168,800</u>	<u>239,000</u>	<u>259,000</u>	<u>265,800</u>			11	<u>185,900</u>	<u>252,300</u>	<u>271,700</u>	<u>279,400</u>
		12	<u>169,500</u>	<u>240,800</u>	<u>261,100</u>	<u>267,500</u>			12	<u>186,600</u>	<u>254,100</u>	<u>273,800</u>	<u>281,200</u>
		13	<u>170,200</u>	<u>242,700</u>	<u>263,100</u>	<u>269,200</u>			13	<u>187,300</u>	<u>256,000</u>	<u>275,600</u>	<u>282,800</u>
		14	<u>171,200</u>	<u>244,000</u>	<u>264,800</u>	<u>270,900</u>			14	<u>188,300</u>	<u>257,300</u>	<u>277,500</u>	<u>284,500</u>
		15	<u>172,200</u>	<u>245,200</u>	<u>266,400</u>	<u>272,600</u>			15	<u>189,300</u>	<u>258,500</u>	<u>279,000</u>	<u>286,200</u>
		16	<u>173,200</u>	<u>246,500</u>	<u>267,900</u>	<u>274,300</u>			16	<u>190,300</u>	<u>259,800</u>	<u>280,600</u>	<u>288,000</u>
		17	<u>174,200</u>	<u>247,800</u>	<u>269,500</u>	<u>276,100</u>			17	<u>191,300</u>	<u>261,100</u>	<u>282,100</u>	<u>289,700</u>
		18	<u>175,300</u>	<u>249,000</u>	<u>271,000</u>	<u>277,800</u>			18	<u>192,200</u>	<u>262,300</u>	<u>283,700</u>	<u>291,500</u>
		19	<u>176,400</u>	<u>250,300</u>	<u>272,600</u>	<u>279,500</u>			19	<u>193,000</u>	<u>263,600</u>	<u>285,100</u>	<u>293,100</u>
		20	<u>177,500</u>	<u>251,500</u>	<u>274,100</u>	<u>281,300</u>			20	<u>193,900</u>	<u>264,800</u>	<u>286,600</u>	<u>294,900</u>
		21	<u>178,700</u>	<u>252,600</u>	<u>275,700</u>	<u>283,100</u>			21	<u>194,900</u>	<u>266,000</u>	<u>288,100</u>	<u>296,700</u>
		22	<u>179,900</u>	<u>253,800</u>	<u>277,200</u>	<u>285,100</u>			22	<u>195,900</u>	<u>267,100</u>	<u>289,600</u>	<u>298,700</u>
		23	<u>181,100</u>	<u>255,000</u>	<u>278,800</u>	<u>287,300</u>			23	<u>196,700</u>	<u>268,300</u>	<u>291,100</u>	<u>300,900</u>
		24	<u>182,300</u>	<u>256,200</u>	<u>280,300</u>	<u>289,500</u>			24	<u>197,600</u>	<u>269,400</u>	<u>292,600</u>	<u>303,100</u>
		25	<u>183,400</u>	<u>257,400</u>	<u>281,900</u>	<u>291,700</u>			25	<u>198,500</u>	<u>270,600</u>	<u>294,000</u>	<u>305,300</u>
		26	<u>184,600</u>	<u>258,500</u>	<u>283,400</u>	<u>293,600</u>			26	<u>199,500</u>	<u>271,600</u>	<u>295,500</u>	<u>307,100</u>
		27	<u>186,000</u>	<u>259,700</u>	<u>285,000</u>	<u>295,400</u>			27	<u>200,500</u>	<u>272,800</u>	<u>297,000</u>	<u>309,000</u>
		28	<u>187,300</u>	<u>260,900</u>	<u>286,500</u>	<u>297,200</u>			28	<u>201,500</u>	<u>273,800</u>	<u>298,400</u>	<u>310,700</u>
		29	<u>188,500</u>	<u>262,100</u>	<u>288,000</u>	<u>299,100</u>			29	<u>202,500</u>	<u>275,000</u>	<u>299,800</u>	<u>312,500</u>
		30	<u>190,000</u>	<u>263,300</u>	<u>289,500</u>	<u>300,800</u>			30	<u>203,600</u>	<u>276,100</u>	<u>301,200</u>	<u>314,200</u>
		31	<u>191,500</u>	<u>264,500</u>	<u>290,900</u>	<u>302,600</u>			31	<u>204,800</u>	<u>277,200</u>	<u>302,600</u>	<u>316,000</u>
		32	<u>192,500</u>	<u>265,600</u>	<u>292,500</u>	<u>304,400</u>			32	<u>206,000</u>	<u>278,200</u>	<u>304,000</u>	<u>317,700</u>
		33	<u>193,500</u>	<u>266,800</u>	<u>294,000</u>	<u>306,200</u>			33	<u>207,100</u>	<u>279,300</u>	<u>305,500</u>	<u>319,400</u>
		34	<u>195,200</u>	<u>267,900</u>	<u>295,500</u>	<u>308,100</u>			34	<u>208,300</u>	<u>280,400</u>	<u>306,900</u>	<u>321,200</u>

改正前							第 1 条による改正案（公布の日施行）						
		35	<u>197, 000</u>	<u>269, 100</u>	<u>297, 000</u>	<u>309, 900</u>			35	<u>209, 900</u>	<u>281, 400</u>	<u>308, 300</u>	<u>322, 900</u>
		36	<u>198, 700</u>	<u>270, 200</u>	<u>298, 400</u>	<u>311, 700</u>			36	<u>211, 400</u>	<u>282, 500</u>	<u>309, 600</u>	<u>324, 600</u>
		37	<u>200, 200</u>	<u>271, 300</u>	<u>300, 000</u>	<u>313, 400</u>			37	<u>212, 600</u>	<u>283, 500</u>	<u>311, 100</u>	<u>326, 300</u>
		38	<u>201, 000</u>	<u>272, 500</u>	<u>301, 400</u>	<u>315, 200</u>			38	<u>213, 500</u>	<u>284, 600</u>	<u>312, 500</u>	<u>327, 900</u>
		39	<u>201, 700</u>	<u>273, 500</u>	<u>302, 900</u>	<u>316, 900</u>			39	<u>214, 100</u>	<u>285, 600</u>	<u>313, 900</u>	<u>329, 600</u>
		40	<u>202, 300</u>	<u>274, 700</u>	<u>304, 300</u>	<u>318, 600</u>			40	<u>214, 700</u>	<u>286, 600</u>	<u>315, 300</u>	<u>331, 200</u>
		41	<u>202, 900</u>	<u>275, 800</u>	<u>305, 700</u>	<u>320, 200</u>			41	<u>215, 400</u>	<u>287, 700</u>	<u>316, 600</u>	<u>332, 700</u>
		42	<u>203, 700</u>	<u>277, 000</u>	<u>307, 000</u>	<u>321, 800</u>			42	<u>216, 100</u>	<u>288, 700</u>	<u>318, 000</u>	<u>334, 300</u>
		43	<u>204, 400</u>	<u>278, 100</u>	<u>308, 400</u>	<u>323, 500</u>			43	<u>216, 800</u>	<u>289, 800</u>	<u>319, 300</u>	<u>335, 900</u>
		44	<u>205, 200</u>	<u>279, 300</u>	<u>309, 800</u>	<u>325, 100</u>			44	<u>217, 700</u>	<u>290, 900</u>	<u>320, 600</u>	<u>337, 500</u>
		45	<u>206, 000</u>	<u>280, 300</u>	<u>311, 200</u>	<u>326, 800</u>			45	<u>218, 500</u>	<u>292, 000</u>	<u>322, 000</u>	<u>339, 000</u>
		46	<u>206, 800</u>	<u>281, 500</u>	<u>312, 600</u>	<u>328, 400</u>			46	<u>219, 300</u>	<u>292, 900</u>	<u>323, 300</u>	<u>340, 600</u>
		47	<u>207, 800</u>	<u>282, 600</u>	<u>313, 900</u>	<u>330, 000</u>			47	<u>220, 200</u>	<u>294, 000</u>	<u>324, 600</u>	<u>342, 300</u>
		48	<u>208, 600</u>	<u>283, 700</u>	<u>315, 100</u>	<u>331, 500</u>			48	<u>221, 100</u>	<u>295, 000</u>	<u>325, 900</u>	<u>343, 700</u>
		49	<u>209, 600</u>	<u>284, 800</u>	<u>316, 400</u>	<u>333, 000</u>			49	<u>222, 100</u>	<u>296, 000</u>	<u>327, 200</u>	<u>345, 200</u>
		50	<u>210, 600</u>	<u>285, 900</u>	<u>317, 700</u>	<u>334, 500</u>			50	<u>223, 100</u>	<u>297, 000</u>	<u>328, 500</u>	<u>346, 700</u>
		51	<u>211, 700</u>	<u>287, 100</u>	<u>319, 000</u>	<u>336, 000</u>			51	<u>224, 200</u>	<u>298, 100</u>	<u>329, 800</u>	<u>348, 200</u>
		52	<u>212, 800</u>	<u>288, 100</u>	<u>320, 200</u>	<u>337, 300</u>			52	<u>225, 300</u>	<u>299, 100</u>	<u>331, 000</u>	<u>349, 500</u>
		53	<u>213, 900</u>	<u>289, 300</u>	<u>321, 400</u>	<u>338, 600</u>			53	<u>226, 500</u>	<u>300, 100</u>	<u>332, 200</u>	<u>350, 800</u>
		54	<u>214, 900</u>	<u>290, 300</u>	<u>322, 600</u>	<u>339, 900</u>			54	<u>227, 500</u>	<u>301, 100</u>	<u>333, 300</u>	<u>352, 100</u>
		55	<u>215, 900</u>	<u>291, 400</u>	<u>323, 700</u>	<u>341, 200</u>			55	<u>228, 500</u>	<u>302, 100</u>	<u>334, 500</u>	<u>353, 400</u>
		56	<u>216, 800</u>	<u>292, 400</u>	<u>324, 700</u>	<u>342, 500</u>			56	<u>229, 600</u>	<u>303, 000</u>	<u>335, 500</u>	<u>354, 800</u>
		57	<u>217, 700</u>	<u>293, 500</u>	<u>325, 700</u>	<u>343, 700</u>			57	<u>230, 800</u>	<u>303, 800</u>	<u>336, 400</u>	<u>356, 000</u>
		58	<u>219, 200</u>	<u>294, 300</u>	<u>326, 500</u>	<u>344, 900</u>			58	<u>231, 800</u>	<u>304, 700</u>	<u>337, 300</u>	<u>357, 100</u>
		59	<u>220, 200</u>	<u>295, 200</u>	<u>327, 400</u>	<u>346, 000</u>			59	<u>232, 800</u>	<u>305, 500</u>	<u>338, 200</u>	<u>358, 300</u>
		60	<u>221, 300</u>	<u>296, 000</u>	<u>328, 200</u>	<u>347, 100</u>			60	<u>233, 900</u>	<u>306, 300</u>	<u>338, 900</u>	<u>359, 300</u>
		61	<u>222, 400</u>	<u>296, 800</u>	<u>329, 000</u>	<u>348, 000</u>			61	<u>235, 000</u>	<u>306, 900</u>	<u>339, 800</u>	<u>360, 300</u>

改正前							第 1 条による改正案（公布の日施行）						
		62	<u>223,400</u>	<u>297,500</u>	<u>329,800</u>	<u>348,900</u>			62	<u>236,000</u>	<u>307,600</u>	<u>340,600</u>	<u>361,100</u>
		63	<u>224,400</u>	<u>298,200</u>	<u>330,600</u>	<u>349,800</u>			63	<u>237,000</u>	<u>308,300</u>	<u>341,400</u>	<u>362,000</u>
		64	<u>225,500</u>	<u>298,900</u>	<u>331,200</u>	<u>350,600</u>			64	<u>238,100</u>	<u>308,900</u>	<u>342,000</u>	<u>362,900</u>
		65	<u>226,600</u>	<u>299,500</u>	<u>331,900</u>	<u>351,500</u>			65	<u>239,200</u>	<u>309,300</u>	<u>342,600</u>	<u>363,800</u>
		66	<u>227,600</u>	<u>300,100</u>	<u>332,600</u>	<u>352,200</u>			66	<u>240,200</u>	<u>309,800</u>	<u>343,300</u>	<u>364,500</u>
		67	<u>228,600</u>	<u>300,600</u>	<u>333,200</u>	<u>353,000</u>			67	<u>241,200</u>	<u>310,400</u>	<u>343,900</u>	<u>365,200</u>
		68	<u>229,700</u>	<u>301,100</u>	<u>333,700</u>	<u>353,700</u>			68	<u>242,200</u>	<u>310,800</u>	<u>344,500</u>	<u>365,900</u>
		69	<u>230,800</u>	<u>301,700</u>	<u>334,300</u>	<u>354,400</u>			69	<u>243,200</u>	<u>311,300</u>	<u>345,100</u>	<u>366,600</u>
		70	<u>231,800</u>	<u>302,200</u>	<u>334,800</u>	<u>355,000</u>			70	<u>244,200</u>	<u>311,900</u>	<u>345,600</u>	<u>367,300</u>
		71	<u>232,900</u>	<u>302,700</u>	<u>335,300</u>	<u>355,600</u>			71	<u>245,300</u>	<u>312,400</u>	<u>346,100</u>	<u>367,900</u>
		72	<u>234,000</u>	<u>303,200</u>	<u>335,700</u>	<u>356,200</u>			72	<u>246,300</u>	<u>312,800</u>	<u>346,500</u>	<u>368,500</u>
		73	<u>235,000</u>	<u>303,600</u>	<u>336,200</u>	<u>356,900</u>			73	<u>247,300</u>	<u>313,300</u>	<u>347,000</u>	<u>369,100</u>
		74	<u>236,000</u>	<u>304,000</u>	<u>336,600</u>	<u>357,400</u>			74	<u>248,300</u>	<u>313,700</u>	<u>347,400</u>	<u>369,600</u>
		75	<u>237,100</u>	<u>304,500</u>	<u>337,000</u>	<u>358,000</u>			75	<u>249,300</u>	<u>314,200</u>	<u>347,800</u>	<u>370,200</u>
		76	<u>238,100</u>	<u>304,900</u>	<u>337,500</u>	<u>358,500</u>			76	<u>250,300</u>	<u>314,600</u>	<u>348,200</u>	<u>370,800</u>
		77	<u>239,100</u>	<u>305,400</u>	<u>337,900</u>	<u>359,000</u>			77	<u>251,300</u>	<u>315,100</u>	<u>348,700</u>	<u>371,300</u>
		78	<u>240,100</u>	<u>305,700</u>	<u>338,300</u>	<u>359,500</u>			78	<u>252,300</u>	<u>315,400</u>	<u>349,100</u>	<u>371,700</u>
		79	<u>241,200</u>	<u>306,200</u>	<u>338,800</u>	<u>359,900</u>			79	<u>253,300</u>	<u>315,800</u>	<u>349,500</u>	<u>372,100</u>
		80	<u>242,200</u>	<u>306,600</u>	<u>339,200</u>	<u>360,400</u>			80	<u>254,300</u>	<u>316,300</u>	<u>350,000</u>	<u>372,600</u>
		81	<u>243,300</u>	<u>307,000</u>	<u>339,500</u>	<u>360,800</u>			81	<u>255,300</u>	<u>316,700</u>	<u>350,300</u>	<u>373,000</u>
		82	<u>244,300</u>	<u>307,400</u>	<u>339,900</u>	<u>361,100</u>			82	<u>256,300</u>	<u>317,100</u>	<u>350,700</u>	<u>373,400</u>
		83	<u>245,300</u>	<u>307,800</u>	<u>340,300</u>	<u>361,600</u>			83	<u>257,400</u>	<u>317,500</u>	<u>351,100</u>	<u>373,800</u>
		84	<u>246,400</u>	<u>308,300</u>	<u>340,700</u>	<u>362,000</u>			84	<u>258,400</u>	<u>318,000</u>	<u>351,500</u>	<u>374,200</u>
		85	<u>247,500</u>	<u>308,700</u>	<u>341,200</u>	<u>362,400</u>			85	<u>259,400</u>	<u>318,400</u>	<u>352,000</u>	<u>374,600</u>
		86	<u>248,500</u>	<u>309,100</u>	<u>341,600</u>	<u>362,800</u>			86	<u>260,400</u>	<u>318,800</u>	<u>352,400</u>	<u>375,000</u>
		87	<u>249,600</u>	<u>309,400</u>	<u>342,000</u>	<u>363,200</u>			87	<u>261,400</u>	<u>319,100</u>	<u>352,800</u>	<u>375,500</u>
		88	<u>250,700</u>	<u>309,800</u>	<u>342,400</u>	<u>363,600</u>			88	<u>262,400</u>	<u>319,500</u>	<u>353,200</u>	<u>375,800</u>

改正前							第 1 条による改正案（公布の日施行）						
		89	<u>251, 700</u>	<u>310, 100</u>	<u>342, 700</u>	<u>363, 900</u>			89	<u>263, 300</u>	<u>319, 800</u>	<u>353, 500</u>	<u>376, 200</u>
		90	<u>252, 800</u>	<u>310, 500</u>	<u>343, 100</u>	<u>364, 400</u>			90	<u>264, 300</u>	<u>320, 200</u>	<u>353, 900</u>	<u>376, 600</u>
		91	<u>253, 800</u>	<u>310, 800</u>	<u>343, 400</u>	<u>364, 800</u>			91	<u>265, 300</u>	<u>320, 500</u>	<u>354, 200</u>	<u>377, 000</u>
		92	<u>254, 800</u>	<u>311, 200</u>	<u>343, 800</u>	<u>365, 200</u>			92	<u>266, 200</u>	<u>320, 900</u>	<u>354, 500</u>	<u>377, 400</u>
		93	<u>255, 900</u>	<u>311, 500</u>	<u>344, 100</u>	<u>365, 500</u>			93	<u>267, 300</u>	<u>321, 200</u>	<u>354, 900</u>	<u>377, 700</u>
		94	<u>256, 900</u>	<u>311, 900</u>	<u>344, 500</u>	<u>365, 900</u>			94	<u>268, 300</u>	<u>321, 600</u>	<u>355, 200</u>	<u>378, 100</u>
		95	<u>258, 000</u>	<u>312, 200</u>	<u>344, 800</u>	<u>366, 200</u>			95	<u>269, 300</u>	<u>321, 900</u>	<u>355, 600</u>	<u>378, 400</u>
		96	<u>259, 000</u>	<u>312, 600</u>	<u>345, 100</u>	<u>366, 600</u>			96	<u>270, 200</u>	<u>322, 300</u>	<u>355, 900</u>	<u>378, 800</u>
		97	<u>260, 100</u>	<u>312, 900</u>	<u>345, 500</u>	<u>366, 900</u>			97	<u>271, 200</u>	<u>322, 600</u>	<u>356, 300</u>	<u>379, 100</u>
		98	<u>261, 200</u>	<u>313, 300</u>	<u>345, 800</u>	<u>367, 300</u>			98	<u>272, 200</u>	<u>323, 000</u>	<u>356, 600</u>	<u>379, 500</u>
		99	<u>262, 200</u>	<u>313, 600</u>	<u>346, 200</u>	<u>367, 600</u>			99	<u>273, 100</u>	<u>323, 400</u>	<u>357, 000</u>	<u>379, 800</u>
		100	<u>263, 200</u>	<u>314, 000</u>	<u>346, 500</u>	<u>368, 000</u>			100	<u>274, 100</u>	<u>323, 700</u>	<u>357, 300</u>	<u>380, 200</u>
		101	<u>264, 300</u>	<u>314, 300</u>	<u>346, 900</u>	<u>368, 300</u>			101	<u>275, 100</u>	<u>324, 100</u>	<u>357, 600</u>	<u>380, 500</u>
		102	<u>265, 400</u>	<u>314, 700</u>	<u>347, 200</u>	<u>368, 700</u>			102	<u>276, 100</u>	<u>324, 500</u>	<u>358, 000</u>	<u>380, 900</u>
		103	<u>266, 400</u>	<u>315, 100</u>	<u>347, 600</u>	<u>369, 000</u>			103	<u>277, 100</u>	<u>324, 900</u>	<u>358, 300</u>	<u>381, 200</u>
		104	<u>267, 400</u>	<u>315, 500</u>	<u>347, 900</u>	<u>369, 400</u>			104	<u>278, 100</u>	<u>325, 300</u>	<u>358, 700</u>	<u>381, 600</u>
		105	<u>268, 500</u>	<u>315, 900</u>	<u>348, 200</u>	<u>369, 700</u>			105	<u>279, 000</u>	<u>325, 700</u>	<u>359, 000</u>	<u>381, 900</u>
		106	<u>269, 500</u>	<u>316, 300</u>	<u>348, 600</u>	<u>370, 100</u>			106	<u>280, 000</u>	<u>326, 100</u>	<u>359, 400</u>	<u>382, 300</u>
		107	<u>270, 600</u>	<u>316, 700</u>	<u>348, 900</u>	<u>370, 400</u>			107	<u>281, 000</u>	<u>326, 500</u>	<u>359, 700</u>	<u>382, 600</u>
		108	<u>271, 700</u>	<u>317, 100</u>	<u>349, 300</u>	<u>370, 800</u>			108	<u>282, 000</u>	<u>326, 900</u>	<u>360, 100</u>	<u>383, 000</u>
		109	<u>273, 000</u>	<u>317, 500</u>	<u>349, 600</u>	<u>371, 100</u>			109	<u>282, 800</u>	<u>327, 300</u>	<u>360, 400</u>	<u>383, 300</u>
		110	<u>273, 800</u>	<u>317, 800</u>	<u>350, 000</u>	<u>371, 500</u>			110	<u>283, 700</u>	<u>327, 600</u>	<u>360, 700</u>	<u>383, 700</u>
		111	<u>274, 600</u>	<u>318, 100</u>	<u>350, 300</u>	<u>371, 800</u>			111	<u>284, 700</u>	<u>327, 900</u>	<u>361, 100</u>	<u>384, 000</u>
		112	<u>275, 500</u>	<u>318, 400</u>	<u>350, 700</u>	<u>372, 100</u>			112	<u>285, 500</u>	<u>328, 200</u>	<u>361, 400</u>	<u>384, 400</u>
		113	<u>276, 400</u>	<u>318, 700</u>	<u>351, 000</u>	<u>372, 500</u>			113	<u>286, 300</u>	<u>328, 500</u>	<u>361, 800</u>	<u>384, 700</u>
		114	<u>277, 300</u>	<u>319, 000</u>	<u>351, 400</u>	<u>372, 800</u>			114	<u>287, 100</u>	<u>328, 800</u>	<u>362, 100</u>	<u>385, 100</u>
		115	<u>278, 100</u>	<u>319, 300</u>	<u>351, 700</u>	<u>373, 200</u>			115	<u>288, 000</u>	<u>329, 100</u>	<u>362, 500</u>	<u>385, 400</u>

改正前							第 1 条による改正案（公布の日施行）						
		116	<u>278,900</u>	<u>319,600</u>	<u>352,000</u>	<u>373,500</u>			116	<u>288,800</u>	<u>329,400</u>	<u>362,800</u>	<u>385,800</u>
		117	<u>279,700</u>	<u>319,900</u>	<u>352,400</u>	<u>373,900</u>			117	<u>289,500</u>	<u>329,700</u>	<u>363,200</u>	<u>386,100</u>
		118	<u>280,500</u>	<u>320,200</u>	<u>352,800</u>	<u>374,200</u>			118	<u>290,300</u>	<u>330,000</u>	<u>363,600</u>	<u>386,500</u>
		119	<u>281,200</u>	<u>320,500</u>	<u>353,200</u>	<u>374,600</u>			119	<u>290,900</u>	<u>330,300</u>	<u>364,000</u>	<u>386,800</u>
		120	<u>281,900</u>	<u>320,800</u>	<u>353,600</u>	<u>374,900</u>			120	<u>291,500</u>	<u>330,600</u>	<u>364,400</u>	<u>387,200</u>
		121	<u>282,500</u>	<u>321,100</u>	<u>354,000</u>	<u>375,300</u>			121	<u>292,100</u>	<u>330,900</u>	<u>364,800</u>	<u>387,500</u>
		122	<u>283,100</u>	<u>321,300</u>	<u>354,400</u>				122	<u>292,700</u>	<u>331,100</u>	<u>365,200</u>	
		123	<u>283,600</u>	<u>321,500</u>	<u>354,800</u>				123	<u>293,300</u>	<u>331,300</u>	<u>365,600</u>	
		124	<u>284,200</u>	<u>321,700</u>	<u>355,200</u>				124	<u>293,800</u>	<u>331,500</u>	<u>366,000</u>	
		125	<u>284,600</u>	<u>321,900</u>	<u>355,600</u>				125	<u>294,300</u>	<u>331,700</u>	<u>366,400</u>	
		126	<u>285,100</u>	<u>322,100</u>	<u>356,000</u>				126	<u>294,700</u>	<u>331,900</u>	<u>366,800</u>	
		127	<u>285,500</u>	<u>322,300</u>	<u>356,400</u>				127	<u>295,100</u>	<u>332,100</u>	<u>367,200</u>	
		128	<u>285,800</u>	<u>322,500</u>	<u>356,800</u>				128	<u>295,500</u>	<u>332,300</u>	<u>367,600</u>	
		129	<u>286,100</u>	<u>322,700</u>	<u>357,200</u>				129	<u>295,800</u>	<u>332,500</u>	<u>368,000</u>	
		130	<u>286,500</u>	<u>322,900</u>	<u>357,600</u>				130	<u>296,100</u>	<u>332,700</u>	<u>368,400</u>	
		131	<u>286,800</u>	<u>323,100</u>	<u>358,000</u>				131	<u>296,500</u>	<u>332,900</u>	<u>368,800</u>	
		132	<u>287,200</u>	<u>323,300</u>	<u>358,400</u>				132	<u>296,900</u>	<u>333,100</u>	<u>369,200</u>	
		133	<u>287,600</u>	<u>323,500</u>	<u>358,800</u>				133	<u>297,200</u>	<u>333,300</u>	<u>369,600</u>	
		134	<u>287,900</u>	<u>323,600</u>	<u>359,200</u>				134	<u>297,500</u>	<u>333,400</u>	<u>370,000</u>	
		135	<u>288,200</u>	<u>323,700</u>	<u>359,600</u>				135	<u>297,900</u>	<u>333,500</u>	<u>370,400</u>	
		136	<u>288,600</u>	<u>323,800</u>	<u>360,000</u>				136	<u>298,200</u>	<u>333,600</u>	<u>370,800</u>	
		137	<u>288,900</u>	<u>323,900</u>	<u>360,400</u>				137	<u>298,600</u>	<u>333,700</u>	<u>371,200</u>	
		138	<u>289,300</u>	<u>324,000</u>	<u>360,800</u>				138	<u>299,000</u>	<u>333,800</u>	<u>371,600</u>	
		139	<u>289,700</u>	<u>324,100</u>	<u>361,200</u>				139	<u>299,300</u>	<u>333,900</u>	<u>372,000</u>	
		140	<u>290,000</u>	<u>324,200</u>	<u>361,600</u>				140	<u>299,700</u>	<u>334,000</u>	<u>372,400</u>	
		141	<u>290,300</u>	<u>324,300</u>	<u>362,000</u>				141	<u>300,000</u>	<u>334,100</u>	<u>372,800</u>	
		142	<u>290,700</u>	<u>324,400</u>	<u>362,400</u>				142	<u>300,300</u>	<u>334,200</u>	<u>373,200</u>	

改正前							第1条による改正案（公布の日施行）						
		143	<u>290,900</u>	<u>324,500</u>	<u>362,800</u>				143	<u>300,600</u>	<u>334,300</u>	<u>373,600</u>	
		144	<u>291,200</u>	<u>324,600</u>	<u>363,200</u>				144	<u>300,900</u>	<u>334,400</u>	<u>374,000</u>	
		145	<u>291,500</u>	<u>324,700</u>	<u>363,600</u>				145	<u>301,200</u>	<u>334,500</u>	<u>374,400</u>	
		146	<u>291,700</u>	<u>324,800</u>	<u>364,000</u>				146	<u>301,400</u>	<u>334,600</u>	<u>374,800</u>	
		147	<u>292,000</u>	<u>324,900</u>	<u>364,400</u>				147	<u>301,700</u>	<u>334,700</u>	<u>375,200</u>	
		148	<u>292,300</u>	<u>325,000</u>	<u>364,800</u>				148	<u>302,000</u>	<u>334,800</u>	<u>375,600</u>	
		149	<u>292,600</u>	<u>325,100</u>	<u>365,200</u>				149	<u>302,300</u>	<u>334,900</u>	<u>376,000</u>	
		150	<u>292,800</u>		<u>365,600</u>				150	<u>302,500</u>		<u>376,400</u>	
		151	<u>293,100</u>		<u>366,000</u>				151	<u>302,800</u>		<u>376,800</u>	
		152	<u>293,400</u>		<u>366,400</u>				152	<u>303,100</u>		<u>377,200</u>	
		153	<u>293,700</u>		<u>366,800</u>				153	<u>303,400</u>		<u>377,600</u>	
		154	<u>293,900</u>		<u>367,100</u>				154	<u>303,600</u>		<u>377,900</u>	
		155	<u>294,200</u>		<u>367,400</u>				155	<u>303,900</u>		<u>378,200</u>	
		156	<u>294,500</u>		<u>367,700</u>				156	<u>304,200</u>		<u>378,500</u>	
		157	<u>294,700</u>		<u>368,000</u>				157	<u>304,500</u>		<u>378,800</u>	
		158	<u>295,000</u>						158	<u>304,800</u>			
		159	<u>295,300</u>						159	<u>305,100</u>			
		160	<u>295,600</u>						160	<u>305,400</u>			
		161	<u>295,900</u>						161	<u>305,700</u>			
		162	<u>296,200</u>						162	<u>306,000</u>			
		163	<u>296,500</u>						163	<u>306,300</u>			
		164	<u>296,800</u>						164	<u>306,600</u>			
		165	<u>297,100</u>						165	<u>306,900</u>			
定年前 再任用 短時間 勤務職			基準給料月 額	基準給料月 額	基準給料月 額	基準給料月 額		定年前 再任用 短時間 勤務職		基準給料月 額	基準給料月 額	基準給料月 額	基準給料月 額
			円	円	円	円				円	円	円	円
			<u>216,300</u>	<u>227,500</u>	<u>248,600</u>	<u>279,800</u>				<u>224,600</u>	<u>235,900</u>	<u>257,800</u>	<u>290,200</u>

改正前						第1条による改正案（公布の日施行）					
員						員					
備考 この表は、機器の運転操作、庁舎の監視その他の庁務及びこれらに準ずる業務に従事する職員で人事委員会が定めるものに適用する。						備考 この表は、機器の運転操作、庁舎の監視その他の庁務及びこれらに準ずる業務に従事する職員で人事委員会が定めるものに適用する。					
別表第2（第5条関係）						別表第2（第5条関係）					
ア 医療職給料表（一）						ア 医療職給料表（一）					
職員の区分	職務の級	1級	2級	3級		職員の区分	職務の級	1級	2級	3級	
	号給	給料月額	給料月額	給料月額			号給	給料月額	給料月額	給料月額	
定年前再任用短時間勤務職員以外の職員		円	円	円		定年前再任用短時間勤務職員以外の職員		円	円	円	
	1	<u>243,400</u>	<u>344,800</u>	<u>425,400</u>			1	<u>260,000</u>	<u>363,500</u>	<u>445,000</u>	
	2	<u>246,000</u>	<u>348,100</u>	<u>428,200</u>			2	<u>262,400</u>	<u>366,900</u>	<u>447,800</u>	
	3	<u>248,600</u>	<u>351,800</u>	<u>431,000</u>			3	<u>264,700</u>	<u>370,700</u>	<u>450,600</u>	
	4	<u>251,000</u>	<u>355,200</u>	<u>433,800</u>			4	<u>266,700</u>	<u>374,100</u>	<u>453,400</u>	
	5	<u>253,500</u>	<u>358,800</u>	<u>436,800</u>			5	<u>269,000</u>	<u>377,800</u>	<u>456,400</u>	
	6	<u>256,100</u>	<u>362,300</u>	<u>439,500</u>			6	<u>271,400</u>	<u>381,300</u>	<u>459,100</u>	
	7	<u>258,400</u>	<u>365,900</u>	<u>442,300</u>			7	<u>273,300</u>	<u>385,000</u>	<u>461,900</u>	
	8	<u>261,100</u>	<u>369,200</u>	<u>445,000</u>			8	<u>275,900</u>	<u>388,300</u>	<u>464,600</u>	
	9	<u>263,800</u>	<u>372,800</u>	<u>447,700</u>			9	<u>278,200</u>	<u>392,100</u>	<u>467,300</u>	
	10	<u>266,600</u>	<u>376,900</u>	<u>450,400</u>			10	<u>281,100</u>	<u>396,200</u>	<u>470,000</u>	
	11	<u>269,600</u>	<u>381,000</u>	<u>453,100</u>			11	<u>284,200</u>	<u>400,300</u>	<u>472,700</u>	
	12	<u>272,400</u>	<u>385,000</u>	<u>455,800</u>			12	<u>287,100</u>	<u>404,300</u>	<u>475,400</u>	
	13	<u>275,400</u>	<u>388,900</u>	<u>458,600</u>			13	<u>290,200</u>	<u>408,200</u>	<u>478,200</u>	
	14	<u>279,300</u>	<u>392,600</u>	<u>461,400</u>			14	<u>294,300</u>	<u>412,000</u>	<u>480,900</u>	
	15	<u>283,200</u>	<u>396,200</u>	<u>464,200</u>			15	<u>298,300</u>	<u>415,700</u>	<u>483,700</u>	
	16	<u>286,700</u>	<u>399,800</u>	<u>466,800</u>			16	<u>302,000</u>	<u>419,300</u>	<u>486,300</u>	
	17	<u>290,300</u>	<u>403,400</u>	<u>469,400</u>			17	<u>305,700</u>	<u>422,900</u>	<u>488,800</u>	
	18	<u>293,800</u>	<u>406,200</u>	<u>471,900</u>			18	<u>309,300</u>	<u>425,700</u>	<u>491,300</u>	
	19	<u>297,000</u>	<u>408,800</u>	<u>474,700</u>			19	<u>312,600</u>	<u>428,300</u>	<u>494,100</u>	

改正前						第 1 条による改正案（公布の日施行）					
		20	<u>300,500</u>	<u>411,300</u>	<u>477,300</u>			20	<u>316,200</u>	<u>430,800</u>	<u>496,700</u>
		21	<u>304,000</u>	<u>414,000</u>	<u>480,000</u>			21	<u>319,800</u>	<u>433,500</u>	<u>499,400</u>
		22	<u>307,200</u>	<u>416,500</u>	<u>482,700</u>			22	<u>323,100</u>	<u>436,000</u>	<u>502,100</u>
		23	<u>310,300</u>	<u>419,200</u>	<u>485,400</u>			23	<u>326,300</u>	<u>438,700</u>	<u>504,700</u>
		24	<u>313,300</u>	<u>421,600</u>	<u>487,800</u>			24	<u>329,400</u>	<u>441,100</u>	<u>507,100</u>
		25	<u>316,400</u>	<u>423,800</u>	<u>490,600</u>			25	<u>332,500</u>	<u>443,300</u>	<u>509,900</u>
		26	<u>319,600</u>	<u>426,200</u>	<u>493,200</u>			26	<u>335,800</u>	<u>445,600</u>	<u>512,500</u>
		27	<u>322,400</u>	<u>428,500</u>	<u>495,600</u>			27	<u>338,700</u>	<u>447,900</u>	<u>514,800</u>
		28	<u>325,600</u>	<u>430,900</u>	<u>498,000</u>			28	<u>342,000</u>	<u>450,300</u>	<u>517,200</u>
		29	<u>328,700</u>	<u>433,500</u>	<u>500,600</u>			29	<u>345,100</u>	<u>452,900</u>	<u>519,700</u>
		30	<u>331,800</u>	<u>435,700</u>	<u>503,100</u>			30	<u>348,300</u>	<u>455,000</u>	<u>522,100</u>
		31	<u>334,800</u>	<u>438,300</u>	<u>505,100</u>			31	<u>351,400</u>	<u>457,600</u>	<u>524,100</u>
		32	<u>338,000</u>	<u>440,700</u>	<u>507,400</u>			32	<u>354,700</u>	<u>460,000</u>	<u>526,300</u>
		33	<u>340,700</u>	<u>443,100</u>	<u>509,500</u>			33	<u>357,400</u>	<u>462,300</u>	<u>528,400</u>
		34	<u>343,900</u>	<u>445,500</u>	<u>511,800</u>			34	<u>360,700</u>	<u>464,700</u>	<u>530,700</u>
		35	<u>346,600</u>	<u>447,500</u>	<u>514,000</u>			35	<u>363,500</u>	<u>466,600</u>	<u>532,900</u>
		36	<u>349,300</u>	<u>449,500</u>	<u>516,400</u>			36	<u>366,200</u>	<u>468,500</u>	<u>535,300</u>
		37	<u>352,400</u>	<u>451,500</u>	<u>518,300</u>			37	<u>369,400</u>	<u>470,400</u>	<u>537,100</u>
		38	<u>355,500</u>	<u>453,500</u>	<u>520,100</u>			38	<u>372,600</u>	<u>472,200</u>	<u>538,900</u>
		39	<u>358,800</u>	<u>455,800</u>	<u>522,100</u>			39	<u>375,900</u>	<u>474,500</u>	<u>540,900</u>
		40	<u>361,300</u>	<u>457,700</u>	<u>524,000</u>			40	<u>378,300</u>	<u>476,400</u>	<u>542,800</u>
		41	<u>363,900</u>	<u>459,800</u>	<u>526,200</u>			41	<u>380,900</u>	<u>478,400</u>	<u>545,000</u>
		42	<u>366,600</u>	<u>461,700</u>	<u>527,600</u>			42	<u>383,600</u>	<u>480,200</u>	<u>546,300</u>
		43	<u>369,200</u>	<u>463,700</u>	<u>529,200</u>			43	<u>386,100</u>	<u>482,100</u>	<u>547,900</u>
		44	<u>371,300</u>	<u>465,500</u>	<u>530,900</u>			44	<u>388,100</u>	<u>483,700</u>	<u>549,600</u>
		45	<u>373,500</u>	<u>467,100</u>	<u>532,600</u>			45	<u>390,300</u>	<u>485,300</u>	<u>551,300</u>
		46	<u>375,800</u>	<u>468,900</u>	<u>533,700</u>			46	<u>392,600</u>	<u>487,000</u>	<u>552,300</u>

改正前						第 1 条による改正案（公布の日施行）					
		47	<u>378,400</u>	<u>470,600</u>	<u>535,000</u>			47	<u>395,100</u>	<u>488,500</u>	<u>553,600</u>
		48	<u>380,700</u>	<u>472,200</u>	<u>536,100</u>			48	<u>397,400</u>	<u>490,000</u>	<u>554,700</u>
		49	<u>382,800</u>	<u>473,800</u>	<u>537,400</u>			49	<u>399,400</u>	<u>491,500</u>	<u>556,000</u>
		50	<u>384,200</u>	<u>475,300</u>	<u>538,600</u>			50	<u>400,800</u>	<u>492,800</u>	<u>557,200</u>
		51	<u>385,400</u>	<u>476,700</u>	<u>539,800</u>			51	<u>401,800</u>	<u>494,100</u>	<u>558,400</u>
		52	<u>386,600</u>	<u>478,000</u>	<u>540,900</u>			52	<u>403,000</u>	<u>495,300</u>	<u>559,500</u>
		53	<u>387,900</u>	<u>479,200</u>	<u>542,000</u>			53	<u>404,100</u>	<u>496,400</u>	<u>560,600</u>
		54	<u>389,100</u>	<u>480,300</u>	<u>543,000</u>			54	<u>405,300</u>	<u>497,400</u>	<u>561,600</u>
		55	<u>390,400</u>	<u>481,200</u>	<u>544,000</u>			55	<u>406,600</u>	<u>498,200</u>	<u>562,600</u>
		56	<u>391,700</u>	<u>482,100</u>	<u>544,900</u>			56	<u>407,800</u>	<u>499,000</u>	<u>563,500</u>
		57	<u>392,900</u>	<u>483,000</u>	<u>545,800</u>			57	<u>408,800</u>	<u>499,900</u>	<u>564,400</u>
		58	<u>394,300</u>	<u>483,600</u>	<u>546,700</u>			58	<u>410,200</u>	<u>500,500</u>	<u>565,300</u>
		59	<u>395,200</u>	<u>484,700</u>	<u>547,600</u>			59	<u>410,900</u>	<u>501,500</u>	<u>566,200</u>
		60	<u>396,400</u>	<u>485,800</u>	<u>548,600</u>			60	<u>411,900</u>	<u>502,500</u>	<u>567,200</u>
		61	<u>397,100</u>	<u>486,700</u>	<u>549,600</u>			61	<u>412,500</u>	<u>503,300</u>	<u>568,200</u>
		62	<u>398,000</u>	<u>487,400</u>	<u>550,500</u>			62	<u>413,200</u>	<u>503,900</u>	<u>569,100</u>
		63	<u>398,600</u>	<u>488,200</u>	<u>551,600</u>			63	<u>413,700</u>	<u>504,700</u>	<u>570,200</u>
		64	<u>399,400</u>	<u>489,000</u>	<u>552,600</u>			64	<u>414,400</u>	<u>505,500</u>	<u>571,200</u>
		65	<u>400,300</u>	<u>489,600</u>	<u>553,600</u>			65	<u>415,100</u>	<u>506,000</u>	<u>572,200</u>
		66	<u>400,900</u>	<u>490,400</u>	<u>554,600</u>			66	<u>415,700</u>	<u>506,800</u>	<u>573,200</u>
		67	<u>401,500</u>	<u>491,000</u>	<u>555,500</u>			67	<u>416,100</u>	<u>507,400</u>	<u>574,200</u>
		68	<u>402,400</u>	<u>491,700</u>	<u>556,500</u>			68	<u>416,800</u>	<u>508,100</u>	<u>575,200</u>
		69	<u>402,900</u>	<u>492,300</u>	<u>557,500</u>			69	<u>417,200</u>	<u>508,600</u>	<u>576,200</u>
		70	<u>403,500</u>	<u>492,800</u>	<u>558,500</u>			70	<u>417,600</u>	<u>509,100</u>	<u>577,200</u>
		71	<u>404,300</u>	<u>493,100</u>	<u>559,500</u>			71	<u>418,200</u>	<u>509,400</u>	<u>578,200</u>
		72	<u>404,900</u>	<u>493,600</u>	<u>560,400</u>			72	<u>418,800</u>	<u>509,900</u>	<u>579,100</u>
		73	<u>405,500</u>	<u>494,100</u>	<u>561,400</u>			73	<u>419,200</u>	<u>510,400</u>	<u>580,100</u>

改正前						第 1 条による改正案（公布の日施行）					
		74	<u>406, 100</u>	<u>494, 600</u>	<u>562, 400</u>			74	<u>419, 600</u>	<u>510, 900</u>	<u>581, 100</u>
		75	<u>406, 700</u>	<u>495, 000</u>	<u>563, 300</u>			75	<u>420, 000</u>	<u>511, 300</u>	<u>582, 000</u>
		76	<u>407, 400</u>	<u>495, 400</u>	<u>564, 200</u>			76	<u>420, 600</u>	<u>511, 700</u>	<u>582, 900</u>
		77	<u>408, 100</u>	<u>495, 800</u>	<u>565, 200</u>			77	<u>421, 100</u>	<u>512, 100</u>	<u>583, 900</u>
		78	<u>408, 700</u>	<u>496, 100</u>	<u>566, 100</u>			78	<u>421, 500</u>	<u>512, 400</u>	<u>584, 800</u>
		79	<u>409, 300</u>	<u>496, 500</u>	<u>567, 000</u>			79	<u>422, 000</u>	<u>512, 800</u>	<u>585, 700</u>
		80	<u>409, 900</u>	<u>497, 000</u>	<u>567, 800</u>			80	<u>422, 400</u>	<u>513, 300</u>	<u>586, 600</u>
		81	<u>410, 600</u>	<u>497, 500</u>	<u>568, 700</u>			81	<u>423, 000</u>	<u>513, 800</u>	<u>587, 500</u>
		82	<u>411, 000</u>	<u>497, 900</u>	<u>569, 500</u>			82	<u>423, 300</u>	<u>514, 200</u>	<u>588, 300</u>
		83	<u>411, 500</u>	<u>498, 300</u>	<u>570, 400</u>			83	<u>423, 600</u>	<u>514, 600</u>	<u>589, 200</u>
		84	<u>412, 200</u>	<u>498, 800</u>	<u>571, 200</u>			84	<u>424, 100</u>	<u>515, 100</u>	<u>590, 000</u>
		85	<u>413, 100</u>	<u>499, 400</u>	<u>572, 000</u>			85	<u>424, 900</u>	<u>515, 700</u>	<u>590, 800</u>
		86	<u>413, 600</u>	<u>500, 000</u>	<u>572, 800</u>			86	<u>425, 300</u>	<u>516, 300</u>	<u>591, 600</u>
		87	<u>414, 200</u>	<u>500, 500</u>	<u>573, 600</u>			87	<u>425, 900</u>	<u>516, 800</u>	<u>592, 400</u>
		88	<u>414, 900</u>	<u>500, 900</u>	<u>574, 300</u>			88	<u>426, 500</u>	<u>517, 200</u>	<u>593, 100</u>
		89	<u>415, 500</u>	<u>501, 400</u>	<u>575, 000</u>			89	<u>426, 800</u>	<u>517, 700</u>	<u>593, 900</u>
		90	<u>415, 900</u>	<u>502, 000</u>	<u>575, 700</u>			90	<u>427, 200</u>	<u>518, 300</u>	<u>594, 600</u>
		91	<u>416, 400</u>	<u>502, 500</u>	<u>576, 500</u>			91	<u>427, 700</u>	<u>518, 800</u>	<u>595, 400</u>
		92	<u>416, 900</u>	<u>503, 000</u>	<u>577, 300</u>			92	<u>428, 100</u>	<u>519, 300</u>	<u>596, 200</u>
		93	<u>417, 300</u>	<u>503, 500</u>	<u>578, 000</u>			93	<u>428, 500</u>	<u>519, 800</u>	<u>596, 900</u>
		94	<u>417, 700</u>	<u>504, 100</u>	<u>578, 800</u>			94	<u>428, 800</u>	<u>520, 400</u>	<u>597, 700</u>
		95	<u>418, 100</u>	<u>504, 600</u>	<u>579, 500</u>			95	<u>429, 200</u>	<u>520, 900</u>	<u>598, 400</u>
		96	<u>418, 600</u>	<u>505, 100</u>	<u>580, 200</u>			96	<u>429, 700</u>	<u>521, 400</u>	<u>599, 100</u>
		97	<u>419, 100</u>	<u>505, 600</u>	<u>580, 900</u>			97	<u>430, 200</u>	<u>521, 900</u>	<u>599, 800</u>
		98	<u>419, 500</u>	<u>506, 100</u>	<u>581, 500</u>			98	<u>430, 600</u>	<u>522, 400</u>	<u>600, 500</u>
		99	<u>420, 000</u>	<u>506, 600</u>	<u>582, 200</u>			99	<u>431, 100</u>	<u>522, 900</u>	<u>601, 200</u>
		100	<u>420, 400</u>	<u>507, 200</u>	<u>582, 900</u>			100	<u>431, 500</u>	<u>523, 500</u>	<u>601, 900</u>

改正前						第1条による改正案（公布の日施行）					
		101	<u>420,800</u>	<u>507,700</u>	<u>583,600</u>			101	<u>431,900</u>	<u>524,000</u>	<u>602,600</u>
		102	<u>421,200</u>	<u>508,200</u>	<u>584,300</u>			102	<u>432,300</u>	<u>524,500</u>	<u>603,400</u>
		103	<u>421,600</u>	<u>508,700</u>	<u>584,900</u>			103	<u>432,700</u>	<u>525,000</u>	<u>604,000</u>
		104	<u>422,100</u>	<u>509,300</u>	<u>585,500</u>			104	<u>433,200</u>	<u>525,600</u>	<u>604,600</u>
		105	<u>422,600</u>	<u>509,800</u>	<u>586,300</u>			105	<u>433,700</u>	<u>526,100</u>	<u>605,400</u>
		106	<u>423,100</u>		<u>587,000</u>			106	<u>434,200</u>		<u>606,100</u>
		107	<u>423,600</u>		<u>587,700</u>			107	<u>434,700</u>		<u>606,900</u>
		108	<u>424,100</u>		<u>588,400</u>			108	<u>435,200</u>		<u>607,600</u>
		109	<u>424,500</u>		<u>589,000</u>			109	<u>435,600</u>		<u>608,200</u>
定年前再 任用短時 間勤務職 員			基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額		定年前再 任用短時 間勤務職 員		基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額
			円	円	円				円	円	円
			<u>299,200</u>	<u>360,900</u>	<u>422,200</u>				<u>312,600</u>	<u>377,200</u>	<u>441,400</u>

備考 この表は、保健所等に勤務する医師で人事委員会が定めるものに適用する。

イ 医療職給料表（二）

職員の 区分	職務の 級	1級	2級	3級	4級	5級
		給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
		円	円	円	円	円
定年前 再任用 短時間 勤務職 員以外 の職員	1	<u>178,100</u>	<u>232,900</u>	<u>254,600</u>	<u>277,200</u>	<u>303,500</u>
	2	<u>179,300</u>	<u>233,800</u>	<u>256,000</u>	<u>278,900</u>	<u>305,700</u>
	3	<u>180,500</u>	<u>234,700</u>	<u>257,400</u>	<u>280,700</u>	<u>307,900</u>
	4	<u>181,700</u>	<u>235,700</u>	<u>258,800</u>	<u>282,500</u>	<u>310,100</u>
	5	<u>182,900</u>	<u>236,700</u>	<u>260,300</u>	<u>284,500</u>	<u>312,400</u>
	6	<u>184,200</u>	<u>237,700</u>	<u>261,900</u>	<u>286,400</u>	<u>314,600</u>
	7	<u>185,500</u>	<u>238,700</u>	<u>263,500</u>	<u>288,300</u>	<u>316,900</u>

備考 この表は、保健所等に勤務する医師で人事委員会が定めるものに適用する。

イ 医療職給料表（二）

職員の 区分	職務の 級	1級	2級	3級	4級	5級
		給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
		円	円	円	円	円
定年前 再任用 短時間 勤務職 員以外 の職員	1	<u>197,300</u>	<u>246,700</u>	<u>269,300</u>	<u>292,800</u>	<u>320,000</u>
	2	<u>198,300</u>	<u>247,600</u>	<u>270,700</u>	<u>294,500</u>	<u>322,200</u>
	3	<u>199,300</u>	<u>248,500</u>	<u>272,100</u>	<u>296,300</u>	<u>324,400</u>
	4	<u>200,200</u>	<u>249,500</u>	<u>273,500</u>	<u>298,100</u>	<u>326,600</u>
	5	<u>201,200</u>	<u>250,500</u>	<u>275,000</u>	<u>300,100</u>	<u>328,900</u>
	6	<u>202,300</u>	<u>251,500</u>	<u>276,600</u>	<u>302,000</u>	<u>331,100</u>
	7	<u>203,300</u>	<u>252,500</u>	<u>278,200</u>	<u>303,900</u>	<u>333,400</u>

改正前							第 1 条による改正案（公布の日施行）						
8	<u>186,800</u>	<u>239,700</u>	<u>265,100</u>	<u>290,300</u>	<u>319,200</u>		8	<u>204,300</u>	<u>253,500</u>	<u>279,800</u>	<u>305,900</u>	<u>335,700</u>	
9	<u>188,100</u>	<u>240,700</u>	<u>266,800</u>	<u>292,300</u>	<u>321,500</u>		9	<u>205,300</u>	<u>254,500</u>	<u>281,500</u>	<u>307,900</u>	<u>338,000</u>	
10	<u>189,500</u>	<u>241,800</u>	<u>268,500</u>	<u>294,200</u>	<u>323,900</u>		10	<u>206,500</u>	<u>255,600</u>	<u>283,200</u>	<u>309,800</u>	<u>340,400</u>	
11	<u>191,000</u>	<u>242,900</u>	<u>270,300</u>	<u>296,200</u>	<u>326,200</u>		11	<u>207,700</u>	<u>256,700</u>	<u>285,000</u>	<u>311,800</u>	<u>342,700</u>	
12	<u>192,400</u>	<u>244,000</u>	<u>272,000</u>	<u>298,200</u>	<u>328,600</u>		12	<u>208,800</u>	<u>257,800</u>	<u>286,700</u>	<u>313,800</u>	<u>345,100</u>	
13	<u>193,800</u>	<u>245,100</u>	<u>273,700</u>	<u>300,200</u>	<u>330,900</u>		13	<u>209,900</u>	<u>258,900</u>	<u>288,400</u>	<u>315,800</u>	<u>347,400</u>	
14	<u>195,300</u>	<u>246,300</u>	<u>275,400</u>	<u>302,200</u>	<u>333,300</u>		14	<u>211,100</u>	<u>260,100</u>	<u>290,100</u>	<u>317,800</u>	<u>349,800</u>	
15	<u>196,800</u>	<u>247,600</u>	<u>277,200</u>	<u>304,200</u>	<u>335,600</u>		15	<u>212,300</u>	<u>261,400</u>	<u>291,900</u>	<u>319,800</u>	<u>352,100</u>	
16	<u>198,400</u>	<u>248,900</u>	<u>279,100</u>	<u>306,200</u>	<u>338,000</u>		16	<u>213,600</u>	<u>262,700</u>	<u>293,800</u>	<u>321,800</u>	<u>354,500</u>	
17	<u>200,000</u>	<u>250,300</u>	<u>281,000</u>	<u>308,100</u>	<u>340,300</u>		17	<u>215,000</u>	<u>264,100</u>	<u>295,700</u>	<u>323,700</u>	<u>356,800</u>	
18	<u>201,800</u>	<u>251,700</u>	<u>282,800</u>	<u>310,000</u>	<u>342,700</u>		18	<u>216,500</u>	<u>265,500</u>	<u>297,500</u>	<u>325,600</u>	<u>359,200</u>	
19	<u>203,700</u>	<u>253,100</u>	<u>284,700</u>	<u>312,000</u>	<u>345,100</u>		19	<u>218,100</u>	<u>266,900</u>	<u>299,400</u>	<u>327,600</u>	<u>361,600</u>	
20	<u>205,500</u>	<u>254,500</u>	<u>286,600</u>	<u>314,000</u>	<u>347,400</u>		20	<u>219,700</u>	<u>268,300</u>	<u>301,300</u>	<u>329,600</u>	<u>363,900</u>	
21	<u>207,300</u>	<u>256,000</u>	<u>288,500</u>	<u>316,000</u>	<u>349,700</u>		21	<u>221,300</u>	<u>269,800</u>	<u>303,200</u>	<u>331,600</u>	<u>366,200</u>	
22	<u>209,000</u>	<u>257,500</u>	<u>290,300</u>	<u>318,000</u>	<u>352,200</u>		22	<u>222,800</u>	<u>271,300</u>	<u>305,000</u>	<u>333,600</u>	<u>368,700</u>	
23	<u>210,800</u>	<u>259,000</u>	<u>292,200</u>	<u>319,900</u>	<u>354,600</u>		23	<u>224,300</u>	<u>272,800</u>	<u>306,900</u>	<u>335,500</u>	<u>371,100</u>	
24	<u>212,600</u>	<u>260,500</u>	<u>294,100</u>	<u>321,900</u>	<u>357,000</u>		24	<u>225,800</u>	<u>274,300</u>	<u>308,800</u>	<u>337,500</u>	<u>373,500</u>	
25	<u>214,200</u>	<u>262,000</u>	<u>296,000</u>	<u>323,900</u>	<u>359,300</u>		25	<u>227,200</u>	<u>275,800</u>	<u>310,700</u>	<u>339,500</u>	<u>375,800</u>	
26	<u>215,900</u>	<u>263,500</u>	<u>298,300</u>	<u>326,300</u>	<u>361,700</u>		26	<u>228,700</u>	<u>277,300</u>	<u>313,000</u>	<u>341,900</u>	<u>378,200</u>	
27	<u>217,700</u>	<u>265,000</u>	<u>300,700</u>	<u>328,800</u>	<u>364,100</u>		27	<u>230,200</u>	<u>278,800</u>	<u>315,400</u>	<u>344,400</u>	<u>380,600</u>	
28	<u>219,400</u>	<u>266,500</u>	<u>303,100</u>	<u>331,300</u>	<u>366,500</u>		28	<u>231,800</u>	<u>280,300</u>	<u>317,800</u>	<u>346,900</u>	<u>383,000</u>	
29	<u>221,100</u>	<u>268,100</u>	<u>305,500</u>	<u>333,800</u>	<u>369,100</u>		29	<u>233,100</u>	<u>281,900</u>	<u>320,200</u>	<u>349,400</u>	<u>385,600</u>	
30	<u>222,000</u>	<u>270,200</u>	<u>307,300</u>	<u>336,000</u>	<u>371,900</u>		30	<u>234,000</u>	<u>284,000</u>	<u>322,000</u>	<u>351,500</u>	<u>388,400</u>	
31	<u>222,800</u>	<u>272,300</u>	<u>309,000</u>	<u>338,100</u>	<u>374,700</u>		31	<u>234,800</u>	<u>286,100</u>	<u>323,700</u>	<u>353,600</u>	<u>391,200</u>	
32	<u>223,600</u>	<u>274,400</u>	<u>310,800</u>	<u>340,200</u>	<u>377,500</u>		32	<u>235,600</u>	<u>288,200</u>	<u>325,500</u>	<u>355,600</u>	<u>394,000</u>	
33	<u>224,500</u>	<u>276,500</u>	<u>312,700</u>	<u>342,300</u>	<u>380,300</u>		33	<u>236,500</u>	<u>290,300</u>	<u>327,400</u>	<u>357,600</u>	<u>396,800</u>	
34	<u>225,400</u>	<u>277,800</u>	<u>314,400</u>	<u>344,300</u>	<u>382,800</u>		34	<u>237,400</u>	<u>291,600</u>	<u>329,100</u>	<u>359,600</u>	<u>399,300</u>	

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		35	<u>226,300</u>	<u>279,200</u>	<u>316,200</u>	<u>346,300</u>	<u>385,100</u>			35	<u>238,300</u>	<u>293,000</u>	<u>330,800</u>	<u>361,600</u>	<u>401,500</u>
		36	<u>227,300</u>	<u>280,600</u>	<u>318,000</u>	<u>348,400</u>	<u>387,400</u>			36	<u>239,300</u>	<u>294,400</u>	<u>332,500</u>	<u>363,600</u>	<u>403,800</u>
		37	<u>228,200</u>	<u>282,100</u>	<u>319,900</u>	<u>350,500</u>	<u>389,800</u>			37	<u>240,200</u>	<u>295,900</u>	<u>334,300</u>	<u>365,600</u>	<u>406,100</u>
		38	<u>229,000</u>	<u>283,500</u>	<u>321,600</u>	<u>352,600</u>	<u>392,200</u>			38	<u>241,000</u>	<u>297,300</u>	<u>336,000</u>	<u>367,600</u>	<u>408,400</u>
		39	<u>229,900</u>	<u>284,800</u>	<u>323,400</u>	<u>354,600</u>	<u>394,500</u>			39	<u>241,900</u>	<u>298,600</u>	<u>337,700</u>	<u>369,500</u>	<u>410,700</u>
		40	<u>230,900</u>	<u>286,100</u>	<u>325,200</u>	<u>356,600</u>	<u>396,700</u>			40	<u>242,900</u>	<u>299,900</u>	<u>339,400</u>	<u>371,400</u>	<u>412,900</u>
		41	<u>231,900</u>	<u>287,500</u>	<u>327,000</u>	<u>358,600</u>	<u>398,900</u>			41	<u>243,900</u>	<u>301,300</u>	<u>341,100</u>	<u>373,300</u>	<u>415,000</u>
		42	<u>232,800</u>	<u>288,700</u>	<u>328,800</u>	<u>360,600</u>	<u>401,200</u>			42	<u>244,800</u>	<u>302,500</u>	<u>342,800</u>	<u>375,200</u>	<u>417,300</u>
		43	<u>233,800</u>	<u>290,100</u>	<u>330,600</u>	<u>362,600</u>	<u>403,400</u>			43	<u>245,800</u>	<u>303,800</u>	<u>344,500</u>	<u>377,100</u>	<u>419,400</u>
		44	<u>234,800</u>	<u>291,500</u>	<u>332,400</u>	<u>364,500</u>	<u>405,600</u>			44	<u>246,800</u>	<u>305,100</u>	<u>346,200</u>	<u>378,900</u>	<u>421,500</u>
		45	<u>235,700</u>	<u>292,900</u>	<u>334,100</u>	<u>366,400</u>	<u>407,700</u>			45	<u>247,700</u>	<u>306,500</u>	<u>347,800</u>	<u>380,700</u>	<u>423,600</u>
		46	<u>236,900</u>	<u>294,200</u>	<u>335,800</u>	<u>368,200</u>	<u>409,700</u>			46	<u>248,900</u>	<u>307,700</u>	<u>349,400</u>	<u>382,500</u>	<u>425,500</u>
		47	<u>238,100</u>	<u>295,600</u>	<u>337,500</u>	<u>370,100</u>	<u>411,700</u>			47	<u>250,100</u>	<u>309,000</u>	<u>351,000</u>	<u>384,300</u>	<u>427,400</u>
		48	<u>239,300</u>	<u>296,900</u>	<u>339,300</u>	<u>372,000</u>	<u>413,600</u>			48	<u>251,300</u>	<u>310,200</u>	<u>352,700</u>	<u>386,100</u>	<u>429,200</u>
		49	<u>240,700</u>	<u>298,300</u>	<u>341,100</u>	<u>373,900</u>	<u>415,500</u>			49	<u>252,700</u>	<u>311,500</u>	<u>354,400</u>	<u>387,900</u>	<u>431,000</u>
		50	<u>242,000</u>	<u>299,700</u>	<u>342,800</u>	<u>375,700</u>	<u>417,200</u>			50	<u>254,000</u>	<u>312,800</u>	<u>356,000</u>	<u>389,700</u>	<u>432,600</u>
		51	<u>243,200</u>	<u>301,000</u>	<u>344,500</u>	<u>377,600</u>	<u>418,800</u>			51	<u>255,200</u>	<u>314,000</u>	<u>357,600</u>	<u>391,600</u>	<u>434,100</u>
		52	<u>244,400</u>	<u>302,300</u>	<u>346,200</u>	<u>379,300</u>	<u>420,200</u>			52	<u>256,400</u>	<u>315,200</u>	<u>359,200</u>	<u>393,300</u>	<u>435,400</u>
		53	<u>245,600</u>	<u>303,600</u>	<u>348,000</u>	<u>381,000</u>	<u>421,600</u>			53	<u>257,600</u>	<u>316,400</u>	<u>360,900</u>	<u>395,000</u>	<u>436,700</u>
		54	<u>246,800</u>	<u>304,800</u>	<u>349,700</u>	<u>382,700</u>	<u>423,000</u>			54	<u>258,800</u>	<u>317,500</u>	<u>362,500</u>	<u>396,700</u>	<u>438,100</u>
		55	<u>247,800</u>	<u>306,100</u>	<u>351,400</u>	<u>384,400</u>	<u>424,300</u>			55	<u>259,800</u>	<u>318,700</u>	<u>364,200</u>	<u>398,400</u>	<u>439,300</u>
		56	<u>249,000</u>	<u>307,400</u>	<u>353,000</u>	<u>385,900</u>	<u>425,400</u>			56	<u>261,000</u>	<u>319,900</u>	<u>365,800</u>	<u>399,900</u>	<u>440,300</u>
		57	<u>250,100</u>	<u>308,700</u>	<u>354,600</u>	<u>387,400</u>	<u>426,500</u>			57	<u>262,100</u>	<u>321,100</u>	<u>367,300</u>	<u>401,400</u>	<u>441,400</u>
		58	<u>251,300</u>	<u>310,000</u>	<u>356,200</u>	<u>388,900</u>	<u>427,600</u>			58	<u>263,300</u>	<u>322,300</u>	<u>368,900</u>	<u>402,900</u>	<u>442,500</u>
		59	<u>252,400</u>	<u>311,200</u>	<u>357,800</u>	<u>390,400</u>	<u>428,700</u>			59	<u>264,400</u>	<u>323,400</u>	<u>370,400</u>	<u>404,400</u>	<u>443,500</u>
		60	<u>253,500</u>	<u>312,500</u>	<u>359,400</u>	<u>391,900</u>	<u>429,600</u>			60	<u>265,400</u>	<u>324,600</u>	<u>371,900</u>	<u>405,900</u>	<u>444,400</u>
		61	<u>254,600</u>	<u>313,800</u>	<u>361,000</u>	<u>393,300</u>	<u>430,500</u>			61	<u>266,400</u>	<u>325,800</u>	<u>373,500</u>	<u>407,300</u>	<u>445,200</u>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		62	<u>255,800</u>	<u>315,100</u>	<u>362,600</u>	<u>394,600</u>	<u>431,400</u>			62	<u>267,600</u>	<u>327,000</u>	<u>375,100</u>	<u>408,600</u>	<u>446,000</u>
		63	<u>256,900</u>	<u>316,400</u>	<u>364,100</u>	<u>395,900</u>	<u>432,200</u>			63	<u>268,600</u>	<u>328,200</u>	<u>376,600</u>	<u>409,900</u>	<u>446,800</u>
		64	<u>258,000</u>	<u>317,700</u>	<u>365,600</u>	<u>397,100</u>	<u>433,000</u>			64	<u>269,600</u>	<u>329,400</u>	<u>378,100</u>	<u>411,100</u>	<u>447,600</u>
		65	<u>259,100</u>	<u>318,900</u>	<u>367,100</u>	<u>398,200</u>	<u>433,800</u>			65	<u>270,700</u>	<u>330,500</u>	<u>379,600</u>	<u>412,200</u>	<u>448,300</u>
		66	<u>260,300</u>	<u>320,200</u>	<u>368,600</u>	<u>399,200</u>	<u>434,500</u>			66	<u>271,900</u>	<u>331,700</u>	<u>381,100</u>	<u>413,200</u>	<u>449,000</u>
		67	<u>261,400</u>	<u>321,500</u>	<u>370,100</u>	<u>400,200</u>	<u>435,300</u>			67	<u>272,900</u>	<u>332,900</u>	<u>382,600</u>	<u>414,200</u>	<u>449,800</u>
		68	<u>262,500</u>	<u>322,800</u>	<u>371,500</u>	<u>401,200</u>	<u>436,000</u>			68	<u>274,000</u>	<u>334,100</u>	<u>384,000</u>	<u>415,200</u>	<u>450,500</u>
		69	<u>263,600</u>	<u>324,000</u>	<u>372,900</u>	<u>402,200</u>	<u>436,600</u>			69	<u>275,000</u>	<u>335,200</u>	<u>385,400</u>	<u>416,200</u>	<u>451,100</u>
		70	<u>264,700</u>	<u>325,300</u>	<u>374,200</u>	<u>403,000</u>	<u>437,300</u>			70	<u>276,100</u>	<u>336,400</u>	<u>386,700</u>	<u>417,000</u>	<u>451,800</u>
		71	<u>265,800</u>	<u>326,600</u>	<u>375,500</u>	<u>403,900</u>	<u>437,900</u>			71	<u>277,100</u>	<u>337,600</u>	<u>388,000</u>	<u>417,900</u>	<u>452,400</u>
		72	<u>266,900</u>	<u>327,800</u>	<u>376,700</u>	<u>404,700</u>	<u>438,500</u>			72	<u>278,200</u>	<u>338,700</u>	<u>389,200</u>	<u>418,700</u>	<u>453,000</u>
		73	<u>268,100</u>	<u>329,100</u>	<u>377,800</u>	<u>405,500</u>	<u>439,000</u>			73	<u>279,300</u>	<u>339,900</u>	<u>390,300</u>	<u>419,500</u>	<u>453,500</u>
		74	<u>269,300</u>	<u>330,300</u>	<u>378,800</u>	<u>406,200</u>	<u>439,500</u>			74	<u>280,500</u>	<u>341,000</u>	<u>391,300</u>	<u>420,200</u>	<u>454,000</u>
		75	<u>270,300</u>	<u>331,500</u>	<u>379,800</u>	<u>406,900</u>	<u>440,000</u>			75	<u>281,500</u>	<u>342,100</u>	<u>392,300</u>	<u>420,900</u>	<u>454,500</u>
		76	<u>271,500</u>	<u>332,600</u>	<u>380,700</u>	<u>407,600</u>	<u>440,600</u>			76	<u>282,600</u>	<u>343,100</u>	<u>393,200</u>	<u>421,600</u>	<u>455,100</u>
		77	<u>272,600</u>	<u>333,700</u>	<u>381,700</u>	<u>408,300</u>	<u>441,200</u>			77	<u>283,600</u>	<u>344,100</u>	<u>394,200</u>	<u>422,300</u>	<u>455,700</u>
		78	<u>273,800</u>	<u>334,800</u>	<u>382,600</u>	<u>408,900</u>	<u>441,800</u>			78	<u>284,800</u>	<u>345,100</u>	<u>395,100</u>	<u>422,900</u>	<u>456,300</u>
		79	<u>275,000</u>	<u>335,800</u>	<u>383,500</u>	<u>409,600</u>	<u>442,400</u>			79	<u>285,900</u>	<u>346,000</u>	<u>396,000</u>	<u>423,600</u>	<u>456,900</u>
		80	<u>276,100</u>	<u>336,800</u>	<u>384,200</u>	<u>410,200</u>	<u>442,800</u>			80	<u>286,900</u>	<u>346,900</u>	<u>396,700</u>	<u>424,200</u>	<u>457,300</u>
		81	<u>277,100</u>	<u>337,600</u>	<u>385,000</u>	<u>410,800</u>	<u>443,300</u>			81	<u>287,800</u>	<u>347,600</u>	<u>397,500</u>	<u>424,800</u>	<u>457,800</u>
		82	<u>278,200</u>	<u>338,500</u>	<u>385,800</u>	<u>411,300</u>	<u>443,800</u>			82	<u>288,800</u>	<u>348,400</u>	<u>398,300</u>	<u>425,300</u>	<u>458,300</u>
		83	<u>279,200</u>	<u>339,300</u>	<u>386,500</u>	<u>411,800</u>	<u>444,300</u>			83	<u>289,800</u>	<u>349,100</u>	<u>399,000</u>	<u>425,800</u>	<u>458,800</u>
		84	<u>280,300</u>	<u>340,100</u>	<u>387,100</u>	<u>412,300</u>	<u>444,800</u>			84	<u>290,800</u>	<u>349,800</u>	<u>399,600</u>	<u>426,300</u>	<u>459,300</u>
		85	<u>281,600</u>	<u>340,700</u>	<u>387,800</u>	<u>412,800</u>	<u>445,300</u>			85	<u>292,000</u>	<u>350,300</u>	<u>400,300</u>	<u>426,800</u>	<u>459,800</u>
		86	<u>282,700</u>	<u>341,400</u>	<u>388,400</u>	<u>413,200</u>	<u>445,800</u>			86	<u>293,100</u>	<u>350,900</u>	<u>400,900</u>	<u>427,200</u>	<u>460,300</u>
		87	<u>283,800</u>	<u>342,000</u>	<u>389,000</u>	<u>413,700</u>	<u>446,200</u>			87	<u>294,100</u>	<u>351,500</u>	<u>401,500</u>	<u>427,700</u>	<u>460,700</u>
		88	<u>284,900</u>	<u>342,600</u>	<u>389,500</u>	<u>414,200</u>	<u>446,700</u>			88	<u>295,100</u>	<u>352,000</u>	<u>402,000</u>	<u>428,200</u>	<u>461,200</u>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		89	<u>286, 100</u>	<u>343, 200</u>	<u>390, 000</u>	<u>414, 600</u>	<u>447, 200</u>			89	<u>296, 200</u>	<u>352, 600</u>	<u>402, 500</u>	<u>428, 600</u>	<u>461, 700</u>
		90	<u>287, 300</u>	<u>343, 800</u>	<u>390, 500</u>	<u>415, 100</u>	<u>447, 700</u>			90	<u>297, 300</u>	<u>353, 200</u>	<u>403, 000</u>	<u>429, 100</u>	<u>462, 200</u>
		91	<u>288, 300</u>	<u>344, 400</u>	<u>391, 000</u>	<u>415, 600</u>	<u>448, 200</u>			91	<u>298, 200</u>	<u>353, 800</u>	<u>403, 500</u>	<u>429, 600</u>	<u>462, 700</u>
		92	<u>289, 400</u>	<u>344, 900</u>	<u>391, 500</u>	<u>416, 000</u>	<u>448, 700</u>			92	<u>299, 300</u>	<u>354, 300</u>	<u>404, 000</u>	<u>430, 000</u>	<u>463, 200</u>
		93	<u>290, 600</u>	<u>345, 400</u>	<u>392, 000</u>	<u>416, 400</u>	<u>449, 100</u>			93	<u>300, 400</u>	<u>354, 800</u>	<u>404, 500</u>	<u>430, 400</u>	<u>463, 600</u>
		94	<u>291, 800</u>	<u>345, 900</u>	<u>392, 500</u>	<u>416, 900</u>	<u>449, 600</u>			94	<u>301, 500</u>	<u>355, 300</u>	<u>405, 000</u>	<u>430, 900</u>	<u>464, 100</u>
		95	<u>292, 900</u>	<u>346, 400</u>	<u>393, 000</u>	<u>417, 400</u>	<u>450, 100</u>			95	<u>302, 500</u>	<u>355, 800</u>	<u>405, 500</u>	<u>431, 400</u>	<u>464, 600</u>
		96	<u>294, 000</u>	<u>346, 900</u>	<u>393, 500</u>	<u>417, 800</u>	<u>450, 600</u>			96	<u>303, 500</u>	<u>356, 300</u>	<u>406, 000</u>	<u>431, 800</u>	<u>465, 100</u>
		97	<u>295, 100</u>	<u>347, 400</u>	<u>393, 900</u>	<u>418, 200</u>	<u>451, 100</u>			97	<u>304, 500</u>	<u>356, 800</u>	<u>406, 400</u>	<u>432, 200</u>	<u>465, 600</u>
		98	<u>296, 300</u>	<u>347, 800</u>	<u>394, 300</u>	<u>418, 600</u>	<u>451, 600</u>			98	<u>305, 600</u>	<u>357, 200</u>	<u>406, 800</u>	<u>432, 600</u>	<u>466, 100</u>
		99	<u>297, 500</u>	<u>348, 300</u>	<u>394, 800</u>	<u>419, 000</u>	<u>452, 100</u>			99	<u>306, 700</u>	<u>357, 700</u>	<u>407, 300</u>	<u>433, 000</u>	<u>466, 600</u>
		100	<u>298, 600</u>	<u>348, 800</u>	<u>395, 300</u>	<u>419, 400</u>	<u>452, 600</u>			100	<u>307, 700</u>	<u>358, 200</u>	<u>407, 800</u>	<u>433, 400</u>	<u>467, 100</u>
		101	<u>299, 600</u>	<u>349, 300</u>	<u>395, 800</u>	<u>419, 800</u>	<u>453, 100</u>			101	<u>308, 600</u>	<u>358, 700</u>	<u>408, 300</u>	<u>433, 800</u>	<u>467, 600</u>
		102	<u>300, 700</u>	<u>349, 700</u>	<u>396, 300</u>	<u>420, 200</u>	<u>453, 600</u>			102	<u>309, 600</u>	<u>359, 100</u>	<u>408, 800</u>	<u>434, 200</u>	<u>468, 100</u>
		103	<u>301, 800</u>	<u>350, 200</u>	<u>396, 800</u>	<u>420, 600</u>	<u>454, 100</u>			103	<u>310, 600</u>	<u>359, 600</u>	<u>409, 300</u>	<u>434, 600</u>	<u>468, 600</u>
		104	<u>302, 800</u>	<u>350, 700</u>	<u>397, 200</u>	<u>421, 000</u>	<u>454, 600</u>			104	<u>311, 500</u>	<u>360, 100</u>	<u>409, 700</u>	<u>435, 000</u>	<u>469, 100</u>
		105	<u>303, 700</u>	<u>351, 200</u>	<u>397, 600</u>	<u>421, 400</u>	<u>455, 100</u>			105	<u>312, 400</u>	<u>360, 600</u>	<u>410, 100</u>	<u>435, 400</u>	<u>469, 600</u>
		106	<u>304, 700</u>	<u>351, 600</u>	<u>398, 000</u>	<u>421, 800</u>	<u>455, 600</u>			106	<u>313, 300</u>	<u>361, 000</u>	<u>410, 500</u>	<u>435, 800</u>	<u>470, 100</u>
		107	<u>305, 600</u>	<u>352, 000</u>	<u>398, 400</u>	<u>422, 200</u>	<u>456, 100</u>			107	<u>314, 200</u>	<u>361, 400</u>	<u>410, 900</u>	<u>436, 200</u>	<u>470, 600</u>
		108	<u>306, 500</u>	<u>352, 400</u>	<u>398, 800</u>	<u>422, 600</u>	<u>456, 600</u>			108	<u>315, 100</u>	<u>361, 800</u>	<u>411, 300</u>	<u>436, 600</u>	<u>471, 100</u>
		109	<u>307, 400</u>	<u>352, 800</u>	<u>399, 200</u>	<u>423, 000</u>	<u>457, 100</u>			109	<u>315, 900</u>	<u>362, 200</u>	<u>411, 700</u>	<u>437, 000</u>	<u>471, 600</u>
		110	<u>308, 200</u>	<u>353, 200</u>	<u>399, 600</u>	<u>423, 400</u>				110	<u>316, 700</u>	<u>362, 600</u>	<u>412, 100</u>	<u>437, 400</u>	
		111	<u>309, 000</u>	<u>353, 600</u>	<u>400, 000</u>	<u>423, 800</u>				111	<u>317, 400</u>	<u>363, 000</u>	<u>412, 500</u>	<u>437, 800</u>	
		112	<u>309, 800</u>	<u>354, 000</u>	<u>400, 400</u>	<u>424, 200</u>				112	<u>318, 100</u>	<u>363, 400</u>	<u>412, 900</u>	<u>438, 200</u>	
		113	<u>310, 400</u>	<u>354, 400</u>	<u>400, 800</u>	<u>424, 600</u>				113	<u>318, 700</u>	<u>363, 800</u>	<u>413, 300</u>	<u>438, 600</u>	
		114	<u>311, 100</u>	<u>354, 800</u>	<u>401, 200</u>	<u>425, 000</u>				114	<u>319, 400</u>	<u>364, 200</u>	<u>413, 700</u>	<u>439, 000</u>	
		115	<u>311, 700</u>	<u>355, 200</u>	<u>401, 600</u>	<u>425, 400</u>				115	<u>320, 000</u>	<u>364, 600</u>	<u>414, 100</u>	<u>439, 400</u>	

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		116	<u>312, 300</u>	<u>355, 600</u>	<u>402, 000</u>	<u>425, 800</u>				116	<u>320, 600</u>	<u>365, 000</u>	<u>414, 500</u>	<u>439, 800</u>	
		117	<u>312, 800</u>	<u>356, 000</u>	<u>402, 400</u>	<u>426, 200</u>				117	<u>321, 100</u>	<u>365, 400</u>	<u>414, 900</u>	<u>440, 200</u>	
		118	<u>313, 300</u>		<u>402, 800</u>					118	<u>321, 600</u>		<u>415, 300</u>		
		119	<u>313, 700</u>		<u>403, 200</u>					119	<u>322, 000</u>		<u>415, 700</u>		
		120	<u>314, 100</u>		<u>403, 600</u>					120	<u>322, 400</u>		<u>416, 100</u>		
		121	<u>314, 400</u>		<u>404, 000</u>					121	<u>322, 700</u>		<u>416, 500</u>		
		122	<u>314, 800</u>		<u>404, 400</u>					122	<u>323, 100</u>		<u>416, 900</u>		
		123	<u>315, 200</u>		<u>404, 800</u>					123	<u>323, 500</u>		<u>417, 300</u>		
		124	<u>315, 600</u>		<u>405, 200</u>					124	<u>323, 900</u>		<u>417, 700</u>		
		125	<u>316, 000</u>		<u>405, 600</u>					125	<u>324, 300</u>		<u>418, 100</u>		
		126	<u>316, 300</u>		<u>406, 000</u>					126	<u>324, 600</u>		<u>418, 500</u>		
		127	<u>316, 700</u>		<u>406, 400</u>					127	<u>325, 000</u>		<u>418, 900</u>		
		128	<u>317, 100</u>		<u>406, 800</u>					128	<u>325, 400</u>		<u>419, 300</u>		
		129	<u>317, 500</u>		<u>407, 200</u>					129	<u>325, 800</u>		<u>419, 700</u>		
		130	<u>317, 900</u>		<u>407, 600</u>					130	<u>326, 200</u>		<u>420, 100</u>		
		131	<u>318, 300</u>		<u>408, 000</u>					131	<u>326, 600</u>		<u>420, 500</u>		
		132	<u>318, 700</u>		<u>408, 400</u>					132	<u>327, 000</u>		<u>420, 900</u>		
		133	<u>319, 000</u>		<u>408, 800</u>					133	<u>327, 300</u>		<u>421, 300</u>		
		134	<u>319, 400</u>							134	<u>327, 700</u>				
		135	<u>319, 700</u>							135	<u>328, 000</u>				
		136	<u>320, 000</u>							136	<u>328, 300</u>				
		137	<u>320, 300</u>							137	<u>328, 600</u>				
		138	<u>320, 600</u>							138	<u>328, 900</u>				
		139	<u>320, 900</u>							139	<u>329, 200</u>				
		140	<u>321, 200</u>							140	<u>329, 500</u>				
		141	<u>321, 500</u>							141	<u>329, 800</u>				
		142	<u>321, 800</u>							142	<u>330, 100</u>				

改正前								第1条による改正案（公布の日施行）							
		143	<u>322, 100</u>							143	<u>330, 400</u>				
		144	<u>322, 400</u>							144	<u>330, 700</u>				
		145	<u>322, 700</u>							145	<u>331, 000</u>				
定年前 再任用 短時間 勤務職 員			基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額		定年前 再任用 短時間 勤務職 員		基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額
			円	円	円	円	円				円	円	円	円	円
			<u>203, 000</u>	<u>237, 200</u>	<u>273, 800</u>	<u>291, 700</u>	<u>316, 600</u>				<u>212, 300</u>	<u>248, 000</u>	<u>286, 300</u>	<u>305, 700</u>	<u>331, 100</u>
備考 この表は、保健所等に勤務する栄養士、歯科衛生士その他の職員で人事委員会が定めるものに適用する。								備考 この表は、保健所等に勤務する栄養士、歯科衛生士その他の職員で人事委員会が定めるものに適用する。							
ウ 医療職給料表（三）								ウ 医療職給料表（三）							
職員の 区分	職務の 級		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	職員の 区分	職務の 級		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級
		号給	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額			号給	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
定年前 再任用 短時間 勤務職 員以外 の職員			円	円	円	円	円	定年前 再任用 短時間 勤務職 員以外 の職員			円	円	円	円	円
	1		<u>189, 800</u>	<u>237, 000</u>	<u>255, 700</u>	<u>277, 500</u>	<u>303, 500</u>		1		<u>208, 100</u>	<u>250, 800</u>	<u>270, 400</u>	<u>293, 100</u>	<u>320, 000</u>
	2		<u>191, 300</u>	<u>237, 600</u>	<u>257, 000</u>	<u>279, 300</u>	<u>305, 700</u>		2		<u>209, 400</u>	<u>251, 400</u>	<u>271, 700</u>	<u>294, 900</u>	<u>322, 200</u>
	3		<u>192, 800</u>	<u>238, 200</u>	<u>258, 300</u>	<u>281, 100</u>	<u>307, 900</u>		3		<u>210, 600</u>	<u>252, 000</u>	<u>273, 000</u>	<u>296, 700</u>	<u>324, 400</u>
	4		<u>194, 300</u>	<u>238, 800</u>	<u>259, 600</u>	<u>282, 800</u>	<u>310, 100</u>		4		<u>211, 800</u>	<u>252, 600</u>	<u>274, 300</u>	<u>298, 400</u>	<u>326, 600</u>
	5		<u>195, 800</u>	<u>239, 600</u>	<u>261, 000</u>	<u>284, 500</u>	<u>312, 400</u>		5		<u>213, 000</u>	<u>253, 400</u>	<u>275, 700</u>	<u>300, 100</u>	<u>328, 900</u>
	6		<u>197, 300</u>	<u>240, 300</u>	<u>262, 500</u>	<u>286, 400</u>	<u>314, 600</u>		6		<u>214, 300</u>	<u>254, 100</u>	<u>277, 200</u>	<u>302, 000</u>	<u>331, 100</u>
	7		<u>198, 900</u>	<u>241, 000</u>	<u>264, 100</u>	<u>288, 300</u>	<u>316, 900</u>		7		<u>215, 600</u>	<u>254, 800</u>	<u>278, 800</u>	<u>303, 900</u>	<u>333, 400</u>
	8		<u>200, 400</u>	<u>241, 800</u>	<u>265, 700</u>	<u>290, 300</u>	<u>319, 200</u>		8		<u>216, 800</u>	<u>255, 600</u>	<u>280, 400</u>	<u>305, 900</u>	<u>335, 700</u>
	9		<u>201, 900</u>	<u>242, 600</u>	<u>267, 400</u>	<u>292, 300</u>	<u>321, 500</u>		9		<u>218, 000</u>	<u>256, 400</u>	<u>282, 100</u>	<u>307, 900</u>	<u>338, 000</u>
	10		<u>203, 500</u>	<u>243, 400</u>	<u>269, 100</u>	<u>294, 300</u>	<u>323, 900</u>		10		<u>219, 300</u>	<u>257, 200</u>	<u>283, 800</u>	<u>309, 900</u>	<u>340, 400</u>
	11		<u>205, 100</u>	<u>244, 300</u>	<u>270, 900</u>	<u>296, 300</u>	<u>326, 200</u>		11		<u>220, 600</u>	<u>258, 100</u>	<u>285, 600</u>	<u>311, 900</u>	<u>342, 700</u>
	12		<u>206, 700</u>	<u>245, 200</u>	<u>272, 600</u>	<u>298, 400</u>	<u>328, 600</u>		12		<u>221, 900</u>	<u>259, 000</u>	<u>287, 300</u>	<u>314, 000</u>	<u>345, 100</u>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）								
		13	<u>208, 200</u>	<u>246, 200</u>	<u>274, 300</u>	<u>300, 200</u>	<u>330, 900</u>				13	<u>223, 200</u>	<u>260, 000</u>	<u>289, 000</u>	<u>315, 800</u>	<u>347, 400</u>
		14	<u>209, 700</u>	<u>247, 400</u>	<u>276, 000</u>	<u>302, 400</u>	<u>333, 300</u>				14	<u>224, 400</u>	<u>261, 200</u>	<u>290, 700</u>	<u>318, 000</u>	<u>349, 800</u>
		15	<u>211, 300</u>	<u>248, 600</u>	<u>277, 700</u>	<u>304, 500</u>	<u>335, 600</u>				15	<u>225, 700</u>	<u>262, 400</u>	<u>292, 400</u>	<u>320, 100</u>	<u>352, 100</u>
		16	<u>212, 700</u>	<u>249, 900</u>	<u>279, 600</u>	<u>306, 400</u>	<u>338, 000</u>				16	<u>226, 900</u>	<u>263, 700</u>	<u>294, 300</u>	<u>322, 000</u>	<u>354, 500</u>
		17	<u>214, 100</u>	<u>251, 300</u>	<u>281, 500</u>	<u>308, 200</u>	<u>340, 300</u>				17	<u>228, 100</u>	<u>265, 100</u>	<u>296, 200</u>	<u>323, 800</u>	<u>356, 800</u>
		18	<u>215, 400</u>	<u>252, 700</u>	<u>283, 300</u>	<u>310, 300</u>	<u>342, 700</u>				18	<u>229, 200</u>	<u>266, 500</u>	<u>298, 000</u>	<u>325, 900</u>	<u>359, 200</u>
		19	<u>216, 800</u>	<u>254, 100</u>	<u>285, 200</u>	<u>312, 200</u>	<u>345, 100</u>				19	<u>230, 300</u>	<u>267, 900</u>	<u>299, 900</u>	<u>327, 800</u>	<u>361, 600</u>
		20	<u>218, 200</u>	<u>255, 400</u>	<u>287, 000</u>	<u>314, 000</u>	<u>347, 400</u>				20	<u>231, 400</u>	<u>269, 200</u>	<u>301, 700</u>	<u>329, 600</u>	<u>363, 900</u>
		21	<u>219, 500</u>	<u>256, 800</u>	<u>288, 800</u>	<u>316, 200</u>	<u>349, 700</u>				21	<u>232, 500</u>	<u>270, 600</u>	<u>303, 500</u>	<u>331, 800</u>	<u>366, 200</u>
		22	<u>221, 300</u>	<u>258, 200</u>	<u>290, 600</u>	<u>318, 300</u>	<u>352, 200</u>				22	<u>234, 100</u>	<u>272, 000</u>	<u>305, 300</u>	<u>333, 900</u>	<u>368, 700</u>
		23	<u>223, 100</u>	<u>259, 600</u>	<u>292, 500</u>	<u>320, 400</u>	<u>354, 600</u>				23	<u>235, 600</u>	<u>273, 400</u>	<u>307, 200</u>	<u>336, 000</u>	<u>371, 100</u>
		24	<u>224, 700</u>	<u>261, 100</u>	<u>294, 400</u>	<u>322, 500</u>	<u>357, 000</u>				24	<u>237, 100</u>	<u>274, 900</u>	<u>309, 100</u>	<u>338, 100</u>	<u>373, 500</u>
		25	<u>226, 300</u>	<u>262, 600</u>	<u>296, 300</u>	<u>324, 500</u>	<u>359, 300</u>				25	<u>238, 300</u>	<u>276, 400</u>	<u>311, 000</u>	<u>340, 100</u>	<u>375, 800</u>
		26	<u>226, 900</u>	<u>264, 100</u>	<u>298, 600</u>	<u>326, 900</u>	<u>361, 700</u>				26	<u>238, 900</u>	<u>277, 900</u>	<u>313, 300</u>	<u>342, 500</u>	<u>378, 200</u>
		27	<u>227, 600</u>	<u>265, 600</u>	<u>301, 000</u>	<u>329, 400</u>	<u>364, 100</u>				27	<u>239, 600</u>	<u>279, 400</u>	<u>315, 700</u>	<u>345, 000</u>	<u>380, 600</u>
		28	<u>228, 200</u>	<u>267, 000</u>	<u>303, 400</u>	<u>331, 900</u>	<u>366, 500</u>				28	<u>240, 200</u>	<u>280, 800</u>	<u>318, 100</u>	<u>347, 500</u>	<u>383, 000</u>
		29	<u>228, 700</u>	<u>268, 500</u>	<u>305, 800</u>	<u>334, 400</u>	<u>369, 100</u>				29	<u>240, 700</u>	<u>282, 300</u>	<u>320, 500</u>	<u>350, 000</u>	<u>385, 600</u>
		30	<u>229, 200</u>	<u>270, 700</u>	<u>307, 600</u>	<u>336, 500</u>	<u>371, 900</u>				30	<u>241, 200</u>	<u>284, 500</u>	<u>322, 300</u>	<u>352, 000</u>	<u>388, 400</u>
		31	<u>229, 700</u>	<u>272, 900</u>	<u>309, 300</u>	<u>338, 500</u>	<u>374, 700</u>				31	<u>241, 700</u>	<u>286, 700</u>	<u>324, 000</u>	<u>354, 000</u>	<u>391, 200</u>
		32	<u>230, 400</u>	<u>275, 000</u>	<u>311, 100</u>	<u>340, 600</u>	<u>377, 500</u>				32	<u>242, 400</u>	<u>288, 800</u>	<u>325, 800</u>	<u>356, 000</u>	<u>394, 000</u>
		33	<u>231, 100</u>	<u>276, 800</u>	<u>312, 900</u>	<u>342, 700</u>	<u>380, 300</u>				33	<u>243, 100</u>	<u>290, 600</u>	<u>327, 600</u>	<u>358, 000</u>	<u>396, 800</u>
		34	<u>231, 600</u>	<u>278, 200</u>	<u>314, 700</u>	<u>344, 700</u>	<u>382, 800</u>				34	<u>243, 600</u>	<u>292, 000</u>	<u>329, 400</u>	<u>360, 000</u>	<u>399, 300</u>
		35	<u>232, 100</u>	<u>279, 800</u>	<u>316, 400</u>	<u>346, 700</u>	<u>385, 100</u>				35	<u>244, 100</u>	<u>293, 600</u>	<u>331, 000</u>	<u>362, 000</u>	<u>401, 500</u>
		36	<u>232, 700</u>	<u>281, 400</u>	<u>318, 100</u>	<u>348, 800</u>	<u>387, 400</u>				36	<u>244, 700</u>	<u>295, 200</u>	<u>332, 600</u>	<u>364, 000</u>	<u>403, 800</u>
		37	<u>233, 500</u>	<u>282, 900</u>	<u>320, 000</u>	<u>350, 800</u>	<u>389, 800</u>				37	<u>245, 500</u>	<u>296, 700</u>	<u>334, 400</u>	<u>365, 900</u>	<u>406, 100</u>
		38	<u>234, 200</u>	<u>284, 300</u>	<u>321, 600</u>	<u>352, 800</u>	<u>392, 200</u>				38	<u>246, 200</u>	<u>298, 100</u>	<u>336, 000</u>	<u>367, 800</u>	<u>408, 400</u>
		39	<u>234, 900</u>	<u>285, 600</u>	<u>323, 400</u>	<u>354, 800</u>	<u>394, 500</u>				39	<u>246, 900</u>	<u>299, 400</u>	<u>337, 700</u>	<u>369, 700</u>	<u>410, 700</u>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		40	<u>235,700</u>	<u>286,900</u>	<u>325,300</u>	<u>356,800</u>	<u>396,700</u>			40	<u>247,700</u>	<u>300,700</u>	<u>339,500</u>	<u>371,600</u>	<u>412,900</u>
		41	<u>236,700</u>	<u>288,100</u>	<u>327,100</u>	<u>358,800</u>	<u>398,900</u>			41	<u>248,700</u>	<u>301,900</u>	<u>341,200</u>	<u>373,500</u>	<u>415,000</u>
		42	<u>237,700</u>	<u>289,400</u>	<u>328,800</u>	<u>360,800</u>	<u>401,200</u>			42	<u>249,700</u>	<u>303,200</u>	<u>342,800</u>	<u>375,400</u>	<u>417,300</u>
		43	<u>238,700</u>	<u>290,700</u>	<u>330,600</u>	<u>362,700</u>	<u>403,400</u>			43	<u>250,700</u>	<u>304,400</u>	<u>344,500</u>	<u>377,200</u>	<u>419,400</u>
		44	<u>239,900</u>	<u>292,100</u>	<u>332,400</u>	<u>364,500</u>	<u>405,600</u>			44	<u>251,900</u>	<u>305,700</u>	<u>346,200</u>	<u>378,900</u>	<u>421,500</u>
		45	<u>241,100</u>	<u>293,300</u>	<u>334,200</u>	<u>366,400</u>	<u>407,700</u>			45	<u>253,100</u>	<u>306,900</u>	<u>347,900</u>	<u>380,700</u>	<u>423,600</u>
		46	<u>242,500</u>	<u>294,600</u>	<u>335,800</u>	<u>368,200</u>	<u>409,700</u>			46	<u>254,500</u>	<u>308,100</u>	<u>349,400</u>	<u>382,500</u>	<u>425,500</u>
		47	<u>243,900</u>	<u>295,900</u>	<u>337,500</u>	<u>370,100</u>	<u>411,700</u>			47	<u>255,900</u>	<u>309,300</u>	<u>351,000</u>	<u>384,300</u>	<u>427,400</u>
		48	<u>245,200</u>	<u>297,100</u>	<u>339,300</u>	<u>372,000</u>	<u>413,600</u>			48	<u>257,200</u>	<u>310,400</u>	<u>352,700</u>	<u>386,100</u>	<u>429,200</u>
		49	<u>246,300</u>	<u>298,500</u>	<u>341,100</u>	<u>373,900</u>	<u>415,500</u>			49	<u>258,300</u>	<u>311,700</u>	<u>354,400</u>	<u>387,900</u>	<u>431,000</u>
		50	<u>247,600</u>	<u>299,800</u>	<u>342,800</u>	<u>375,700</u>	<u>417,200</u>			50	<u>259,600</u>	<u>312,900</u>	<u>356,000</u>	<u>389,700</u>	<u>432,600</u>
		51	<u>248,600</u>	<u>301,100</u>	<u>344,500</u>	<u>377,600</u>	<u>418,800</u>			51	<u>260,600</u>	<u>314,100</u>	<u>357,600</u>	<u>391,600</u>	<u>434,100</u>
		52	<u>249,800</u>	<u>302,400</u>	<u>346,200</u>	<u>379,300</u>	<u>420,200</u>			52	<u>261,800</u>	<u>315,300</u>	<u>359,200</u>	<u>393,300</u>	<u>435,400</u>
		53	<u>250,800</u>	<u>303,600</u>	<u>348,000</u>	<u>381,000</u>	<u>421,600</u>			53	<u>262,800</u>	<u>316,400</u>	<u>360,900</u>	<u>395,000</u>	<u>436,700</u>
		54	<u>252,100</u>	<u>304,900</u>	<u>349,700</u>	<u>382,700</u>	<u>423,000</u>			54	<u>264,100</u>	<u>317,600</u>	<u>362,500</u>	<u>396,700</u>	<u>438,100</u>
		55	<u>253,300</u>	<u>306,100</u>	<u>351,400</u>	<u>384,400</u>	<u>424,300</u>			55	<u>265,300</u>	<u>318,700</u>	<u>364,200</u>	<u>398,400</u>	<u>439,300</u>
		56	<u>254,300</u>	<u>307,400</u>	<u>353,000</u>	<u>385,900</u>	<u>425,400</u>			56	<u>266,200</u>	<u>319,900</u>	<u>365,800</u>	<u>399,900</u>	<u>440,300</u>
		57	<u>255,300</u>	<u>308,700</u>	<u>354,600</u>	<u>387,400</u>	<u>426,500</u>			57	<u>267,100</u>	<u>321,100</u>	<u>367,300</u>	<u>401,400</u>	<u>441,400</u>
		58	<u>256,600</u>	<u>310,000</u>	<u>356,200</u>	<u>388,900</u>	<u>427,600</u>			58	<u>268,400</u>	<u>322,300</u>	<u>368,900</u>	<u>402,900</u>	<u>442,500</u>
		59	<u>257,800</u>	<u>311,200</u>	<u>357,800</u>	<u>390,400</u>	<u>428,700</u>			59	<u>269,500</u>	<u>323,400</u>	<u>370,400</u>	<u>404,400</u>	<u>443,500</u>
		60	<u>258,800</u>	<u>312,500</u>	<u>359,400</u>	<u>391,900</u>	<u>429,600</u>			60	<u>270,400</u>	<u>324,600</u>	<u>371,900</u>	<u>405,900</u>	<u>444,400</u>
		61	<u>259,800</u>	<u>313,800</u>	<u>361,000</u>	<u>393,300</u>	<u>430,500</u>			61	<u>271,400</u>	<u>325,800</u>	<u>373,500</u>	<u>407,300</u>	<u>445,200</u>
		62	<u>260,900</u>	<u>315,100</u>	<u>362,600</u>	<u>394,600</u>	<u>431,400</u>			62	<u>272,500</u>	<u>327,000</u>	<u>375,100</u>	<u>408,600</u>	<u>446,000</u>
		63	<u>262,000</u>	<u>316,400</u>	<u>364,100</u>	<u>395,900</u>	<u>432,200</u>			63	<u>273,500</u>	<u>328,200</u>	<u>376,600</u>	<u>409,900</u>	<u>446,800</u>
		64	<u>263,100</u>	<u>317,700</u>	<u>365,600</u>	<u>397,100</u>	<u>433,000</u>			64	<u>274,600</u>	<u>329,400</u>	<u>378,100</u>	<u>411,100</u>	<u>447,600</u>
		65	<u>264,300</u>	<u>318,900</u>	<u>367,100</u>	<u>398,200</u>	<u>433,800</u>			65	<u>275,700</u>	<u>330,500</u>	<u>379,600</u>	<u>412,200</u>	<u>448,300</u>
		66	<u>265,400</u>	<u>320,200</u>	<u>368,600</u>	<u>399,200</u>	<u>434,500</u>			66	<u>276,800</u>	<u>331,700</u>	<u>381,100</u>	<u>413,200</u>	<u>449,000</u>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		67	<u>266,600</u>	<u>321,500</u>	<u>370,100</u>	<u>400,200</u>	<u>435,300</u>			67	<u>277,900</u>	<u>332,900</u>	<u>382,600</u>	<u>414,200</u>	<u>449,800</u>
		68	<u>267,600</u>	<u>322,800</u>	<u>371,500</u>	<u>401,200</u>	<u>436,000</u>			68	<u>278,900</u>	<u>334,100</u>	<u>384,000</u>	<u>415,200</u>	<u>450,500</u>
		69	<u>268,800</u>	<u>324,000</u>	<u>372,900</u>	<u>402,200</u>	<u>436,600</u>			69	<u>280,000</u>	<u>335,200</u>	<u>385,400</u>	<u>416,200</u>	<u>451,100</u>
		70	<u>269,700</u>	<u>325,300</u>	<u>374,200</u>	<u>403,000</u>	<u>437,300</u>			70	<u>280,900</u>	<u>336,400</u>	<u>386,700</u>	<u>417,000</u>	<u>451,800</u>
		71	<u>270,700</u>	<u>326,600</u>	<u>375,500</u>	<u>403,900</u>	<u>437,900</u>			71	<u>281,900</u>	<u>337,600</u>	<u>388,000</u>	<u>417,900</u>	<u>452,400</u>
		72	<u>272,000</u>	<u>327,800</u>	<u>376,700</u>	<u>404,700</u>	<u>438,500</u>			72	<u>283,100</u>	<u>338,700</u>	<u>389,200</u>	<u>418,700</u>	<u>453,000</u>
		73	<u>273,300</u>	<u>329,100</u>	<u>377,800</u>	<u>405,500</u>	<u>439,000</u>			73	<u>284,300</u>	<u>339,900</u>	<u>390,300</u>	<u>419,500</u>	<u>453,500</u>
		74	<u>274,300</u>	<u>330,300</u>	<u>378,800</u>	<u>406,200</u>	<u>439,500</u>			74	<u>285,300</u>	<u>341,000</u>	<u>391,300</u>	<u>420,200</u>	<u>454,000</u>
		75	<u>275,300</u>	<u>331,500</u>	<u>379,800</u>	<u>406,900</u>	<u>440,000</u>			75	<u>286,200</u>	<u>342,100</u>	<u>392,300</u>	<u>420,900</u>	<u>454,500</u>
		76	<u>276,500</u>	<u>332,600</u>	<u>380,700</u>	<u>407,600</u>	<u>440,600</u>			76	<u>287,300</u>	<u>343,100</u>	<u>393,200</u>	<u>421,600</u>	<u>455,100</u>
		77	<u>277,800</u>	<u>333,700</u>	<u>381,700</u>	<u>408,300</u>	<u>441,200</u>			77	<u>288,500</u>	<u>344,100</u>	<u>394,200</u>	<u>422,300</u>	<u>455,700</u>
		78	<u>278,800</u>	<u>334,800</u>	<u>382,600</u>	<u>408,900</u>	<u>441,800</u>			78	<u>289,400</u>	<u>345,100</u>	<u>395,100</u>	<u>422,900</u>	<u>456,300</u>
		79	<u>279,800</u>	<u>335,800</u>	<u>383,500</u>	<u>409,600</u>	<u>442,400</u>			79	<u>290,400</u>	<u>346,000</u>	<u>396,000</u>	<u>423,600</u>	<u>456,900</u>
		80	<u>281,000</u>	<u>336,800</u>	<u>384,200</u>	<u>410,200</u>	<u>442,800</u>			80	<u>291,500</u>	<u>346,900</u>	<u>396,700</u>	<u>424,200</u>	<u>457,300</u>
		81	<u>282,200</u>	<u>337,600</u>	<u>385,000</u>	<u>410,800</u>	<u>443,300</u>			81	<u>292,600</u>	<u>347,600</u>	<u>397,500</u>	<u>424,800</u>	<u>457,800</u>
		82	<u>283,200</u>	<u>338,500</u>	<u>385,800</u>	<u>411,300</u>	<u>443,800</u>			82	<u>293,600</u>	<u>348,400</u>	<u>398,300</u>	<u>425,300</u>	<u>458,300</u>
		83	<u>284,200</u>	<u>339,300</u>	<u>386,500</u>	<u>411,800</u>	<u>444,300</u>			83	<u>294,500</u>	<u>349,100</u>	<u>399,000</u>	<u>425,800</u>	<u>458,800</u>
		84	<u>285,400</u>	<u>340,100</u>	<u>387,100</u>	<u>412,300</u>	<u>444,800</u>			84	<u>295,600</u>	<u>349,800</u>	<u>399,600</u>	<u>426,300</u>	<u>459,300</u>
		85	<u>286,600</u>	<u>340,700</u>	<u>387,800</u>	<u>412,800</u>	<u>445,300</u>			85	<u>296,700</u>	<u>350,300</u>	<u>400,300</u>	<u>426,800</u>	<u>459,800</u>
		86	<u>287,700</u>	<u>341,400</u>	<u>388,400</u>	<u>413,200</u>	<u>445,800</u>			86	<u>297,700</u>	<u>350,900</u>	<u>400,900</u>	<u>427,200</u>	<u>460,300</u>
		87	<u>288,800</u>	<u>342,000</u>	<u>389,000</u>	<u>413,700</u>	<u>446,200</u>			87	<u>298,700</u>	<u>351,500</u>	<u>401,500</u>	<u>427,700</u>	<u>460,700</u>
		88	<u>289,900</u>	<u>342,600</u>	<u>389,500</u>	<u>414,200</u>	<u>446,700</u>			88	<u>299,800</u>	<u>352,000</u>	<u>402,000</u>	<u>428,200</u>	<u>461,200</u>
		89	<u>291,000</u>	<u>343,200</u>	<u>390,000</u>	<u>414,600</u>	<u>447,200</u>			89	<u>300,800</u>	<u>352,600</u>	<u>402,500</u>	<u>428,600</u>	<u>461,700</u>
		90	<u>292,000</u>	<u>343,800</u>	<u>390,500</u>	<u>415,100</u>	<u>447,700</u>			90	<u>301,700</u>	<u>353,200</u>	<u>403,000</u>	<u>429,100</u>	<u>462,200</u>
		91	<u>293,100</u>	<u>344,400</u>	<u>391,000</u>	<u>415,600</u>	<u>448,200</u>			91	<u>302,700</u>	<u>353,800</u>	<u>403,500</u>	<u>429,600</u>	<u>462,700</u>
		92	<u>294,200</u>	<u>344,900</u>	<u>391,500</u>	<u>416,000</u>	<u>448,700</u>			92	<u>303,700</u>	<u>354,300</u>	<u>404,000</u>	<u>430,000</u>	<u>463,200</u>
		93	<u>295,300</u>	<u>345,400</u>	<u>392,000</u>	<u>416,400</u>	<u>449,100</u>			93	<u>304,700</u>	<u>354,800</u>	<u>404,500</u>	<u>430,400</u>	<u>463,600</u>

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）							
		94	<u>296,400</u>	<u>345,900</u>	<u>392,500</u>	<u>416,900</u>	<u>449,600</u>			94	<u>305,700</u>	<u>355,300</u>	<u>405,000</u>	<u>430,900</u>	<u>464,100</u>
		95	<u>297,500</u>	<u>346,400</u>	<u>393,000</u>	<u>417,400</u>	<u>450,100</u>			95	<u>306,700</u>	<u>355,800</u>	<u>405,500</u>	<u>431,400</u>	<u>464,600</u>
		96	<u>298,600</u>	<u>346,900</u>	<u>393,500</u>	<u>417,800</u>	<u>450,600</u>			96	<u>307,700</u>	<u>356,300</u>	<u>406,000</u>	<u>431,800</u>	<u>465,100</u>
		97	<u>299,600</u>	<u>347,400</u>	<u>393,900</u>	<u>418,200</u>	<u>451,100</u>			97	<u>308,600</u>	<u>356,800</u>	<u>406,400</u>	<u>432,200</u>	<u>465,600</u>
		98	<u>300,700</u>	<u>347,800</u>	<u>394,300</u>	<u>418,600</u>	<u>451,600</u>			98	<u>309,600</u>	<u>357,200</u>	<u>406,800</u>	<u>432,600</u>	<u>466,100</u>
		99	<u>301,800</u>	<u>348,300</u>	<u>394,800</u>	<u>419,000</u>	<u>452,100</u>			99	<u>310,600</u>	<u>357,700</u>	<u>407,300</u>	<u>433,000</u>	<u>466,600</u>
		100	<u>302,800</u>	<u>348,800</u>	<u>395,300</u>	<u>419,400</u>	<u>452,600</u>			100	<u>311,500</u>	<u>358,200</u>	<u>407,800</u>	<u>433,400</u>	<u>467,100</u>
		101	<u>303,700</u>	<u>349,300</u>	<u>395,800</u>	<u>419,800</u>	<u>453,100</u>			101	<u>312,400</u>	<u>358,700</u>	<u>408,300</u>	<u>433,800</u>	<u>467,600</u>
		102	<u>304,700</u>	<u>349,700</u>	<u>396,300</u>	<u>420,200</u>	<u>453,600</u>			102	<u>313,300</u>	<u>359,100</u>	<u>408,800</u>	<u>434,200</u>	<u>468,100</u>
		103	<u>305,600</u>	<u>350,200</u>	<u>396,800</u>	<u>420,600</u>	<u>454,100</u>			103	<u>314,200</u>	<u>359,600</u>	<u>409,300</u>	<u>434,600</u>	<u>468,600</u>
		104	<u>306,500</u>	<u>350,700</u>	<u>397,200</u>	<u>421,000</u>	<u>454,600</u>			104	<u>315,100</u>	<u>360,100</u>	<u>409,700</u>	<u>435,000</u>	<u>469,100</u>
		105	<u>307,400</u>	<u>351,200</u>	<u>397,600</u>	<u>421,400</u>	<u>455,100</u>			105	<u>315,900</u>	<u>360,600</u>	<u>410,100</u>	<u>435,400</u>	<u>469,600</u>
		106	<u>308,200</u>	<u>351,600</u>	<u>398,000</u>	<u>421,800</u>	<u>455,600</u>			106	<u>316,700</u>	<u>361,000</u>	<u>410,500</u>	<u>435,800</u>	<u>470,100</u>
		107	<u>309,000</u>	<u>352,000</u>	<u>398,400</u>	<u>422,200</u>	<u>456,100</u>			107	<u>317,400</u>	<u>361,400</u>	<u>410,900</u>	<u>436,200</u>	<u>470,600</u>
		108	<u>309,800</u>	<u>352,400</u>	<u>398,800</u>	<u>422,600</u>	<u>456,600</u>			108	<u>318,100</u>	<u>361,800</u>	<u>411,300</u>	<u>436,600</u>	<u>471,100</u>
		109	<u>310,400</u>	<u>352,800</u>	<u>399,200</u>	<u>423,000</u>	<u>457,100</u>			109	<u>318,700</u>	<u>362,200</u>	<u>411,700</u>	<u>437,000</u>	<u>471,600</u>
		110	<u>311,100</u>	<u>353,200</u>	<u>399,600</u>	<u>423,400</u>				110	<u>319,400</u>	<u>362,600</u>	<u>412,100</u>	<u>437,400</u>	
		111	<u>311,700</u>	<u>353,600</u>	<u>400,000</u>	<u>423,800</u>				111	<u>320,000</u>	<u>363,000</u>	<u>412,500</u>	<u>437,800</u>	
		112	<u>312,300</u>	<u>354,000</u>	<u>400,400</u>	<u>424,200</u>				112	<u>320,600</u>	<u>363,400</u>	<u>412,900</u>	<u>438,200</u>	
		113	<u>312,800</u>	<u>354,400</u>	<u>400,800</u>	<u>424,600</u>				113	<u>321,100</u>	<u>363,800</u>	<u>413,300</u>	<u>438,600</u>	
		114	<u>313,300</u>	<u>354,800</u>	<u>401,200</u>	<u>425,000</u>				114	<u>321,600</u>	<u>364,200</u>	<u>413,700</u>	<u>439,000</u>	
		115	<u>313,700</u>	<u>355,200</u>	<u>401,600</u>	<u>425,400</u>				115	<u>322,000</u>	<u>364,600</u>	<u>414,100</u>	<u>439,400</u>	
		116	<u>314,100</u>	<u>355,600</u>	<u>402,000</u>	<u>425,800</u>				116	<u>322,400</u>	<u>365,000</u>	<u>414,500</u>	<u>439,800</u>	
		117	<u>314,400</u>	<u>356,000</u>	<u>402,400</u>	<u>426,200</u>				117	<u>322,700</u>	<u>365,400</u>	<u>414,900</u>	<u>440,200</u>	
		118	<u>314,800</u>		<u>402,800</u>					118	<u>323,100</u>		<u>415,300</u>		
		119	<u>315,200</u>		<u>403,200</u>					119	<u>323,500</u>		<u>415,700</u>		
		120	<u>315,600</u>		<u>403,600</u>					120	<u>323,900</u>		<u>416,100</u>		

改正前								第 1 条による改正案（公布の日施行）								
		121	<u>316, 000</u>		<u>404, 000</u>					121	<u>324, 300</u>		<u>416, 500</u>			
		122	<u>316, 300</u>		<u>404, 400</u>					122	<u>324, 600</u>		<u>416, 900</u>			
		123	<u>316, 700</u>		<u>404, 800</u>					123	<u>325, 000</u>		<u>417, 300</u>			
		124	<u>317, 100</u>		<u>405, 200</u>					124	<u>325, 400</u>		<u>417, 700</u>			
		125	<u>317, 500</u>		<u>405, 600</u>					125	<u>325, 800</u>		<u>418, 100</u>			
		126	<u>317, 900</u>		<u>406, 000</u>					126	<u>326, 200</u>		<u>418, 500</u>			
		127	<u>318, 300</u>		<u>406, 400</u>					127	<u>326, 600</u>		<u>418, 900</u>			
		128	<u>318, 700</u>		<u>406, 800</u>					128	<u>327, 000</u>		<u>419, 300</u>			
		129	<u>319, 000</u>		<u>407, 200</u>					129	<u>327, 300</u>		<u>419, 700</u>			
		130	<u>319, 400</u>		<u>407, 600</u>					130	<u>327, 700</u>		<u>420, 100</u>			
		131	<u>319, 700</u>		<u>408, 000</u>					131	<u>328, 000</u>		<u>420, 500</u>			
		132	<u>320, 000</u>		<u>408, 400</u>					132	<u>328, 300</u>		<u>420, 900</u>			
		133	<u>320, 300</u>		<u>408, 800</u>					133	<u>328, 600</u>		<u>421, 300</u>			
		134	<u>320, 600</u>							134	<u>328, 900</u>					
		135	<u>320, 900</u>							135	<u>329, 200</u>					
		136	<u>321, 200</u>							136	<u>329, 500</u>					
	137	<u>321, 500</u>					137	<u>329, 800</u>								
	138	<u>321, 800</u>					138	<u>330, 100</u>								
	139	<u>322, 100</u>					139	<u>330, 400</u>								
	140	<u>322, 400</u>					140	<u>330, 700</u>								
141	<u>322, 700</u>					141	<u>331, 000</u>									
定年前 再任用 短時間 勤務職 員		基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額		定年前 再任用 短時間 勤務職 員		基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額	基準給料 月額		
		円	円	円	円	円				円	円	円	円	円		
		<u>207, 200</u>	<u>238, 400</u>	<u>273, 800</u>	<u>291, 700</u>	<u>316, 600</u>				<u>216, 700</u>	<u>249, 300</u>	<u>286, 300</u>	<u>305, 700</u>	<u>331, 100</u>		
備考 この表は、保健所、保育所等に勤務する保健師、看護師その他の職								備考 この表は、保健所、保育所等に勤務する保健師、看護師その他の職								

改正前	第 1 条による改正案（公布の日施行）
員で人事委員会が定めるものに適用する。	員で人事委員会が定めるものに適用する。

第 1 条による改正後の条例案	第 2 条による改正案（令和 8 年 1 月 1 日施行）
<p>○足立区職員の給与に関する条例</p> <p style="text-align: right;">昭和50年 3 月31日条例第13号</p> <p>第 1 条～第32条 省略 （義務教育等教員特別手当）</p> <p>第32条の 2 省略</p> <p>2 義務教育等教員特別手当の月額は、4,610円を超えない範囲内で、職務の級及び号給（定年前再任用短時間勤務職員にあっては、職務の級）の別に<u>応じて</u>、人事委員会の承認を得て規則で定める。</p> <p>3 省略</p> <p>第33条～第34条 省略</p>	<p>○足立区職員の給与に関する条例</p> <p style="text-align: right;">昭和50年 3 月31日条例第13号</p> <p>第 1 条～第32条 現行のとおり （義務教育等教員特別手当）</p> <p>第32条の 2 現行のとおり</p> <p>2 義務教育等教員特別手当の月額は、4,610円を超えない範囲内で、職務の級及び号給（定年前再任用短時間勤務職員にあっては、職務の級）の別に<u>応じ、校務類型（人事委員会の承認を得て規則で定める校務の種類をいう。）に係る業務の困難性その他の事情を考慮して</u>、人事委員会の承認を得て規則で定める。</p> <p>3 現行のとおり</p> <p>第33条～第34条 現行のとおり</p>

第2条による改正後の条例案	第3条による改正案（令和8年4月1日施行）
<p>○足立区職員の給与に関する条例</p> <p style="text-align: right;">昭和50年3月31日条例第13号</p> <p>第1条～第15条 省略 (通勤手当)</p> <p>第16条 通勤手当は、次に掲げる職員に支給する。</p> <p>(1) 通勤のため交通機関又は有料の道路（以下「交通機関等」という。）を利用してその運賃又は料金（以下「運賃等」という。）を負担することを常例とする職員（交通機関等を利用しなければ通勤することが困難であると<u>人事委員会</u>が定める職員以外の職員であつて、交通機関等を利用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるもの及び第3号に掲げる職員を除く。）</p> <p>(2) 通勤のため自転車その他の交通の用具で<u>人事委員会</u>が定めるもの（以下「自転車等」という。）を使用することを常例とする職員（自転車等を使用しなければ通勤することが著しく困難であると<u>人事委員会</u>が定める職員以外の職員であつて自転車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるもの及び次号に掲げる職員を除く。）</p> <p>(3) 通勤のため交通機関等を利用してその運賃等を負担し、かつ、自転車等を使用することを常例とする職員（交通機関等を利用し、又は自転車等を使用しなければ通勤することが著しく困難であると<u>人事委員会</u>が定める職員以外の職員であつて、交通機関等を利用せず、かつ、自転車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるものを除く。）</p> <p>2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる額とする。</p>	<p>○足立区職員の給与に関する条例</p> <p style="text-align: right;">昭和50年3月31日条例第13号</p> <p>第1条～第15条 現行のとおり (通勤手当)</p> <p>第16条 通勤手当は、次に掲げる職員に支給する。</p> <p>(1) 通勤のため交通機関又は有料の道路（以下「交通機関等」という。）を利用してその運賃又は料金（以下「運賃等」という。）を負担することを常例とする職員（交通機関等を利用しなければ通勤することが困難であると<u>足立区職員の通勤手当に関する規則（令和7年足立区規則第●号。以下「通勤手当規則」という。）</u>で定める職員以外の職員であつて交通機関等を利用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるもの及び第3号に掲げる職員を除く。）</p> <p>(2) 通勤のため自転車その他の交通の用具で<u>通勤手当規則</u>で定めるもの（以下「自転車等」という。）を使用することを常例とする職員（自転車等を使用しなければ通勤することが著しく困難であると<u>通勤手当規則</u>で定める職員以外の職員であつて自転車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるもの及び次号に掲げる職員を除く。）</p> <p>(3) 通勤のため交通機関等を利用してその運賃等を負担し、かつ、自転車等を使用することを常例とする職員（交通機関等を利用し、又は自転車等を使用しなければ通勤することが著しく困難であると<u>通勤手当規則</u>で定める職員以外の職員であつて、交通機関等を利用せず、かつ、自転車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるものを除く。）</p> <p>2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる額とする。</p>

第2条による改正後の条例案	第3条による改正案（令和8年4月1日施行）
<p>(1) 前項第1号に掲げる職員 <u>人事委員会</u>が定めるところにより算出したその者の支給対象期間（6箇月を超えない範囲内で<u>人事委員会</u>が定める期間。以下同じ。）の通勤に要する運賃等の額に相当する額（以下「運賃等相当額」という。）。ただし、運賃等相当額を支給対象期間内で通勤手当が支給される月の数（以下「支給月数」という。）で除して得た額が<u>5万5,000円</u>を超えるときは、<u>5万5,000円</u>に当該支給月数を乗じて得た額</p> <p>(2) 前項第2号に掲げる職員 別表第4に掲げる職員の区分及び自転車等の片道の使用距離の区分に応じて同表に掲げる額に支給月数を乗じて得た額</p> <p>(3) 前項第3号に掲げる職員 交通機関等を利用せず、かつ、自転車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離、交通機関等の利用距離、自転車等の使用距離等の事情を考慮して<u>人事委員会</u>が定める区分に応じ、運賃等相当額及び前号に掲げる額の合計額（その額を支給月数で除して得た額が<u>5万5,000円</u>を超えるときは、<u>5万5,000円</u>に当該支給月数を乗じて得た額）、第1号に掲げる額又は前号に掲げる額</p> <p>3 公署を異にする異動又は在勤する公署の移転に伴い、通勤の実情に変更を生ずることとなつた職員で<u>人事委員会</u>が定めるもののうち、当該異動又は公署の移転の直前の住居（当該住居に相当するものとして<u>人事委員会</u>が定める住居を含む。）からの通勤のため、新幹線鉄道等の特別急行列車その他の交通機関等でその利用が<u>人事委員会</u>の定める基準に照らして通勤事情の改善に相当程度資するものであると認められるものを利用し、その利用に係る特別料金等（その利用に係る運賃等の額から運賃等相当額の算出の基礎となる運賃等に相当する額を減じて得た額をいう。以下同じ。）を負担することを常例とするものの通勤手当の額は、前項の規定にかかわらず、<u>人事委員会</u>が定めるところにより算出したその者の支給対象期間の通勤に要する<u>特別料金等の額の2分の1</u>に相当する額（その額を支給月数で</p>	<p>(1) 前項第1号に掲げる職員 <u>通勤手当規則</u>で定めるところにより算出したその者の支給対象期間（6箇月を超えない範囲内で<u>通勤手当規則</u>で定める期間。以下同じ。）の通勤に要する運賃等の額に相当する額（以下「運賃等相当額」という。）。ただし、運賃等相当額を支給対象期間内で通勤手当が支給される月の数（以下「支給月数」という。）で除して得た額が<u>15万円</u>を超えるときは、<u>15万円</u>に当該支給月数を乗じて得た額</p> <p>(2) 前項第2号に掲げる職員 別表第4に掲げる職員の区分及び自転車等の片道の使用距離の区分に応じて同表に掲げる額に支給月数を乗じて得た額</p> <p>(3) 前項第3号に掲げる職員 交通機関等を利用せず、かつ、自転車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離、交通機関等の利用距離、自転車等の使用距離等の事情を考慮して<u>通勤手当規則</u>で定める区分に応じ、運賃等相当額及び前号に掲げる額の合計額（その額を支給月数で除して得た額が<u>15万円</u>を超えるときは、<u>15万円</u>に当該支給月数を乗じて得た額）、第1号に掲げる額又は前号に掲げる額</p> <p>3 公署を異にする異動又は在勤する公署の移転に伴い、通勤の実情に変更を生ずることとなつた職員で<u>通勤手当規則</u>で定めるもののうち、当該異動又は公署の移転の直前の住居（当該住居に相当するものとして<u>通勤手当規則</u>で定める住居を含む。）からの通勤のため、新幹線鉄道等の特別急行列車その他の交通機関等でその利用が<u>通勤手当規則</u>で定める基準に照らして通勤事情の改善に相当程度資するものであると認められるものを利用し、その利用に係る特別料金等（その利用に係る運賃等の額から運賃等相当額の算出の基礎となる運賃等に相当する額を減じて得た額をいう。以下同じ。）を負担することを常例とするものの通勤手当の額は、前項の規定にかかわらず、<u>通勤手当規則</u>で定めるところにより算出したその者の支給対象期間の通勤に要する<u>特別料金等相当額</u>（その額を支給月数で除して得た</p>

第2条による改正後の条例案	第3条による改正案（令和8年4月1日施行）
<p>除して得た額が<u>2万円</u>を超えるときは、<u>2万円</u>に当該支給月数を乗じて得た額）及び同項の規定による額の合計額とする。</p> <p>4 前項の規定は、同項の規定による通勤手当を支給される職員との均衡上必要があると認められるものとして<u>人事委員会</u>が定める職員の通勤手当の額の算出について準用する。</p> <p>5 通勤手当を支給される職員につき、離職その他の<u>人事委員会</u>が定める事由が生じた場合には、当該職員に、支給対象期間のうちこれらの事由が生じた後の期間を考慮して<u>人事委員会</u>が定める額を返納させるものとする。</p> <p>6 省略</p> <p>第16条の2～第28条 省略 （期末手当）</p> <p>第29条 省略</p> <p>2 期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の127.5</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。ただし、第10条第1項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の110</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の127.5</u>」とあるのは「<u>100分の72.5</u>」と、「<u>100分の110</u>」とあるのは「<u>100分の63.75</u>」とする。</p> <p>4～5 省略</p> <p>第29条の2～第29条の3 省略 （勤勉手当）</p> <p>第30条 省略</p> <p>2 勤勉手当の額は、職員の勤勉手当基礎額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の総額は、前項の職員の給与月額に<u>100分の120</u>（第10条第1項の規定に基づき指定する職員にあっては<u>100分の137.5</u>）を乗じて得</p>	<p>額が<u>15万円</u>を超えるときは、<u>15万円</u>に当該支給月数を乗じて得た額）及び同項の規定による額の合計額とする。</p> <p>4 前項の規定は、同項の規定による通勤手当を支給される職員との均衡上必要があると認められるものとして<u>通勤手当規則</u>で定める職員の通勤手当の額の算出について準用する。</p> <p>5 通勤手当を支給される職員につき、離職その他の<u>通勤手当規則</u>で定める事由が生じた場合には、当該職員に、支給対象期間のうちこれらの事由が生じた後の期間を考慮して<u>通勤手当規則</u>で定める額を返納させるものとする。</p> <p>6 現行のとおり</p> <p>第16条の2～第28条 現行のとおり （期末手当）</p> <p>第29条 現行のとおり</p> <p>2 期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の126.25</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。ただし、第10条第1項の規定に基づき指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に<u>100分の108.75</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の126.25</u>」とあるのは「<u>100分の71.25</u>」と、「<u>100分の108.75</u>」とあるのは「<u>100分の62.5</u>」とする。</p> <p>4～5 現行のとおり</p> <p>第29条の2～第29条の3 現行のとおり （勤勉手当）</p> <p>第30条 現行のとおり</p> <p>2 勤勉手当の額は、職員の勤勉手当基礎額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の総額は、前項の職員の給与月額に<u>100分の118.75</u>（第10条第1項の規定に基づき指定する職員にあっては<u>100分の136.25</u>）を乗じて</p>

第2条による改正後の条例案				第3条による改正案（令和8年4月1日施行）			
<p>た額の総額を超えてはならない。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の120</u>」とあるのは「<u>100分の60</u>」と、「<u>100分の137.5</u>」とあるのは「<u>100分の68.75</u>」とする。</p> <p>4～6 省略</p> <p>別表第1～3 省略</p> <p>別表第4（第16条関係）</p>				<p>得た額の総額を超えてはならない。</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の118.75</u>」とあるのは「<u>100分の58.75</u>」と、「<u>100分の136.25</u>」とあるのは「<u>100分の67.5</u>」とする。</p> <p>4～6 省略</p> <p>別表第1～3 現行のとおり</p> <p>別表第4（第16条関係）</p>			
職員の区分		2 通勤不便な勤務庁に勤務する職員で <u>人事委員会</u> が定める事由に該当するもの	3 身体に障がい を有する職員で <u>人事委員会</u> が定めるところにより通勤が困難であると認められるもの	職員の区分		2 通勤不便な勤務庁に勤務する職員で、 <u>通勤手当規則</u> で定める事由に該当するもの	3 身体に障がい を有する職員で、 <u>通勤手当規則</u> で定めるところにより通勤が困難であると認められるもの
自転車等の片道の使用距離の区分	1 2及び3以外の職員			自転車等の片道の使用距離の区分	1 2及び3以外の職員		
5キロメートル未満	2,600円	2,600円	3,900円	5キロメートル未満	2,600円	2,600円	3,900円
5キロメートル以上10キロメートル未満	3,000	3,600	5,300	5キロメートル以上10キロメートル未満	3,000	3,600	5,300
10キロメートル以上15キロメートル未満	5,000	6,000	8,100	10キロメートル以上15キロメートル未満	5,000	6,000	8,100
15キロメートル以上20キロメートル未満	7,000	8,400	10,900	15キロメートル以上20キロメートル未満	7,000	8,400	10,900
20キロメートル以上25キロメートル	9,000	10,800	13,700	20キロメートル以上25キロメートル	9,000	10,800	13,700

第2条による改正後の条例案					第3条による改正案（令和8年4月1日施行）				
	未満					未満			
	25キロメートル以上30キロメートル未満	11,000	13,200	16,500		25キロメートル以上30キロメートル未満	11,000	13,200	16,500
	30キロメートル以上35キロメートル未満	11,000	15,600	19,300		30キロメートル以上35キロメートル未満	11,000	15,600	19,300
	35キロメートル以上40キロメートル未満	13,000	18,000	22,100		35キロメートル以上40キロメートル未満	13,000	18,000	22,100
	40キロメートル以上	13,000	20,400	24,900		40キロメートル以上	13,000	20,400	24,900

別表第5 省略

別表第5 現行のとおり	
<u>付 則</u>	
<u>（施行期日等）</u>	
1	<u>この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は令和8年1月1日から、第3条の規定は同年4月1日から施行する。</u>
2	<u>第1条の規定（第29条第2項及び第3項並びに第30条第2項及び第3項の改正規定を除く。）による改正後の足立区職員の給与に関する条例（以下「第1条による改正後の条例」という。）の規定は、令和7年4月1日から適用する。</u>
3	<u>第1条の規定（第29条第2項及び第3項並びに第30条第2項及び第3項の改正規定に限る。）による改正後の足立区職員の給与に関する条例の規定は、令和7年12月1日から適用する。</u>
<u>（令和7年4月1日から施行日の前日までの間における異動者の号給）</u>	
4	<u>令和7年4月1日から第1条の規定の施行の日（以下「施行日」という。）の前日までの間において、同条の規定（第29条第2項及び第3項並びに第30条第2項及び第3項の改正規定を除く。）による改正前の足立区職</u>

第2条による改正後の条例案	第3条による改正案（令和8年4月1日施行）
	<p><u>員の給与に関する条例（以下「改正前の条例」という。）の規定により、新たに給料表の適用を受けることとなった職員及びその属する職務の級又はその受ける号給に異動のあった職員のうち、特別区人事委員会（以下「人事委員会」という。）が定める職員の第1条による改正後の条例の規定による当該適用又は異動の日における号給は、人事委員会が定める。</u></p>
	<p><u>（施行日から令和8年3月31日までの間における異動者の号給の調整）</u></p>
	<p>5 <u>施行日から令和8年3月31日までの間において、第1条による改正後の条例の規定により、新たに給料表の適用を受けることとなった職員及びその属する職務の級又はその受ける号給に異動のあった職員の当該適用又は異動の日における号給については、当該適用又は異動について、まず改正前の条例の規定が適用され、次いで当該適用又は異動の日から第1条による改正後の条例の規定が適用されるものとした場合との均衡上必要と認められる限度において、人事委員会の定めるところにより、必要な調整を行うことができる。</u></p>
	<p><u>（給与の内払）</u></p>
	<p>6 <u>第1条による改正後の条例の規定を適用する場合には、改正前の条例の規定に基づいて支給された給与は、第1条による改正後の条例の規定による給与の内払とみなす。</u></p>
	<p><u>（委任）</u></p>
	<p>7 <u>付則第4項から前項までに定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、人事委員会が定める。</u></p>

第 1 3 7 号議案説明資料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する 条例
所管部課名	総務部 人事課
内 容	<p>1 概要</p> <p>令和 7 年特別区人事委員会勧告（特別区職員労働組合連合会と妥結）による常勤職員の給与改定に準じ、2 3 区同様の内容で会計年度任用職員の給与に係る条例の改正を行う。</p> <p>2 改正内容</p> <p>（1）給料表（第 3 条）の改定</p> <p>ア 常勤職員と同様に、令和 7 年 4 月 1 日に遡及して適用する。</p> <p>（2）期末手当・勤勉手当（第 1 6 条・第 1 6 条の 2、第 2 9 条・第 2 9 条の 2）別紙 1 のとおり</p> <p>ア 常勤職員と同様に、年間の支給月数を 0. 0 5 月引上げる（現行 4. 8 5 月→4. 9 0 月）。</p> <p>イ 支給月数の引上げ分については、期末手当及び勤勉手当に均等に配分する。</p> <p>3 新旧対照表</p> <p>別紙 2 のとおり</p> <p>4 施行年月日</p> <p>2 の（1）については、令和 7 年 4 月 1 日に遡及して適用する。</p> <p>2 の（2）については、令和 7 年 1 2 月 1 日に遡及して適用する。</p>

令和7年度及び令和8年度以降の期末手当・勤勉手当の支給月数について

現行の期末手当及び勤勉手当

(単位:月)

区分		6月	12月	小計	年間	
暫定再任用・定年前再任用短時間職員 以外の職員	一般職員(会計)	期末	1.25	1.25	2.50	4.85
		勤勉	1.175	1.175	2.35	
	管理職員	期末	1.075	1.075	2.15	4.85
		勤勉	1.35	1.35	2.70	
		2.425	2.425			

(単位:月)

区分			6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員	一般職員	期末	0.70	0.70	1.40	2.55
		勤勉	0.575	0.575	1.15	
	管理職員	期末	0.6125	0.6125	1.225	2.55
		勤勉	0.6625	0.6625	1.325	
			1.275	1.275		

令和7年度の期末手当及び勤勉手当
【第1条による改正後(公布の日から施行)】

(単位:月)

区分		6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員 以外の職員	一般職員(会計)	期末	1.25	<u>1.275</u> +0.025	2.525
			勤勉	1.175	<u>1.20</u> +0.025
	管理職員	期末		1.075	<u>1.10</u> +0.025
			勤勉	1.35	<u>1.375</u> +0.025
				2.425	2.475

(単位:月)

区分			6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員	一般職員	期末	0.70	<u>0.725</u> +0.025	1.425	<u>2.60</u>
		勤勉	0.575	<u>0.60</u> +0.025	1.175	
	管理職員	期末	0.6125	<u>0.6375</u> +0.025	1.25	<u>2.60</u>
		勤勉	0.6625	<u>0.6875</u> +0.025	1.35	
			1.275	1.325		

令和8年度以降の期末手当及び勤勉手当
【第2条による改正後(令和8年4月1日施行)】

(単位:月)

区分		6月	12月	小計	年間	
暫定再任用・定年前再任用短時間職員 以外の職員	一般職員(会計)	期末	<u>1.2625</u>	<u>1.2625</u>	2.525	4.90
		勤勉	<u>1.1875</u>	<u>1.1875</u>	2.375	
	管理職員	期末	<u>1.0875</u>	<u>1.0875</u>	2.175	4.90
		勤勉	<u>1.3625</u>	<u>1.3625</u>	2.725	
			2.45	2.45		

(単位:月)

区分			6月	12月	小計	年間
暫定再任用・定年前再任用短時間職員	一般職員	期末	<u>0.7125</u>	<u>0.7125</u>	1.425	<u>2.60</u>
		勤勉	<u>0.5875</u>	<u>0.5875</u>	1.175	
	管理職員	期末	<u>0.625</u>	<u>0.625</u>	1.25	<u>2.60</u>
		勤勉	<u>0.675</u>	<u>0.675</u>	1.35	
			1.30	1.30		

※ 会計年度任用職員については、「暫定再任用・定年前再任用短時間職員以外の職員」の「一般職員」と同様。

足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正前	第1条による改正案（公布の日施行）
○足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 令和元年10月23日条例第29号	○足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 令和元年10月23日条例第29号
第1条～第15条 省略 （フルタイム会計年度任用職員の期末手当）	第1条～第15条 現行のとおり （フルタイム会計年度任用職員の期末手当）
第16条 省略	第16条 現行のとおり
2 期末手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に <u>100分の125</u> を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。	2 期末手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に <u>100分の127.5</u> を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。
3～4 省略 （フルタイム会計年度任用職員の勤勉手当）	3～4 現行のとおり （フルタイム会計年度任用職員の勤勉手当）
第16条の2 省略	第16条の2 現行のとおり
2 勤勉手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に、 <u>100分の117.5</u> を乗じて得た額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。	2 勤勉手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に、 <u>100分の120</u> を乗じて得た額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。
3～4 省略	3～4 現行のとおり
第17条～第28条 省略 （パートタイム会計年度任用職員の期末手当）	第17条～第28条 現行のとおり （パートタイム会計年度任用職員の期末手当）
第29条 省略	第29条 現行のとおり
2 期末手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に <u>100分の125</u> を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。	2 期末手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に <u>100分の127.5</u> を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。
3～4 省略 （パートタイム会計年度任用職員の勤勉手当）	3～4 現行のとおり （パートタイム会計年度任用職員の勤勉手当）
第29条の2 省略	第29条の2 現行のとおり
2 勤勉手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に、 <u>100分の117.5</u> を乗じて得た額に、勤務成績に	2 勤勉手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に、 <u>100分の120</u> を乗じて得た額に、勤務成績に

改正前	第 1 条による改正案（公布の日施行）
に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。 3～4 省略	応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。 3～4 現行のとおり

第1条による改正後の条例案	第2条による改正案（令和8年4月1日施行）
<p>（フルタイム会計年度任用職員の期末手当）</p> <p>第1条～第15条 省略</p> <p>第16条 省略</p> <p>2 期末手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に<u>100分の127.5</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 省略</p> <p>（フルタイム会計年度任用職員の勤勉手当）</p> <p>第16条の2 現行のとおり</p> <p>2 勤勉手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に、<u>100分の120</u>を乗じて得た額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 省略</p> <p>第17条～第28条 省略</p> <p>（パートタイム会計年度任用職員の期末手当）</p> <p>第29条 現行のとおり</p> <p>2 期末手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に<u>100分の127.5</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 省略</p> <p>（パートタイム会計年度任用職員の勤勉手当）</p> <p>第29条の2 省略</p> <p>2 勤勉手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に、<u>100分の120</u>を乗じて得た額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 省略</p>	<p>（フルタイム会計年度任用職員の期末手当）</p> <p>第1条～第15条 現行のとおり</p> <p>第16条 現行のとおり</p> <p>2 期末手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に<u>100分の126.25</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 現行のとおり</p> <p>（フルタイム会計年度任用職員の勤勉手当）</p> <p>第16条の2 現行のとおり</p> <p>2 勤勉手当の額は、第4条の規定により決定された給料の月額を基礎として規則で定める額に、<u>100分の118.75</u>を乗じて得た額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 現行のとおり</p> <p>第17条～第28条 現行のとおり</p> <p>（パートタイム会計年度任用職員の期末手当）</p> <p>第29条 現行のとおり</p> <p>2 期末手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に<u>100分の126.25</u>を乗じて得た額に、規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 現行のとおり</p> <p>（パートタイム会計年度任用職員の勤勉手当）</p> <p>第29条の2 現行のとおり</p> <p>2 勤勉手当の額は、第17条及び第18条の規定により決定された報酬の額を基礎として規則で定める額に、<u>100分の118.75</u>を乗じて得た額に、勤務成績に応じて規則で定める支給割合を乗じて得た額とする。</p> <p>3～4 現行のとおり</p>

第 1 条による改正後の条例案	第 2 条による改正案（令和 8 年 4 月 1 日施行）
	<u>付 則</u>
	<u>(施行期日等)</u>
	1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第 2 条の規定は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
	2 第 1 条の規定による改正後の足立区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の規定は、令和 7 年 12 月 1 日から適用する。

第 1 3 8 号 議 案 説 明 資 料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	富士見歩道橋架け替え及び周辺護岸整備工事請負契約
所管部課名	総務部 契約課、都市建設部 道路公園整備室 道路整備課
内 容	<p>1 契約の相手方 株式会社東京三田組 代表取締役 三田 哲司 東京都足立区北加平町 2 1 番 2 号</p> <p>2 契約金額 7 3 7, 0 0 0, 0 0 0 円（落札率 9 9. 1 6 %）</p> <p>3 契約番号 7 足総契契第 0 1 0 5 7 5 号</p> <p>4 工 期 契約締結の翌営業日から令和 1 0 年 1 1 月 3 0 日 まで</p> <p>5 工事場所 足立区辰沼二丁目 1 8 番から神明二丁目 8 番先</p> <p>6 工事内容 （1）富士見歩道橋の架け替え 旧橋の撤去、新橋の設置（橋長 1 0. 4 m、総幅員 5. 8 m） （2）富士見歩道橋周辺の築堤・護岸整備 総工事区間 1 1 7. 3 m （3）散策路の整備 施工区間 1 1 1. 9 m （4）仮締切撤去・設置 （5）迂回路撤去・復旧</p> <p>7 そ の 他 （1）入札日・開札日 令和 7 年 1 0 月 2 1 日 （2）入札方法 条件付一般競争入札（総合評価方式） （3）入札参加事業者数 4 者 入札 4 者（うち予定価格超過 3 者） （4）仮契約年月日 令和 7 年 1 0 月 2 8 日 （5）予定価格 7 4 3, 2 1 3, 9 0 0 円（事後公表）</p> <p>※契約金額、予定価格には消費税を含む。</p>

富士見歩道橋架け替え及び周辺護岸整備工事 案内図



工事施工箇所

足立区辰沼二丁目 18 番から神明二丁目 8 番先

第 1 3 9 号 議 案 説 明 資 料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	江北コミュニティセンター大規模改修工事請負契約
所管部課名	総務部 契約課、施設営繕部 西部地区建設課、 地域のちから推進部 住区推進課
内 容	<p>1 契約の相手方 株式会社渡喜建設 代表取締役 渡邊 喜一郎 東京都足立区千住寿町 2 5 番 5 号</p> <p>2 契約金額 4 8 9, 5 0 0, 0 0 0 円（落札率 9 8. 3 5 %）</p> <p>3 契約番号 7 足総契契第 0 1 0 5 6 9 号</p> <p>4 工 期 契約締結の翌営業日から令和 9 年 9 月 3 0 日まで</p> <p>5 工事場所 足立区江北二丁目 8 番 2 号</p> <p>6 工事内容 （1）建築工事 屋上防水、外壁、内装、建具、トイレ、外構改修工事等 （2）機械設備工事 空調・換気設備、給排水衛生・ガス設備工事等 （3）電気設備工事 電灯設備、動力設備、受変電設備、火災報知設備工事等</p> <p>7 そ の 他 （1）入札日・開札日 令和 7 年 1 1 月 2 0 日 （2）入札方法 条件付一般競争入札（総合評価方式） （3）入札参加事業者数 5 者 入札 2 者（予定価格超過なし） 辞退 3 者 ※主な辞退理由 技術者を確保することが困難なため。 （4）仮契約年月日 令和 7 年 1 1 月 2 8 日 （5）予定価格 4 9 7, 7 0 6, 0 0 0 円（事後公表）</p> <p>※契約金額、予定価格には消費税を含む。</p>

江北コミュニティセンター大規模改修工事 案内図



第 1 4 0 号 議 案 説 明 資 料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	児童・生徒用 Chromebook 等の購入について
所管部課名	総務部 契約課、教育指導部 学校 I C T 推進課
内 容	<p>1 契約の相手方 リコージャパン株式会社 公共事業部 第四営業部 部長 鳥居 久仁広 東京都港区芝浦三丁目 4 番 1 号</p> <p>2 契約金額 2, 8 3 8, 1 2 5, 8 4 0 円 (落札率 8 9 . 7 0 %)</p> <p>3 契約番号 7 足総契契第 0 2 2 4 3 8 号</p> <p>4 納 期 限 令和 8 年 4 月 2 4 日</p> <p>5 納 入 場 所 学校 I C T 推進課指定場所</p> <p>6 契約内容 足立区立小中学校の児童・生徒用 Chromebook 等を購入する。 (1) Chromebook (Dynabook Chromebook C70 Wi-Fiモデル) 46,816台 (2) Chromebook (Dynabook Chromebook C70 LTE-SIMモデル) 1,500台 (3) 液晶保護フィルム 50,700枚 (4) 持ち帰り用 AC アダプタ 24,000個 (5) 予備用タッチペン (Dynabook Chromebook C70用) 6,300本 (6) モバイルバッテリー 4,500個 (7) 児童・生徒用端末管理ライセンス 48,316個 (8) 教員用端末管理ライセンス 6,000個</p> <p>7 そ の 他 (1) 入札日・開札日 令和 7 年 1 0 月 2 3 日 (2) 入札方法 公募型指名競争入札 (3) 指名業者 2 者 入札 1 者 辞退 1 者 ※ 辞退理由 契約期間満了までに納入が困難なため (4) 仮契約年月日 令和 7 年 1 0 月 3 0 日 (5) 予定価格 3, 1 6 4, 1 5 6, 6 0 0 円 (事後公表) ※ 契約金額、予定価格には消費税を含む。</p>

第 1 4 1 号 議 案 説 明 資 料

令和 7 年 1 2 月 4 日

件 名	避難所用折り畳み式リクライニングベッド等の購入について
所管部課名	総務部 契約課、危機管理部 防災戦略課
内 容	<p>1 契約の相手方 株式会社サイボウ 東京支店 支店長 前川 桂一郎 東京都台東区元浅草三丁目 1 番 1 号 ヨネクラビル 5 階</p> <p>2 契約金額 7 2, 9 1 9, 0 0 0 円（落札率 3 7. 9 4 %）</p> <p>3 契約番号 7 足総契契第 0 2 2 5 1 0 号</p> <p>4 納 期 限 令和 8 年 3 月 3 1 日</p> <p>5 納 入 場 所 総合スポーツセンター （足立区東保木間 2-2 7-1）外 8 8 か所</p> <p>6 契 約 内 容 福祉避難所で使用する折り畳み式リクライニングベッド及びベッド用シーツを購入する。 （1）折り畳み式リクライニングベッド 7, 0 0 0 台 （2）ベッド用シーツ 1 4, 0 0 0 枚 ※ ベッド 1 台につき、使用分と交換用の 2 枚</p> <p>7 そ の 他 （1）入札日・開札日 令和 7 年 1 1 月 1 0 日 （2）入札方法 指名競争入札 （3）指名業者 1 0 者 入札 5 者 辞退 5 者 ※主な辞退理由 納期が間に合わない可能性があるため 人員確保の見通しが不透明なため （4）仮契約年月日 令和 7 年 1 1 月 1 7 日 （5）予定価格 1 9 2, 1 9 2, 0 0 0 円（事後公表） ※ 契約金額、予定価格には消費税を含む。</p>